

家政学部専門科目
管理栄養士養成課程
(授業科目名五十音順)

科目名	衣生活概論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	森 治子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
1.衣生活に関する基本的な知識を習得し、快適な衣生活をおくるための設計を立案・計画することができるようになる。 2.家庭科教育における衣生活・被服の分野を担当するために必要となる科学的な知識と文化的な知識を学ぶことにより、教育や生活の場で実践できるようになる。				
[授業概要]				
私たちは社会生活を営むために、なんらかの衣服を身につけて生活している。この授業では、生活環境の変化や科学技術の進展とともに変わりゆく衣生活について、被服材料、被服構成、被服管理、着装などの基本的な知識を学ぶ。また服装の歴史を学ぶことによって、社会と衣生活とのかかわりや服飾表現の可能性について検討する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
授業の際に必要な予習や復習については、授業時に指示・説明する。				
[授業計画]				
1.衣生活と生活文化ー人はなぜ服を着るのかー 2.装いの歴史 ① 西洋の衣生活 3.装いの歴史 ② 日本の衣生活 4.装いと衣服の選択 5.体型と衣服 6.装いのコミュニケーション 7.衣服の素材 ① 繊維の種類と性質 8.衣服の素材 ② 染織の種類と技法 9.衣服の管理 ① 汚れと洗濯 10.衣服の管理 ② 手入れと保管 11.アパレル産業と衣生活 12.ユニバーサルデザインと衣生活 13.現代の衣生活と環境問題				

科目名	衣生活概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	森 治子		
[成績評価方法] グループワーク・プレゼンテーション: 20% リアクションペーパーや授業時に鑑賞する映像資料の感想: 30% 期末レポート: 50% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時に提出するリアクションペーパーについては、翌週の授業時に講評、解説を行う。 グループワークやプレゼンテーションについては、授業内で講評、解説を行う。 学期末に提出するレポートはコメントをつけて返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:家政1-3／人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:家政2-2／社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:家政3-3／責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性 ／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力 ／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力 ／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:消費者の視点からの 衣生活概論 著者名:菅井清美・諸岡晴美編著 出版社名:井上書院 ISBN:978-4-7530-2323-3 [参考書(ISBN)]			

科目名	運動生理学	後期	2 単位
サブタイトル	健康生活にはなぜ筋肉運動が必要か	講義	
担当者	奥野 直		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] ヒトが健康を維持・増進するために、運動が必要であることを生理学的に理解できるようになること、および運動を行ったときに生じる生理学的な急性の変化と、繰り返しによる適応的な変化について理解できるようになること、そして、運動生理学の基礎的な知識やエビデンスに基づいた運動・スポーツの実践ならびに指導できるようになることを到達目標とする。			
[授業概要] 現代人が生活する中で、多くの人は運動量が不足する状態に陥っている。ヒトとして健康を維持するために運動は欠かせないものであることを、生理学的な理解を深めるために、筋骨格系、呼吸系、循環系、体液・体温調節系、代謝系などの基本的な内容と、運動をしている時やトレーニングを継続することによって起こる生体の一時的な変化から適応までのメカニズムを講義する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習を十分にしておくこと(2時間)。			
[授業計画] 1. 健康・体力づくりの意義と運動の効用 (健康・体力の定義、栄養・運動・休養の概念) 2. 運動に関わる骨格と筋肉の構造と機能、トップアスリートの肉体の神秘① 3. 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化① (筋繊維タイプ、筋収縮のメカニズム) 4. 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化② (筋の収縮様式と筋力、神経系・反射系) 5. まとめ①、人体神秘の巨大ネットワーク① 6. 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化③ (呼吸器系、酸素負債、呼吸交換比) 7. 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化④ (循環器系、心拍出量) 8. 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑤ (血液・体液調節、熱中症) 9. まとめ②、トップアスリートの肉体の神秘② 10. 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑥ (血液・体液調節、体温調節、水分補給) 11. 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑦ (内分泌系) 12. 運動とエネルギー代謝 13. まとめ③、人体神秘の巨大ネットワーク②			

科目名	運動生理学	後期	2 単位
サブタイトル	健康生活にはなぜ筋肉運動が必要か	講義	
担当者	奥野 直		
[成績評価方法] 3回の理解度確認試験(30%×3)と提出物(10%)により評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。 提出物は、webシステムで解答を解説します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験と提出物 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験と提出物 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験と提出物 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験と提出物 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験と提出物 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験と提出物 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S80320 [HDB3-001]

科目名	栄養疫学		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	

[到達目標]

地域や職場で収集する情報やデータ、既に発信されている資料からの情報について、科学的根拠を基に読み解き、課題を発見する。

また、栄養教育後の対象者の変化について評価を行い、次の計画を提案できる。

[授業概要]

管理栄養士として現場に必要な調査・研究計画スキルを身に着ける。

公衆衛生学・公衆栄養学で学んだ内容を基礎とし、健康データや論文を参考にその結果について適切な方法で分析を行い、批判的思考を持ち評価できる疫学手法について学ぶ。見えてきた課題について、対象者にわかりやすく発信する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

課題について予習を行う。(30分)

授業の復習を兼ね、必要なレポートを提出する。(60分)

[授業計画]

- 1.疫学とは何か(歴史と生命倫理)
- 2.健康課題と栄養疫学
- 3.疫学で用いられる指標
- 4.疫学研究を始める前に
- 5.疫学デザイン①と論文解釈
- 6.疫学デザイン②と論文解釈
- 7.適切な食事調査法の選択
- 8.バイアスと交絡/小テスト
- 9.因果関係の条件
- 10.食事調査結果の分析・検査データの活用(生化学的指標・身体計測値と体組成)
- 11.データ分析のための統計手法と解釈
- 12.疫学研究の計画
- 13.栄養疫学の視点を組み入れた健康増進計画・健康教育

科目名	栄養疫学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] 試験と小テスト(50%)、レポート(30%)、授業中の発表(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・各回の内容について、その都度質問に答える。 ・レポートに対し、個別にコメントをする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: レポート内容と発表内容 学科DP番号／DP内容: 管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: レポート内容と発表内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の取り組みとレポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業中の取り組みとレポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 授業中の取り組みとレポート内容 [教科書(ISBN)] 書籍名: はじめて学ぶやさしい疫学 著者名: 日本疫学会 出版社名: 南江堂 ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名: EBN入門 著者名: 佐々木由樹 出版社名: 講談社 ISBN: 9784065134504			

科目名	栄養疫学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	

[到達目標]

地域や職場で収集する情報やデータ、既に発信されている資料からの情報について、科学的根拠を基に読み解き、課題を発見する。

また、栄養教育後の対象者の変化について評価を行い、次の計画を提案できる。

[授業概要]

管理栄養士として現場に必要な調査・研究計画スキルを身に着ける。

公衆衛生学・公衆栄養学で学んだ内容を基礎とし、健康データや論文を参考にその結果について適切な方法で分析を行い、批判的思考を持ち評価できる疫学手法について学ぶ。見えてきた課題について、対象者にわかりやすく発信する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

課題について予習を行う。(30分)

授業の復習を兼ね、必要なレポートを提出する。(60分)

[授業計画]

- 1.疫学とは何か(歴史と生命倫理)
- 2.健康課題と栄養疫学
- 3.疫学で用いられる指標
- 4.疫学研究を始める前に
- 5.疫学デザイン①と論文解釈
- 6.疫学デザイン②と論文解釈
- 7.適切な食事調査法の選択
- 8.バイアスと交絡/小テスト
- 9.因果関係の条件
- 10.食事調査結果の分析・検査データの活用(生化学的指標・身体計測値と体組成)
- 11.データ分析のための統計手法と解釈
- 12.疫学研究の計画
- 13.栄養疫学の視点を組み入れた健康増進計画・健康教育

科目名	栄養疫学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] 試験と小テスト(50%)、レポート(30%)、授業中の発表(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・各回の内容について、その都度質問に答える。 ・レポートに対し、個別にコメントをする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: レポート内容と発表内容 学科DP番号／DP内容: 管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: レポート内容と発表内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の取り組みとレポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業中の取り組みとレポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 授業中の取り組みとレポート内容 [教科書(ISBN)] 書籍名: はじめて学ぶやさしい疫学 著者名: 日本疫学会 出版社名: 南江堂 ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名: EBN入門 著者名: 佐々木由樹 出版社名: 講談社 ISBN: 9784065134504			

科目名	栄養カウンセリング論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	平田 庸子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
①健康管理を行うために必要なカウンセリング理論を学び理解することができる。				
②栄養教育・指導に必要なカウンセリング技術を学び、他者に適切に伝達する技術を身につけることができる。				
③栄養カウンセリングを通して、管理栄養士として課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身につけることができる。				
[授業概要]				
管理栄養士として栄養指導の経験を有する教員が、栄養カウンセリングの理論や技法などについて指導します。栄養士は対象者の考え・気持ち・状況を受容、共感、理解し、心身の状態を的確に把握したうえで、個々のニーズに合った栄養指導を行うことが大切です。栄養カウンセリング論では、栄養指導に必要な心理学などの基礎的知識とカウンセリング理論を学習します。さらに事例を通して、実践的なカウンセリング技法を理解していきます。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
次の授業の準備としてテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。				
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。				
[授業計画]				
1. オリエンテーション: 栄養教育におけるカウンセリングの位置づけ				
2. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論				
3. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(受容・傾聴・共感)				
4. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(要約・沈黙その他)				
5. 栄養教育に関連のある心理アセスメント				
6. 栄養教育に関連のある行動療法・家族療法他				
7. パーソナリティ理論 とパーソナリティの発達				
8. 栄養教育に必要な心理アセスメント				
9. 食行動理論				
10. ストレスと食行動				
11. ライフステージと食行動の特徴				
12. 栄養指導事例(摂食障害 肥満症 生活習慣病)				
13. 栄養指導事例の検討				
14. 栄養カウンセリングの理論と技術に関する理解度の確認テスト				
授業の進行状況によって順番が変わることがあります。				

科目名	栄養カウンセリング論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	平田 庸子		
[成績評価方法] 理解度確認テスト(60%)、レポート(40%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ・レポートは、回収後に授業中に解説します。 ・理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:理解度確認テスト レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:理解度確認テスト レポート [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養カウンセリング論 第2版 著者名:小松 啓子 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784061553583 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養教育論 著者名:土江 節子 出版社名:学文社 ISBN:9784762033476			

科目名	栄養カウンセリング論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	平田 庸子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ①健康管理を行うために必要なカウンセリング理論を学び理解することができる。 ②栄養教育・指導に必要なカウンセリング技術を学び、他者に適切に伝達する技術を身につけることができる。 ③栄養カウンセリングを通して、管理栄養士として課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身につけることができる。 [授業概要] 管理栄養士として栄養指導の経験を有する教員が、栄養カウンセリングの理論や技法などについて指導します。栄養士は対象者の考え・気持ち・状況を受容、共感、理解し、心身の状態を的確に把握したうえで、個々のニーズに合った栄養指導を行うことが大切です。栄養カウンセリング論では、栄養指導に必要な心理学などの基礎的知識とカウンセリング理論を学習します。さらに事例を通して、実践的なカウンセリング技法を理解していきます。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次の授業の準備としてテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。 [授業計画] 1. オリエンテーション: 栄養教育におけるカウンセリングの位置づけ 2. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論 3. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(受容・傾聴・共感) 4. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(要約・沈黙その他) 5. 栄養教育に関連のある心理アセスメント 6. 栄養教育に関連のある行動療法・家族療法他 7. パーソナリティ理論 とパーソナリティの発達 8. 栄養教育に必要な心理アセスメント 9. 食行動理論 10. ストレスと食行動 11. ライフステージと食行動の特徴 12. 栄養指導事例(摂食障害 肥満症 生活習慣病) 13. 栄養指導事例の検討 14. 栄養カウンセリングの理論と技術に関する理解度の確認テスト 授業の進行状況によって順番が変わることがあります。				

科目名	栄養カウンセリング論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	平田 庸子		
[成績評価方法] 理解度確認テスト(60%)、レポート(40%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ・レポートは、回収後に授業中に解説します。 ・理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:理解度確認テスト レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:理解度確認テスト レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:理解度確認テスト レポート [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養カウンセリング論 第2版 著者名:小松 啓子 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784061553583 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養教育論 著者名:土江 節子 出版社名:学文社 ISBN:9784762033476			

科目名	栄養管理学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 対象者の栄養状態を客観的に評価・判定し、その状態に対応した栄養介入を実施して健康維持・増進を目指す栄養管理の考え方及び進め方を理解する。栄養管理の食事摂取の基盤として、日本人の食事摂取基準2025年版を基にエネルギーおよび各栄養素の必要量を決定する科学的根拠を理解する。 [授業概要] 人間の栄養素代謝による栄養環境への適応を概説する。健康維持・増進、疾病の予防のための栄養管理の基本的な考え方および進め方を概説する。エネルギー・栄養素必要量を決定する科学的根拠として日本人の食事摂取基準2025年版を基に概説する。また、代表的な生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連について講義する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。応用栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野および基礎栄養学についても日頃から復習しておくこと。 [授業計画] 1. 序論 2. 栄養環境 3. 栄養環境 4. 栄養環境 4. 栄養管理の考え方 5. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 6. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 7. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 8. 日本人の食事摂取基準(総論) 9. 日本人の食事摂取基準(各論) 10. 日本人の食事摂取基準(各論) 11. 日本人の食事摂取基準(各論) 12. 日本人の食事摂取基準(各論) 13. 生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連、まとめ				

科目名	栄養管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの答案を回収後、解答の解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法: 試験 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 試験 学科DP番号／DP内容: 管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 試験 [教科書(ISBN)] 書籍名: 栄養科学シリーズ応用栄養学第7版 著者名: 木戸康博・桑波田将士・青井渉・金子一郎・編 出版社名: 講談社 ISBN: 9784065380314 書籍名: 日本人の食事摂取基準2025年版 著者名: 佐々木敏 監修 出版社名: 第一出版 ISBN: 9784804114927 [参考書(ISBN)] 書籍名: 栄養管理プロセス改訂新版 著者名: 木戸康博・中村丁次・寺本房子・編 出版社名: 第一出版 ISBN: 9784804114453			

科目名	栄養教育実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

栄養教育の 計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。

[授業概要]

栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自体が能動的に取り組めるように実施する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関係するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]

- 1:オリエンテーション、食事調査
- 2:食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ)
- 3:食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ)
- 4:パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人)
- 5:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人)
- 6:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人)
- 7:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人)
- 8:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人)
- 9:生活時間調査、身体活動レベルの算出
- 10:外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ)
- 11:外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ)
- 12:SATシステムを使った栄養診断・まとめ
- 13:個人で作成した栄養指導媒体の作品発表

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養教育・栄養指導論 演習・実習 著者名:辻とみ子、堀田千津子、平光美津子 編 出版社名:みらい ISBN:9784860155964 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養教育実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

栄養教育の 計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。

[授業概要]

栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自体が能動的に取り組めるように実施する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]

- 1:オリエンテーション、食事調査
- 2:食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ)
- 3:食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ)
- 4:パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人)
- 5:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人)
- 6:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人)
- 7:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人)
- 8:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人)
- 9:生活時間調査、身体活動レベルの算出
- 10:外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ)
- 11:外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ)
- 12:SATシステムを使った栄養診断・まとめ
- 13:個人で作成した栄養指導媒体の作品発表

科目名	栄養教育実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養教育・栄養指導論 演習・実習 著者名:辻とみ子、堀田千津子、平光美津子 編 出版社名:みらい ISBN:9784860155964 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養教育実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 栄養教育の計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。				
[授業概要] 栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自体が能動的に取り組めるように実施する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関するニュース等に関心を持つこと。				
[授業計画] 1:オリエンテーション、食事調査 2:食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ) 3:食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 4:パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人) 5:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人) 6:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人) 7:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人) 8:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人) 9:生活時間調査、身体活動レベルの算出 10:外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ) 11:外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 12:SATシステムを使った栄養診断・まとめ 13:個人で作成した栄養指導媒体の作品発表				

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養教育・栄養指導論 演習・実習 著者名:辻とみ子、堀田千津子、平光美津子 編 出版社名:みらい ISBN:9784860155964 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養教育実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

栄養教育の計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。

[授業概要]

栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自体が能動的に取り組めるように実施する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]

- 1:オリエンテーション、食事調査
- 2:食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ)
- 3:食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ)
- 4:パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人)
- 5:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人)
- 6:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人)
- 7:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人)
- 8:パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人)
- 9:生活時間調査、身体活動レベルの算出
- 10:外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ)
- 11:外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ)
- 12:SATシステムを使った栄養診断・まとめ
- 13:個人で作成した栄養指導媒体の作品発表

科目名	栄養教育実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養教育・栄養指導論 演習・実習 著者名:辻とみ子、堀田千津子、平光美津子 編 出版社名:みらい ISBN:9784860155964 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養教育論 I		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 総合的な栄養教育マネジメントの習得と管理栄養士の役割の認識の向上を図る。				
[授業概要] 管理栄養士としての実務経験を活かし、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう理論と方法を習得する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。				
[授業計画] 1: 栄養教育の目的・目標、対象と機会 2: 行動科学理論とモデル① 3: 行動科学理論とモデル② 4: 行動変容技法と概念 5: 栄養カウンセリング① 6: 栄養カウンセリング② 7: 組織づくり・地域づくりへの展開、食環境づくりとの関連 8: 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント 9: 栄養教育の目標設定 10: 栄養教育のプランニング 11: 栄養教育の実施 12: 栄養教育の評価 13: 総まとめ				

科目名	栄養教育論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] 試験:70% 課題(レポート・ノート)＋小テスト:30% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に答合せをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題・小テストはチェック後返却。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:人間の行動変容に関する基本 著者名:監修／武見ゆかり・赤松利恵 編 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:9784263720325 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養教育論 I		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 総合的な栄養教育マネジメントの習得と管理栄養士の役割の認識の向上を図る。				
[授業概要] 管理栄養士としての実務経験を活かし、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう理論と方法を習得する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。				
[授業計画] 1: 栄養教育の目的・目標、対象と機会 2: 行動科学理論とモデル① 3: 行動科学理論とモデル② 4: 行動変容技法と概念 5: 栄養カウンセリング① 6: 栄養カウンセリング② 7: 組織づくり・地域づくりへの展開、食環境づくりとの関連 8: 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント 9: 栄養教育の目標設定 10: 栄養教育のプランニング 11: 栄養教育の実施 12: 栄養教育の評価 13: 総まとめ				

科目名	栄養教育論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] 試験:70% 課題(レポート・ノート)＋小テスト:30% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に答合せをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:人間の行動変容に関する基本 著者名:監修／武見ゆかり・赤松利恵 編 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:9784263720325 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養教育論Ⅱ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
総合的な栄養教育マネジメントの習得と管理栄養士の役割の認識の向上を図る。				
[授業概要]				
管理栄養士としての実務経験を活かし、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう理論と方法を習得する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。				
・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。				
[授業計画]				
1:ライフステージ別栄養教育プログラム 妊娠・授乳期				
2:ライフステージ別栄養教育プログラム 乳児期				
3:ライフステージ別栄養教育プログラム 幼児期				
4:ライフステージ別栄養教育プログラム 離乳食教室を開催しよう				
5:ライフステージ別栄養教育プログラム 学童期				
6:ライフステージ別栄養教育プログラム 思春期				
7:ライフステージ別栄養教育プログラム 成人期				
8:ライフステージ別栄養教育プログラム 高齢期 障がい者				
9:ライフステージ別栄養教育プログラム 傷病者				
10:ライフスタイル、健康状態別栄養教育プログラム アスリート				
11:その他の栄養教育と食環境づくり				
12:栄養教育と国際的動向				
13:災害時の食を考える				

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] 試験80% 課題(ノート・レポート)20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に答合せをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 第9巻 栄養教育論 多様な場での展開と実践 著者名:日本栄養改善学会 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263720363 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養教育論Ⅱ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
総合的な栄養教育マネジメントの習得と管理栄養士の役割の認識の向上を図る。				
[授業概要]				
管理栄養士としての実務経験を活かし、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう理論と方法を習得する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。				
・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。				
[授業計画]				
1:ライフステージ別栄養教育プログラム 妊娠・授乳期				
2:ライフステージ別栄養教育プログラム 乳児期				
3:ライフステージ別栄養教育プログラム 幼児期				
4:ライフステージ別栄養教育プログラム 離乳食教室を開催しよう				
5:ライフステージ別栄養教育プログラム 学童期				
6:ライフステージ別栄養教育プログラム 思春期				
7:ライフステージ別栄養教育プログラム 成人期				
8:ライフステージ別栄養教育プログラム 高齢期 障害者				
9:ライフステージ別栄養教育プログラム 傷病者				
10:ライフスタイル、健康状態別栄養教育プログラム アスリート				
11:その他の栄養教育と食環境づくり				
12:栄養教育と国際的動向				
13:災害時の食を考える				

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] 試験80% 課題(レポート・ノート)20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に答合せをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 第9巻 栄養教育論 多様な場での展開と実践 著者名:日本栄養改善学会 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263720363 [参考書(ISBN)]			

科目名	応用栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ		実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] ライフステージ別の栄養管理のための考え方を理解する。				
[授業概要] ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養管理プロセス(栄養スクリーニング、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価、アウトカム)の過程を実習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、栄養管理学、ライフステージ栄養学に関する講義や実習の内容をしっかりと復習し、理解をしておく。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、授業概要および実習室使用に関する安全衛生管理の説明 【栄養管理の基本①】栄養管理の概念、栄養リスクスクリーニング(小倉・清水) 2. 【栄養管理の基本②】栄養評価①(食物/栄養関連の履歴、身体計測)(小倉・清水) 3. 【栄養管理の基本③】栄養評価②(生化学データ、栄養に焦点を当てた身体所見)(小倉・清水) 4. 【栄養管理の基本④】栄養診断(栄養評価演習)(小倉・清水) 5. 【栄養管理の基本⑤】栄養介入計画①(立案)(小倉・清水) 6. 【栄養管理の基本⑥】栄養介入計画②(食品構成と献立の作成)(小倉・清水) 7. 【ライフステージごとの栄養管理①】 妊娠期・授乳期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 8. 【ライフステージごとの栄養管理②】 新生児・乳児期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 9. 【ライフステージごとの栄養管理③】 高齢期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 10. 【ライフステージごとの栄養管理④】 妊娠期・授乳期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 11. 【ライフステージごとの栄養管理⑤】 新生児・乳児期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 12. 【ライフステージごとの栄養管理⑥】 高齢期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 13. まとめ(各ライフステージの評価・アウトカムの発表)(小倉・清水)				

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ	実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫		
[成績評価方法] 授業に対する取り組みおよびレポート等の提出物(80%)、小テスト(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:NEXT応用栄養学実習 第2版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065208236 書籍名:日本人の食事摂取基準(2025年版) 著者名: 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114927 [参考書(ISBN)] 書籍名:応用栄養学 第6版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065180440			

科目名	応用栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ		実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] ライフステージ別の栄養管理のための考え方を理解する。				
[授業概要] ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養管理プロセス(栄養スクリーニング、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価、アウトカム)の過程を実習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、栄養管理学、ライフステージ栄養学に関する講義や実習の内容をしっかりと復習し、理解をしておく。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、授業概要および実習室使用に関する安全衛生管理の説明 【栄養管理の基本①】栄養管理の概念、栄養リスクスクリーニング(小倉・清水) 2. 【栄養管理の基本②】栄養評価①(食物/栄養関連の履歴、身体計測)(小倉・清水) 3. 【栄養管理の基本③】栄養評価②(生化学データ、栄養に焦点を当てた身体所見)(小倉・清水) 4. 【栄養管理の基本④】栄養診断(栄養評価演習)(小倉・清水) 5. 【栄養管理の基本⑤】栄養介入計画①(立案)(小倉・清水) 6. 【栄養管理の基本⑥】栄養介入計画②(食品構成と献立の作成)(小倉・清水) 7. 【ライフステージごとの栄養管理①】 妊娠期・授乳期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 8. 【ライフステージごとの栄養管理②】 新生児・乳児期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 9. 【ライフステージごとの栄養管理③】 高齢期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 10. 【ライフステージごとの栄養管理④】 妊娠期・授乳期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 11. 【ライフステージごとの栄養管理⑤】 新生児・乳児期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 12. 【ライフステージごとの栄養管理⑥】 高齢期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 13. まとめ(各ライフステージの評価・アウトカムの発表)(小倉・清水)				

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ	実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫		
[成績評価方法] 授業に対する取り組みおよびレポート等の提出物(80%)、小テスト(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:NEXT応用栄養学実習 第2版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065208236 書籍名:日本人の食事摂取基準(2025年版) 著者名: 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114927 [参考書(ISBN)] 書籍名:応用栄養学 第6版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065180440			

科目名	応用栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ		実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標]				
ライフステージ別の栄養管理のための考え方を理解する。				
[授業概要]				
ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養管理プロセス(栄養スクリーニング、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価、アウトカム)の過程を実習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、栄養管理学、ライフステージ栄養学に関する講義や実習の内容をしっかりと復習し、理解をしておく。				
[授業計画]				
1. オリエンテーション、授業概要および実習室使用に関する安全衛生管理の説明 【栄養管理の基本①】栄養管理の概念、栄養リスクスクリーニング(小倉・清水)				
2. 【栄養管理の基本②】栄養評価①(食物/栄養関連の履歴、身体計測)(小倉・清水)				
3. 【栄養管理の基本③】栄養評価②(生化学データ、栄養に焦点を当てた身体所見)(小倉・清水)				
4. 【栄養管理の基本④】栄養診断(栄養評価演習)(小倉・清水)				
5. 【栄養管理の基本⑤】栄養介入計画①(立案)(小倉・清水)				
6. 【栄養管理の基本⑥】栄養介入計画②(食品構成と献立の作成)(小倉・清水)				
7. 【ライフステージごとの栄養管理①】 妊娠期・授乳期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水)				
8. 【ライフステージごとの栄養管理②】 新生児・乳児期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水)				
9. 【ライフステージごとの栄養管理③】 高齢期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水)				
10. 【ライフステージごとの栄養管理④】 妊娠期・授乳期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水)				
11. 【ライフステージごとの栄養管理⑤】 新生児・乳児期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水)				
12. 【ライフステージごとの栄養管理⑥】 高齢期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水)				
13. まとめ(各ライフステージの評価・アウトカムの発表)(小倉・清水)				

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ	実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫		
[成績評価方法] 授業に対する取り組みおよびレポート等の提出物(80%)、小テスト(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:NEXT応用栄養学実習 第2版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065208236 書籍名:日本人の食事摂取基準(2025年版) 著者名: 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114927 [参考書(ISBN)] 書籍名:応用栄養学 第6版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065180440			

科目名	応用栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ		実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ライフステージ別の栄養管理のための考え方を理解する。				
[授業概要] ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養管理プロセス(栄養スクリーニング、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価、アウトカム)の過程を実習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、栄養管理学、ライフステージ栄養学に関する講義や実習の内容をしっかりと復習し、理解をしておく。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、授業概要および実習室使用に関する安全衛生管理の説明 【栄養管理の基本①】栄養管理の概念、栄養リスクスクリーニング(小倉・清水) 2. 【栄養管理の基本②】栄養評価①(食物/栄養関連の履歴、身体計測)(小倉・清水) 3. 【栄養管理の基本③】栄養評価②(生化学データ、栄養に焦点を当てた身体所見)(小倉・清水) 4. 【栄養管理の基本④】栄養診断(栄養評価演習)(小倉・清水) 5. 【栄養管理の基本⑤】栄養介入計画①(立案)(小倉・清水) 6. 【栄養管理の基本⑥】栄養介入計画②(食品構成と献立の作成)(小倉・清水) 7. 【ライフステージごとの栄養管理①】 妊娠期・授乳期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 8. 【ライフステージごとの栄養管理②】 新生児・乳児期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 9. 【ライフステージごとの栄養管理③】 高齢期: 栄養リスクスクリーニング、栄養評価・栄養診断、栄養介入計画(献立作成)(小倉・清水) 10. 【ライフステージごとの栄養管理④】 妊娠期・授乳期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 11. 【ライフステージごとの栄養管理⑤】 新生児・乳児期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 12. 【ライフステージごとの栄養管理⑥】 高齢期: 栄養介入計画の実行・モニタリング(小倉・清水) 13. まとめ(各ライフステージの評価・アウトカムの発表)(小倉・清水)				

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養管理プロセスを学ぶ	実習	
担当者	清水 扶美、小倉 嘉夫		
[成績評価方法] 授業に対する取り組みおよびレポート等の提出物(80%)、小テスト(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:NEXT応用栄養学実習 第2版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065208236 書籍名:日本人の食事摂取基準(2025年版) 著者名: 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114927 [参考書(ISBN)] 書籍名:応用栄養学 第6版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065180440			

科目名	解剖生理学Ⅰ		前期	2 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を知る		講義	
担当者	清水 扶美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 人体の構造と機能の習得を目標とする。				
[授業概要] 人体を構成する最小単位は細胞であり、同じ働きをする細胞の集団が組織を形成し、さらに器官を形作る。人体は、9つの器官系から成り立っている。解剖生理学の講義では、各器官系の構造と機能を解説し、さらに9つの器官系が有機的に関連しながら恒常性を保ちつつ生命を維持する機序を習得できるように講義を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。授業内容のワークシートを、授業前にManabaにてPDF形式で公開しています。授業前に、必ず予習して完成させておくこと。				
[授業計画] 1. 解剖生理学のはじめに、細胞と組織(清水・置村) 2. 血液・造血器・リンパ系(清水・置村) 3. 循環器Ⅰ(心臓の位置と構造、循環系、刺激伝導系、心電図と心臓周期)(清水・置村) 4. 循環器Ⅱ(血管の構造とはたらき、血圧・循環の調節)(清水・置村) 呼吸器(呼吸器系の構造とはたらき、ガス交換の仕組み)(清水・置村) 5. 腎(泌尿器系の構造と機能、尿生成、体液の維持・調節)(清水・置村) 6. 消化器Ⅰ(消化器系の構成、咀嚼・嚥下、消化運動、食道と胃)(清水・置村) 7. 消化器Ⅱ(小腸、胆のうと膵臓、大腸、排便の仕組み)(清水・置村) 8. 消化器Ⅲ(化学的消化と膜消化、肝臓のはたらき)(清水・置村) 9. 内分泌Ⅰ(主な内分泌腺ホルモンの概要、ホルモン産生臓器①視床下部・下垂体、②副腎皮質・副腎髄質、血圧の調整)(清水・置村) 10. 内分泌Ⅱ(ホルモン産生臓器③甲状腺・副甲状腺、④睪島、⑤性腺(性周期などを含む))(清水・置村) 11. 運動器(骨の構造とはたらき・骨代謝、筋の特徴・骨格筋の構造とエネルギー源)(清水・置村) 12. 神経(神経細胞の構造、神経の興奮、神経系の刺激伝達、神経伝達物質、神経系の概略)(清水・置村) 13. 生殖器、感覚器、皮膚組織、体温調節(清水・置村)				

科目名	解剖生理学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を知る	講義	
担当者	清水 扶美		
[成績評価方法] 筆記試験(100%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に試験の解説を行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113625 [参考書(ISBN)] 書籍名:Manabaにて公開するPDF形式のワークシート 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	解剖生理学Ⅱ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	置村 康彦			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 臨床栄養学など専門分野をよりよく学ぶため、人体の構造と機能について理解し、得た知識を応用できるようになる。				
[授業概要] 消化器、循環器といった人体の各系統ごとに、解剖学、生理学を併せて解説します。解剖生理学Iの理解を前提に、臨床との結びつきを意識し、専門分野への橋渡しとなるような講義を行う予定です。 解剖生理学Iの理解を前提とするため、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)の該当分野を読んできて下さい(授業計画に記載)。予習のようにみえますが、復習でもあります。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物学、生化学、解剖生理学Iの内容を理解していることが必要です。理解が不十分な人は復習しておきましょう。それが、この授業の予習となります。また、授業の後には、これまでに習得した事項との関連性の確認を中心に復習することが必要です。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。				
[授業計画] 授業内容に関連して、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)を読んできて下さい。 予習のようにみえますが、復習でもあります。そのうち重要な事項について重点をおいて講義します。さらにその内容についてクイズ(小テスト)を適宜行い、終了後さらに解説します。				
1.細胞と組織(参考書P29~43まで読んでくること) 2.血液(参考書P67~81まで読んでくること) 3.循環器(参考書P85~104まで読んでくること) 4.呼吸器(参考書P107~131まで読んでくること) 5.まとめ1／腎(参考書P121~131まで読んでくること) 6.腎／消化管(参考書P45~63まで読んでくること) 7.消化器 8.内分泌(参考書P134-139, 167~183まで読んでくること) 9.内分泌／代謝 10.骨／筋(参考書P142~152,154-165まで読んでくること) 11.中枢神経系(参考書P186~205まで読んでくること) 12.末梢神経系 13.感覚器/皮膚(参考書P208-215, 225~230まで読んでくること) 14.試験				

科目名	解剖生理学Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のクイズ(小テスト)後、解説を行いフィードバックします。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫, 岡 純, 山田和彦／編 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1362-5			

S80305 [HDB2-003]

科目名	解剖生理学Ⅱ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	置村 康彦			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 臨床栄養学など専門分野をよりよく学ぶため、人体の構造と機能について理解し、得た知識を応用できるようになる。				
[授業概要] 消化器、循環器といった人体の各系統ごとに、解剖学、生理学を併せて解説します。解剖生理学Iの理解を前提に、臨床との結びつきを意識し、専門分野への橋渡しとなるような講義を行う予定です。 解剖生理学Iの理解を前提とするため、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)の該当分野を読んできて下さい(授業計画に記載)。予習のようにみえますが、復習でもあります。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物学、生化学、解剖生理学Iの内容を理解していることが必要です。理解が不十分な人は復習しておきましょう。それが、この授業の予習となります。また、授業の後には、これまでに習得した事項との関連性の確認を中心に復習することが必要です。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。				
[授業計画] 授業内容に関連して、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)を読んできて下さい。 予習のようにみえますが、復習でもあります。そのうち重要な事項について重点をおいて講義します。さらにその内容についてクイズ(小テスト)を適宜行い、終了後さらに解説します。				
1.細胞と組織(参考書P29~43まで読んでくること) 2.血液(参考書P67~81まで読んでくること) 3.循環器(参考書P85~104まで読んでくること) 4.呼吸器(参考書P107~131まで読んでくること) 5.まとめ1／腎(参考書P121~131まで読んでくること) 6.腎／消化管(参考書P45~63まで読んでくること) 7.消化器 8.内分泌(参考書P134-139, 167~183まで読んでくること) 9.内分泌／代謝 10.骨／筋(参考書P142~152,154-165まで読んでくること) 11.中枢神経系(参考書P186~205まで読んでくること) 12.末梢神経系 13.感覚器/皮膚(参考書P208-215, 225~230まで読んでくること) 14.試験				

科目名	解剖生理学Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のクイズ(小テスト)後、解説を行いフィードバックします。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫, 岡 純, 山田和彦／編 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1362-5			

科目名	解剖生理学実験		後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する		実験	
担当者	清水 扶美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 人体を形成する細胞・組織の構造・機能を、実験を通して解剖生理学の講義で学んだ知識と結び付け、より深く理解する。				
[授業概要] 人体の構造を理解するために、人体模型を用いて臓器の形態と位置を把握し、組織標本を用いて臓器の細胞学的特徴を観察する。また、各器官系に関連する血圧測定、肺気量測定、デンプン消化実験などを行い、臓器の構造と生理学的な機能について系統的な理解を深める。 ※実験動物の解剖は、基礎栄養学実験の授業で行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。前回の実験内容のレポートおよび課題を完成させておくこと。また、事前に配布する次回の実験内容や課題を必ず予習しておくこと。				
[授業計画] 1. 細胞・組織:細胞・組織の構成、スケッチの手法(清水・置村) 2. 血液:血液の構成、顕微鏡の扱い方、赤血球のカウント方法、浸透圧と溶血(実験実習)(清水・置村) 3. 循環器1:心臓の構造と刺激伝達系、脈拍と血圧の測定(実験実習)(清水・置村) 4. 循環器2:血管の構造と心臓周期、心電図と心音の聴取(実験実習)(清水・置村) 5. 呼吸器:呼吸器系の構造、呼吸数の観察と肺活量測定(実験実習)(清水・置村) 6. 内分泌(演習)、腎臓1:腎臓の構造(演習・顕微鏡を用いた組織観察)(清水・置村) 7. 腎臓2:クレアチニンの定量とクレアチニンクリアランス(実験実習)(清水・置村) 8. 消化器系1:消化器の構造と機能(演習・組織観察)(清水・置村) 9. 消化器系2:唾液アミラーゼの消化実験(実験実習)(清水・置村) 10. 消化器系3:ペプシンの消化実験(実験実習)(清水・置村) 11. 骨格・骨組織:骨の構造、骨密度測定(実験実習)(清水・置村) 筋:筋組織の観察、高齢者体験装置による高齢者の運動機能の考察(実験実習)(清水・置村) 12. 脳・神経:中枢神経の構成・脳の区分、膝蓋腱反射と棒反応時間測定(実験実習)(清水・置村) 13. 皮膚・感覚器:皮膚・感覚器の仕組み、味覚の実験(実験実習)(清水・置村) まとめ(清水・置村)				

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
[成績評価方法] レポート・課題(60%)、筆記試験(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・課題の内容は、基本的には翌週に返却する時に解説を行う。試験は、試験終了後に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:人体の構造と機能 解剖生理学実習 著者名:森田 規之 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784061553774 書籍名:配布プリント 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113625 書籍名:解剖生理学 I で使用したワークシート 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	解剖生理学実験		後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する		実験	
担当者	清水 扶美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 人体を形成する細胞・組織の構造・機能を、実験を通して解剖生理学の講義で学んだ知識と結び付け、より深く理解する。				
[授業概要] 人体の構造を理解するために、人体模型を用いて臓器の形態と位置を把握し、組織標本を用いて臓器の細胞学的特徴を観察する。また、各器官系に関連する血圧測定、肺気量測定、デンプン消化実験などを行い、臓器の構造と生理学的な機能について系統的な理解を深める。 ※実験動物の解剖は、基礎栄養学実験の授業で行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。前回の実験内容のレポートおよび課題を完成させておくこと。また、事前に配布する次回の実験内容や課題を必ず予習しておくこと。				
[授業計画] 1. 細胞・組織:細胞・組織の構成、スケッチの手法(清水・置村) 2. 血液:血液の構成、顕微鏡の扱い方、赤血球のカウント方法、浸透圧と溶血(実験実習)(清水・置村) 3. 循環器1:心臓の構造と刺激伝達系、脈拍と血圧の測定(実験実習)(清水・置村) 4. 循環器2:血管の構造と心臓周期、心電図と心音の聴取(実験実習)(清水・置村) 5. 呼吸器:呼吸器系の構造、呼吸数の観察と肺活量測定(実験実習)(清水・置村) 6. 内分泌(演習)、腎臓1:腎臓の構造(演習・顕微鏡を用いた組織観察)(清水・置村) 7. 腎臓2:クレアチニンの定量とクレアチニンクリアランス(実験実習)(清水・置村) 8. 消化器系1:消化器の構造と機能(演習・組織観察)(清水・置村) 9. 消化器系2:唾液アミラーゼの消化実験(実験実習)(清水・置村) 10. 消化器系3:ペプシンの消化実験(実験実習)(清水・置村) 11. 骨格・骨組織:骨の構造、骨密度測定(実験実習)(清水・置村) 筋:筋組織の観察、高齢者体験装置による高齢者の運動機能の考察(実験実習)(清水・置村) 12. 脳・神経:中枢神経の構成・脳の区分、膝蓋腱反射と棒反応時間測定(実験実習)(清水・置村) 13. 皮膚・感覚器:皮膚・感覚器の仕組み、味覚の実験(実験実習)(清水・置村) まとめ(清水・置村)				

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
[成績評価方法] レポート・課題(60%)、筆記試験(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・課題の内容は、基本的には翌週に返却する時に解説を行う。試験は、試験終了後に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:人体の構造と機能 解剖生理学実習 著者名:森田 規之 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784061553774 書籍名:配布プリント 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113625 書籍名:解剖生理学 I で使用したワークシート 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	解剖生理学実験		後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する		実験	
担当者	清水 扶美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 人体を形成する細胞・組織の構造・機能を、実験を通して解剖生理学の講義で学んだ知識と結び付け、より深く理解する。				
[授業概要] 人体の構造を理解するために、人体模型を用いて臓器の形態と位置を把握し、組織標本を用いて臓器の細胞学的特徴を観察する。また、各器官系に関連する血圧測定、肺気量測定、デンプン消化実験などを行い、臓器の構造と生理学的な機能について系統的な理解を深める。 ※実験動物の解剖は、基礎栄養学実験の授業で行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。前回の実験内容のレポートおよび課題を完成させておくこと。また、事前に配布する次回の実験内容や課題を必ず予習しておくこと。				
[授業計画] 1. 細胞・組織:細胞・組織の構成、スケッチの手法(清水・置村) 2. 血液:血液の構成、顕微鏡の扱い方、赤血球のカウント方法、浸透圧と溶血(実験実習)(清水・置村) 3. 循環器1:心臓の構造と刺激伝達系、脈拍と血圧の測定(実験実習)(清水・置村) 4. 循環器2:血管の構造と心臓周期、心電図と心音の聴取(実験実習)(清水・置村) 5. 呼吸器:呼吸器系の構造、呼吸数の観察と肺活量測定(実験実習)(清水・置村) 6. 内分泌(演習)、腎臓1:腎臓の構造(演習・顕微鏡を用いた組織観察)(清水・置村) 7. 腎臓2:クレアチニンの定量とクレアチニンクリアランス(実験実習)(清水・置村) 8. 消化器系1:消化器の構造と機能(演習・組織観察)(清水・置村) 9. 消化器系2:唾液アミラーゼの消化実験(実験実習)(清水・置村) 10. 消化器系3:ペプシンの消化実験(実験実習)(清水・置村) 11. 骨格・骨組織:骨の構造、骨密度測定(実験実習)(清水・置村) 筋:筋組織の観察、高齢者体験装置による高齢者の運動機能の考察(実験実習)(清水・置村) 12. 脳・神経:中枢神経の構成・脳の区分、膝蓋腱反射と棒反応時間測定(実験実習)(清水・置村) 13. 皮膚・感覚器:皮膚・感覚器の仕組み、味覚の実験(実験実習)(清水・置村) まとめ(清水・置村)				

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
[成績評価方法] レポート・課題(60%)、筆記試験(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・課題の内容は、基本的には翌週に返却する時に解説を行う。試験は、試験終了後に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:人体の構造と機能 解剖生理学実習 著者名:森田 規之 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784061553774 書籍名:配布プリント 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113625 書籍名:解剖生理学 I で使用したワークシート 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 家族とは何かについて考えることができる。また、家族に関する基礎的な諸概念や理論を理解し、現実に行っている家族の諸問題について考察することができる。			
[授業概要] 社会の変化に伴い、家族の形態や機能も大きく変化している。出生率の低下、晩婚化・非婚化の進行、離婚の増大、家族をつくらない人々の増加など、家族の多様化が進んでいる。本授業では、このような家族に関する基本理論を、家族社会学の立場から体系的に解説する。 家族は誰にとっても身近な存在であるが、それだけに、いざ家族を定義づけようすると難しい。家族の定義からはじめ、次に、結婚、出産、高齢期といったライフサイクル的視点で家族をとらえていく。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・日ごろから、新聞やニュースで話題になる現代家族がかかえている諸問題に関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。 ・予習・復習合わせて4時間程度行うこと。			
[授業計画] 1. イントロダクション:家族とは？ 家族をどうとらえるか。 2. 「近代家族」の成立:家族は歴史的に変化するか 3. 家族・貧困・福祉:家族と貧困 4. 家族・貧困・福祉:日本の生活保障システムと家族 5. 結婚:結婚とは何か。未婚化という変化。 6. 結婚:離婚における変化。パートナーシップの多様化。 7. 就業と家族:ワークライフバランスの実現に向けて。 8. 妊娠・出産・子育て:少子化 9. 妊娠・出産・子育て:医療技術と子どもをもつこと 10.妊娠・出産・子育て:家事と育児の分担 11. 親-成人子関係のゆくえ:親-成人子関係についての理論的枠組み、親-成人子関係の変化 12. 個人・家族・親密性のゆくえ:多様化する家族 13. 家族関係に関する理解度確認テスト・解説			

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[成績評価方法] ・授業で実施する小テスト、課題 60% ・定期試験 40% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・コメントシートについては、確認して次回授業時に返却します。 ・manabaで実施する小テストは、提出後に解答・解説が閲覧できるように自動採点設定をします。 ・試験後、問題の解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	学校栄養教育論Ⅰ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	福田 典子、林 浩子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 児童生徒の健康と食生活の課題を認識し、望ましい食習慣の形成に役立つ栄養教育の技法を修得する。				
[授業概要] 児童生徒の食生活には、朝食の欠食・夜食の増加、間食や外食による不規則な食行動の増加傾向がみられる。さらに生活リズムの乱れ、運動不足やストレスによる肥満児の増加、その反面、やせ志向の増加なども目立ちはじめ、これらの影響として小児生活習慣病の発生も顕著になりつつあり、児童生徒を取り巻く生活環境は、健全な心身の発達に対し多様な課題を擁しながら大きく様変わりしている。こうしたなか、保護者・学校・地域社会が連携して栄養教育を実施し、児童生徒自らが生きる糧としての食生活を認識し、健康で心豊かな人間形成を図ることは社会的にも急務とされている。児童生徒の望ましい食習慣の形成に役立つ栄養教諭としての栄養教育のありかたについて学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容の予習復習。各回予習復習合わせて4時間程度。 関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。				
[授業計画] 1:オリエンテーション これからの学習のすすめ方(福田) 2:栄養教諭の職務の制度と役割(福田) 3:学校給食の教育的意義と役割、学校組織と栄養教諭の位置づけ(福田) 4:学校栄養教育に係わる法令と諸制度(福田) 5:子どもの発達と食生活(福田) 6:学齢期の疾病と栄養教育(福田) 7:まとめ(福田) 8:栄養教諭に採用されるまで 学校給食の沿革、戦後からの学校給食年表(林) 9:学校給食献立の推移と献立作成を中心とした給食経営管理(林) 10:学校給食の衛生管理と食育だより活用の食育活動(林) 11:学校給食における食環境の推移 給食指導時における実践的指導(林) 12:教育実習のための課題実施 食に関する指導の全体計画(林) 13:まとめ 栄養教諭の実践と模擬授業について(林) ※林担当分は集中講義				

科目名	学校栄養教育論Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 典子、林 浩子		
[成績評価方法] 試験70%、レポート等提出物30% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に答合せをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題は提出後解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書 (ISBN)] 書籍名:四訂 栄養教諭論 第2版 著者名:金田雅代 編著 出版社名:建帛社 ISBN:9784767921198 [参考書 (ISBN)]			

科目名	学校栄養教育論Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	福田 典子、西川 和孝、林 浩子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 学校栄養教諭としての具体的な栄養教育プログラムの作成と実習により、指導力を習得する。				
[授業概要] 「学校栄養教育論Ⅰ」では、児童生徒における望ましい食習慣の形成につなぐための健康・栄養・食生活・学校給食管理等、栄養教育を実践するための基礎的な知識の導入と理論を修得し、そのうえで活力のある授業を展開するために調査、資料収集の技術を修得した。「学校栄養教育論Ⅱ」では児童生徒の望ましい食習慣形成への目標達成のための、社会資源の活用、栄養教育プログラムの作成の技法等、栄養教育のマネジメントについて具体的実践論の展開方法について学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて4時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。				
[授業計画] 1: 個別栄養相談指導(福田) －個別栄養相談指導の意義、特徴等－ 2: 個別栄養相談指導(福田) －対象別 食物アレルギー、肥満、やせ、貧血－ 3: 家庭・地域との連携(福田) －家庭・地域や関係団体との連携、地産地消を進めるための連携－ 4: まとめ(福田) 5: 栄養教諭に関する法律等の復習(西川) 6: 小学校・中学校「家庭科」における食に関する指導(西川) 7: 「体育科・保健体育科」「道徳・特別活動」における食に関する指導(西川) 8: 「生活科」「総合的な時間」における食に関する指導(西川) 9: まとめ(西川) 10: 発達に応じた食に関する指導と食育教材(文部科学省、兵庫県教育委員会)(林) 11: 模擬授業と授業・教材研究1(林) 12: 模擬授業と授業・教材研究2(林) 13: 模擬授業と授業・教材研究3 まとめ(林) ※林担当分は集中講義				

科目名	学校栄養教育論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 典子、西川 和孝、林 浩子		
[成績評価方法] 試験70%、提出物30%、 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に答合せをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:四訂 栄養教諭論 第2版 著者名:金田雅代 編著 出版社名:建帛社 ISBN:9784767921198 [参考書(ISBN)]			

科目名	家庭科指導法Ⅰ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	佐藤 佐織			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ・学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標・内容が説明できる。 ・家庭科の学習指導計画・方法の基礎・基本を理解している。 ・家庭科におけるICTの効果的な利用法を理解している。 ・学習指導案を書き、模擬授業をすることができる。 [授業概要] ・家庭科の性格や学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標及び内容、学習評価について概説する。 ・学校現場における教員経験がある者が、家庭科の授業をするための基礎的・基本的事項について指導する。 ・授業計画を立てて学習指導案を作成し、模擬授業を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の授業の予習・復習に4時間程度あてることが必要である。 家庭科指導法Ⅱにむけて、この授業の内容を理解し、記録化、まとめておく必要がある。 [授業計画] 第1回:ガイダンス・家庭科教育の意義と家庭科の授業とは 第2回:中学校家庭分野「A家族・家庭生活」と高等学校家庭科「A家族・家庭及び福祉」の目標及び内容 第3回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容① 第4回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容② 第5回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容③ 第6回:中学校家庭分野「C消費生活・環境」と高等学校家庭科「C消費生活・環境」の目標及び内容 第7回:指導計画の作成と内容の取扱い・「指導と評価の一体化」のための学習評価 第8回:家庭科の学習形態とICTの活用・板書方法とワークシートの作成・家庭科教育の実習環境と施設設備 第9回:模擬授業① 第10回:模擬授業② 第11回:模擬授業③ 第12回:模擬授業④ 第13回:まとめ				

科目名	家庭科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
[成績評価方法] 授業態度 (20%)、課題 (30%)、模擬授業 (30%)、試験 (20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業態度、レポート、模擬授業 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、試験 [教科書 (ISBN)] 書籍名:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:教育図書 ISBN:9784877304195 書籍名:家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081057 書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304021541 書籍名:技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ(中学校検定済教科書 家庭009-72) 著者名:綿引伴子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081354 [参考書 (ISBN)]			

科目名	家庭科指導法Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	佐藤 佐織			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
・中学校技術・家庭科(家庭分野)の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。				
・高等学校家庭科の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。				
・学習指導案を書き、模擬授業をすることができる。				
・模擬授業を通して、生徒と授業者の両方の立場から実践上の課題をつかむことができる。				
[授業概要]				
・学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、教材研究と授業づくりについて指導する。				
・授業の計画、教材研究、実施、評価の流れを理解した上で学習指導案を作成し、模擬授業を行う。模擬授業では、目標に向かって学習過程を展開するための課題、および発問・説明・指示、板書、机間指導等の課題をつかむ。				
・模擬授業に参加することにより、他の受講生の授業について評価をしながら、授業を改善し、視点と方法について探究する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
・「家庭科指導法Ⅰ」の講義内容は、本授業のベースになるので必ず復習をしておく。				
・指導計画や模擬授業の準備等、授業の課題に積極的に取り組む。				
・授業内容を理解したり、模擬授業のための学習指導案の作成・教材研究のために4時間程度の時間を充てることが求められる。				
[授業計画]				
第1回:ガイダンス・家庭科の教材研究と授業づくり①(家族・家庭)				
第2回:家庭科の教材研究と授業づくり②(食生活)				
第3回:家庭科の教材研究と授業づくり③(衣生活)				
第4回:家庭科の教材研究と授業づくり④(住生活)				
第5回:家庭科の教材研究と授業づくり⑤(消費・環境)				
第6回:模擬授業用学習指導案作成・板書計画				
第7回:実習教材のねらいと意義①				
第8回:実習教材のねらいと意義②				
第9回:実習教材のねらいと意義③				
第10回:模擬授業①				
第11回:模擬授業②				
第12回:模擬授業③				
第13回:模擬授業④				

科目名	家庭科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
[成績評価方法] 授業態度(20%)、課題(40%)、模擬授業(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート、授業づくり 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:授業態度、レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、学習指導案、模擬授業 [教科書(ISBN)] 書籍名:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:教育図書 ISBN:9784877304195 書籍名:家庭総合 明日を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081057 書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304021541 書籍名:技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ 著者名:綿引伴子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081354 [参考書(ISBN)]			

S82330 [HDH3-004]

科目名	家庭電気・機械		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西崎 敏			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1 電気、機械の基礎知識について理解できるようになる。 2 家庭のエネルギーについて説明ができるようになる。 3 家庭電気機器の動作原理、機能、構造、将来展望について理解し、適切に扱えるようになる。 [授業概要] 私たちは、さまざまな電気機器や家庭用機械を利用しながら生活している。これらの機器は、家事の合理化など、私たちの快適な生活を支えている。また年々機器の性能も向上し、高機能化している。これらの機器についての仕組みや構造等を理解することが望まれる。本講義では、機械、電気、情報についての基礎知識および、エネルギー消費や機械、電気機器のしくみなどを学習する。これらの基礎知識をベースに、関連する最新情報を紹介し、紹介した最新情報をレポートにまとめ、お互いにディスカッションし、毎回の講義を整理することにより学習内容の定着を図る。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 中学理科(電気、磁気)や技術・家庭科の内容が基礎となります。日常生活において電気製品や機器を利用するとき、その機能や環境問題についても意識して講義での質問事項を考えておいてください。各回の講義についての予習復習を、4時間程度行ってください。 [授業計画] 1. ガイダンス(科学技術の進歩と現代の生活)(ライフラインなど) 2. 機械要素とその働き1 家庭用ミシン、アイロン、自転車の構造としくみ(機構、ねじ、歯車など) 3. 機械要素とその働き2 自動車(エンジン、モーター、バッテリー、燃料電池など) 4. 機械とエネルギー変換(力学とエネルギー変換技術、再生可能エネルギーなど) 5. 電気の基礎1 発電(水力、火力、原子力、太陽光など) 6. 電気の基礎2(電子、電流と電圧、磁気、磁界、電気の単位など) 7. 電気の基礎3(直流と交流、周波数、直列と並列、電力と電力量、ジュールの法則など) 8. 家庭用機器 (電熱機器、照明機器、動力機器、音声映像機器など) 9. 家庭用屋内配線(送電、変圧、電力など) 10. これからの住居と家庭用電気機器(スマートハウス、スマート家電など) 11. エネルギー事情と対策(これからの日本のエネルギーの現状と課題) 12. 家庭生活と情報機器(機器操作と情報リテラシー) 13. 全体のまとめ				

科目名	家庭電気・機械	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西崎 敏		
[成績評価方法] 授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義途中の課題・レポートについては、次の講義でコメントしフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:家政1-3／人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%) 学科DP番号／DP内容:家政2-2／社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%) 学科DP番号／DP内容:家政3-1／社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%) [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S82270 [HDS3-004]

科目名	感染防御学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	置村 康彦			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 病原微生物の性状、感染症の成立要因を理解し、主な感染症の原因、症状、予防について説明できる。 [授業概要] 宿主(ヒト)において、外から入ってきた病原体に対して防御するために発達したシステムが免疫です。病原体は細菌、ウイルス、寄生虫など多様であり、その侵入・寄生の仕方も多様です。これらの病原体による種々の感染症とこれらに対する生体防御機構を学び、理解することを目標とします。また、最近話題の感染症についても講義します。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に次回の予定を示しますので、教科書の該当する箇所を目をとっておいてください。また、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。 [授業計画] 1. 微生物と微生物学 2. 細菌の性質 3. ウイルスの性質、真菌の性質、原虫・寄生虫の性質 4. 感染と感染症、滅菌と消毒 5. 生体防御機構 免疫の仕組み 6. 生体防御機構の変調とそれに基づく疾患 7. 感染症の現状 8. 細菌感染症-1 9. 細菌感染症-2 10. 真菌感染症、原虫・寄生虫感染症 11. ウイルス感染症-1 12. ウイルス感染症-2 13. まとめ				

科目名	感染防御学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] クイズ(小テスト)50%、試験50%で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後それについて解説しフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験80%で評価します。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験80%で評価します。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験80%で評価します。 [教科書(ISBN)] 書籍名:系統看護学講座 微生物学 著者名:南嶋洋一ほか 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-04702-9 [参考書(ISBN)]			

科目名	管理栄養士特別演習Ⅰ		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	小倉 嘉夫、栗原 伸公、田村 奈緒子、末武 勲、清水 扶美、置村 康彦、木村 万里子、宮本 有香、橋本 多美子、後藤 昌弘、甲斐 達男、狩野 百合子、福田 典子、久永 文、竹市 仁美、才新 直子、西井 穂、杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1～3年生までの学修内容を横断的に整理するため、分野別の講義を通じて必要な専門知識の整理を行い、全体的な復習を行うことにより、管理栄養士として活躍できる基礎力を習得することを目標とする。 [授業概要] 1～3年生までに修得した管理栄養士として必要な基本的事項に関して、分野別・科目ごとにオムニバス講義を実施する。管理栄養士として全般的な知識を必要とする複数の科目が関わる総合問題の理解へつなげた講義の導入も実施する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前には必ず授業プリントなど配布物に目を通し予習をしておくこと 演習問題(過去問題)の解答および正文化の実施(manaba) 小テストの実施(manaba) [授業計画] 1. オリエンテーション: 受講方法(演習、小テストについて、スケジュール、学習の進め方など)について(国試対策委員長) 2. 社会・環境と健康(栗原、外部講師) 3. 人体の構造と機能および疾病の成り立ち①(田村、末武) 4. 人体の構造と機能および疾病の成り立ち②(清水、置村) 5. 食べ物と健康①(木村、宮本) 6. 食べ物と健康②(橋本、後藤) 7. 基礎栄養学(甲斐、狩野) 8. 応用栄養学(小倉)・中間試験 9. 栄養教育論・臨床栄養学(福田、久永) 10. 公衆栄養学(竹市、外部講師) 11. 給食経営管理論(才新、西井) 12. 応用力問題(杉岡) 13. 試験 ※ 状況により授業内容が前後する場合があります。 テキストや実施スケジュールなどは、適宜manaba等の連絡を確認すること。				

科目名	管理栄養士特別演習Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫、栗原 伸公、田村 奈緒子、末武 勲、清水 扶美、置村 康彦、木村 万里子、宮本 有香、橋本 多美子、後藤 昌弘、甲斐 達男、狩野 百合子、福田 典子、久永 文、竹市 仁美、才新 直子、西井 穂、杉岡 ふみ子		
〔 成績評価方法 〕 演習問題課題提出状況 10% 小テスト成績 (manaba) 20% 学内にて実施する模擬試験による成績 70% ※ 単位認定のために個人面談が必要と判断された場合は、必ず受けること 〔 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 〕 小テストは実施終了後、解答を開示する。 〔 オフィスアワー (質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) 〕 学科DP番号／DP内容: 管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠 (エビデンス) に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する (協働する) 能力・姿勢 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: manabaによる小テストおよび課題提出状況 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S81620 [HDI3-008]

科目名	管理栄養士特別演習Ⅱ		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	小倉 嘉夫、清水 扶美、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、栗原 伸公、後藤 昌弘、置村 康彦、木村 万里子、竹市 仁美、宮本 有香、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子、甲斐 達男、末武 勲、福田 典子、久永 文			
〔アクティブラーニング授業〕				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
〔到達目標〕 1～4年生までに復習した基本的専門知識を活用し、さらに実践的な課題への取り組みを実施することにより、現場で活躍できる管理栄養士に必要な実践的な知識を習得することを目的とする。 〔授業概要〕 管理栄養士特別演習Ⅰで習得した基礎知識を活用し、実際の事例や複数の科目が関わる総合問題を取り上げた講義をオムニバス形式にて各教員が実施する。 管理栄養士として実際の事例や複数の科目が関わる総合問題を取り上げた講義も同様に実施する。 〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕 授業前には必ず授業プリントなど配布物に目を通し予習をしておくこと 課題(正文化の実施)(manaba) 小テストの実施(manaba) 〔授業計画〕 1. オリエンテーション: 受講方法(演習、小テストについてなど、スケジュール、学習の進め方など)について(国試対策委員長) 2. 社会・環境と健康(栗原、外部講師) 3. 人体の構造と機能および疾病の成り立ち①(田村、末武) 4. 人体の構造と機能および疾病の成り立ち②(清水、置村) 5. 食べ物と健康①(木村、宮本) 6. 食べ物と健康②(橋本、後藤) 7. 基礎栄養学(甲斐、狩野) 8. 応用栄養学・栄養教育論(小倉、福田) 9. 臨床栄養学(杉岡、久永) 10. 公衆栄養学(竹市、外部講師) 11. 給食経営管理論(才新、西井) 12. 応用力問題①(外部講師) 13. 応用力問題②(外部講師) 14. 試験 ※ 状況により授業内容が前後する場合があります。 テキストや実施スケジュールなどは、適宜manaba等の連絡を確認すること。				

科目名	管理栄養士特別演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫、清水 扶美、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、栗原 伸公、後藤 昌弘、置村 康彦、木村 万里子、竹市 仁美、宮本 有香、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子、甲斐 達男、末武 勲、福田 典子、久永 文		
〔 成績評価方法 〕 課題提出状況(正文化など)20% 学内にて実施する模擬試験による成績 80% ※ 単位認定のために個人面談が必要と判断された場合は、必ず受けること 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 模擬試験は、試験終了後に解答を配付し、成績は後日返却する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:学内、学外模擬試験成績、manabaによる小テストおよび課題提出状況 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:manabaによる小テストおよび課題提出状況 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S81630 [HDI3-009]

科目名	管理栄養士のための化学		前期	2 単位
サブタイトル	栄養科学全般にかかわる基礎学問としての基礎化学		講義	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	なし	実習、フィールドワーク	なし	
その他	なし	実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

1. 物質の構成、化学結合の種類と性質を説明できるようになる。
2. 物質の化学変化を理解し、説明できるようになる。
3. 有機化合物の構造と反応性を理解し、説明できるようになる。
4. 有機化合物の命名法(IUPAC)の基本を理解し、基本的な物質名を理解できるようになる。

[授業概要]

管理栄養士養成課程の専門科目を正しく理解するためには、基礎的な化学の知識が不可欠である。本講義では、栄養や食品といった応用的な内容に関連づけ、専門分野の学修容を理解するために最低限必要とされる化学の基礎(無機化学、有機化学)を系統的に学習する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

毎回の授業内容を必ず復習し理解する。不明な点は積極的に教員に質問すること。日頃から「自然現象」に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度です。

[授業計画]

1. 物質の構成
2. 原子構造と周期表、化学結合①
3. 化学結合②、物質量
4. 物質量と化学反応式
5. 酸と塩基
6. 酸化還元反応
7. 理解確認のための試験形式の演習(1～6回の内容)有機化合物の特徴と分類、官能基の反応性
8. 糖質
9. 脂質
10. タンパク質
11. 核酸
12. 理解確認のための試験形式の演習(7～11回の内容)
13. まとめと試験

科目名	管理栄養士のための化学	前期	2 単位
サブタイトル	栄養科学全般にかかわる基礎学問としての基礎化学	講義	
担当者	末武 勲		
[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、試験(85%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験(小テスト)の解答をmanaに提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識を有している 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄 2-1／栄養及び食に関して、科学的証拠(エビデンス)に基づき、整理する力を持っている 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄 3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持つような基盤を作る 成績評価方法:筆記試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:生理学・生化学につながるていねいな化学 著者名:白戸亮吉 出版社名:羊土社 ISBN:9784758121002 [参考書(ISBN)] 書籍名:Let's Try note 化学 物質の状態 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN: 書籍名:Let's Try note 化学 熱・電離と電気分解・反応の速さと平衡 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN: 書籍名:Let's Try note 化学 有機化合物 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN: 書籍名:Let's Try note 化学 無機物質 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN:			

科目名	管理栄養士のための化学		前期	2 単位
サブタイトル	栄養科学全般にかかわる基礎学問としての基礎化学		講義	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	なし	実習、フィールドワーク	なし	
その他	なし	実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 物質の構成、化学結合の種類と性質を説明できるようになる。 2. 物質の化学変化を理解し、説明できるようになる。 3. 有機化合物の構造と反応性を理解し、説明できるようになる。 4. 有機化合物の命名法(IUPAC)の基本を理解し、基本的な物質名を理解できるようになる。 [授業概要] 管理栄養士養成課程の専門科目を正しく理解するためには、基礎的な化学の知識が不可欠である。本講義では、栄養や食品といった応用的な内容に関連づけ、専門分野の学修容を理解するために最低限必要とされる化学の基礎(無機化学、有機化学)を系統的に学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の授業内容を必ず復習し理解する。不明な点は積極的に教員に質問すること。日頃から「自然現象」に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度です。 [授業計画] 1. 物質の構成 2. 原子構造と周期表、化学結合① 3. 化学結合②、物質量 4. 物質量と化学反応式 5. 酸と塩基 6. 酸化還元反応 7. 理解確認のための試験形式の演習(1～6回の内容)有機化合物の特徴と分類、官能基の反応性 8. 糖質 9. 脂質 10. タンパク質 11. 核酸 12. 理解確認のための試験形式の演習(7～11回の内容) 13. まとめと試験				

科目名	管理栄養士のための化学	前期	2 単位
サブタイトル	栄養科学全般にかかわる基礎学問としての基礎化学	講義	
担当者	末武 勲		
[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、試験(85%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験(小テスト)の解答をmanaに提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識を有している 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄 2-1／栄養及び食に関して、科学的証拠(エビデンス)に基づき、整理する力を持っている 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄 3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持つような基盤を作る 成績評価方法:筆記試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:生理学・生化学につながるていねいな化学 著者名:白戸亮吉 出版社名:羊土社 ISBN:9784758121002 [参考書(ISBN)] 書籍名:Let's Try note 化学 物質の状態 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN: 書籍名:Let's Try note 化学 熱・電離と電気分解・反応の速さと平衡 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN: 書籍名:Let's Try note 化学 有機化合物 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN: 書籍名:Let's Try note 化学 無機物質 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN:			

科目名	管理栄養士のための生物		前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学		講義	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 「食べる側＝ヒト」も「食べられる側＝食材」も「生物」であることを踏まえ、生きるしくみの基本である細胞、遺伝子、代謝、さらに、ヒトが生命を維持するしくみについて基礎事項を正しく説明できるようになる。「食ること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を用いて説明できるようになる。 [授業概要] 中学校・高等学校で学習した内容も含め、生物学の基礎を断片的な暗記事項ではなく、論理的に「しくみ」としてストーリーを持って理解することを重視する。「生化学」「解剖生理学」「病理学」など管理栄養士として必須の科目の理解の土台となるよう、細胞・遺伝子・代謝の基礎、ヒトの身体のしくみとその維持などについて扱う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の授業内容を必ず復習し理解する。 不明な点は積極的に教員に質問してください。日頃から「自然現象」に関心を持つようにしてください。各回、予習復習合わせて4時間程度です。 [授業計画] 1. 生物学を学ぶための基礎知識 2. 細胞の構造と機能 3. 生殖様式と遺伝 4. 核酸と染色体 5. アミノ酸とペプチド 6. 糖 機能と認識 7. 脂質 種類と機能 8. タンパク質 酵素 9. 細胞間細胞内情報伝達 10. 恒常性のフィードバック機構 11. 免疫 12. 人体の機能を正常に保つのに必要な栄養素 ビタミン 13. まとめと試験				

科目名	管理栄養士のための生物	前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学	講義	
担当者	末武 勲		
[成績評価方法] 確認テストあるいは宿題の提出状況(15%)、試験(85%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験(小テスト)の解答は、マナバに提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と?に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験、定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び?に関する問題点を発?し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能?を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト、定期試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、宿題等の提出状況、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、定期試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田 久子 出版社名:化学同人 ISBN:9784759820539 [参考書(ISBN)] 書籍名:デジタルテキスト「人間の生命科学」 著者名:大島 美恵?、八杉 貞雄 ほか 出版社名:(公財)日本科学協会 ISBN:			

科目名	管理栄養士のための生物		前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学		講義	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 「食べる側＝ヒト」も「食べられる側＝食材」も「生物」であることを踏まえ、生きるしくみの基本である細胞、遺伝子、代謝、さらに、ヒトが生命を維持するしくみについて基礎事項を正しく説明できるようになる。「食ること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を用いて説明できるようになる。 [授業概要] 中学校・高等学校で学習した内容も含め、生物学の基礎を断片的な暗記事項ではなく、論理的に「しくみ」としてストーリーを持って理解することを重視する。「生化学」「解剖生理学」「病理学」など管理栄養士として必須の教科目の理解の土台となるよう、細胞・遺伝子・代謝の基礎、ヒトの身体のしくみとその維持などについて扱う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の授業内容を必ず復習し理解する。 不明な点は積極的に教員に質問してください。日頃頃から「自然現象」に関心を持つようにしてください。各回、予習復習合わせて4時間程度です。 [授業計画] 1. 生物学を学ぶための基礎知識 2. 細胞の構造と機能 3. 生殖様式と遺伝 4. 核酸と染色体 5. アミノ酸とペプチド 6. 糖 機能と認識 7. 脂質 種類と機能 8. タンパク質 酵素 9. 細胞間細胞内情報伝達 10. 恒常性のフィードバック機構 11. 免疫 12. 人体の機能を正常に保つのに必要な栄養素 ビタミン 13. まとめと試験				

科目名	管理栄養士のための生物	前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学	講義	
担当者	末武 勲		
[成績評価方法] 確認テストあるいは宿題の提出状況(15%)、試験(85%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験(小テスト)の解答は、マナバに提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と?に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能?を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト、定期試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、宿題等の提出状況、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、定期試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、筆記試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田 久子 出版社名:化学同人 ISBN:9784759820539 [参考書(ISBN)] 書籍名:デジタルテキスト「人間の生命科学」 著者名:大島 美恵?、八杉 貞雄 ほか 出版社名:(公財)日本科学協会 ISBN:			

科目名	管理栄養士論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 多美子、才新 直子、小倉 嘉夫、竹市 仁美、杉岡 ふみ子、木村 万里子、福田 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 栄養学の歴史を学び、社会における管理栄養士の役割や使命、職業人としての倫理、活動分野の理解を通して管理栄養士を目指す気持や意志を育む。さらに、管理栄養士の様々な職業や仕事の内容について具体的に学ぶことにより、将来の進路を考える機会とする。 [授業概要] 管理栄養士は、広く「食を通じて人々の健康をサポートする専門職」と位置づけることができる。将来、管理栄養士として職務に従事するために、大学ではどのような「学び」をする必要があるかを認識する。健康の維持・増進、疾病の予防・治療における栄養管理の意義や管理栄養士の役割について、医療、福祉、行政、企業、学校等の職域分野別に、オムニバス形式で講義する。また、病院、福祉施設、企業などで活躍されている卒業生の方々を講師に迎え、現場に即したお話をしていただくことで管理栄養士の仕事内容について学ぶ。 なお、毎回の講義内容の理解度を判定するため、講義内容を要約したレポート提出を課す。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 導入教育「信頼される専門職となるために」(医歯薬出版)の関連箇所を、予習復習合わせて4時間程度熟読しておく。また、日頃より栄養や食生活に関する情報の収集に努める。 [授業計画] - ガイダンス(木村) - 栄養士法等に規定されている管理栄養士・栄養士の役割、職域別管理栄養士の仕事ー行政(竹市) - 管理栄養士の使命と管理栄養士の仕事(竹市) - 管理栄養士としての健康管理・自己管理(福田) - 病院の歴史、病院における管理栄養士の役割(杉岡) - 職域別管理栄養士の仕事ー病院(杉岡、学外特別講師) - 職域別管理栄養士の仕事ー福祉関係(才新、学外特別講師) - 職域別管理栄養士の仕事ー委託会社(才新、学外特別講師) - 職域別管理栄養士の仕事ー栄養教諭(福田) - 職域別管理栄養士の仕事ー企業(橋本、学外特別講師) - 自分の食生活と栄養評価(才新) - 管理栄養士の社会的地位向上につながる「管理栄養士の研究者」をめざすには(小倉) - まとめ(橋本) 授業の順番および日程は、外部講師等の都合により変更することがあります。			

科目名	管理栄養士論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 多美子、才新 直子、小倉 嘉夫、竹市 仁美、杉岡 ふみ子、木村 万里子、福田 典子		
〔 成績評価方法 〕 レポート・課題(100%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 各教員がレポートの解説を授業内もしくは学内システムなどを活用して行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート・課題 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・課題 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 第1巻 管理栄養士論 第2版 著者名:日本栄養改善学会 監修 出版社名:医師薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-72040-0 書籍名:日本食品成分表2025 八訂 著者名:医師薬出版会社 編 出版社名:日本食品成分表2025八訂 ISBN:最新版 書籍名:必要に応じてプリントを配布 著者名: 出版社名: ISBN: 〔 参考書(ISBN) 〕			

S82000 [HDI1-006]

科目名	基礎アパレル造形演習		前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成		演習	
担当者	十一 玲子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。 [授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。 [授業計画] 1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)				

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:洋裁研究 基礎編 著者名:十一 玲子 他3名 出版社名:学校法人 行吉学園 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	基礎アパレル造形演習		後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成		演習	
担当者	十一 玲子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。 [授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。 [授業計画] 1.オエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)				

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:洋裁研究 著者名:十一 玲子 他3名 出版社名:学校法人 行吉学園 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	基礎栄養学		後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝		講義	
担当者	狩野 百合子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 管理栄養士として持つべき栄養学の基礎から、研究へ展開させることができる応用力を持つレベルへの到達を目標とする。				
[授業概要] 栄養の基本的概念を理解し、健康の保持増進、疾病予防における栄養の役割を理解して応用専門科目の基盤となる力を育む。そのためにはエネルギー代謝および栄養素の代謝と生理的意義を理解することが求められ、ヒトの個体レベルでの栄養現象を体構成成分への変換、臓器間の連携を通して栄養代謝の全体像として捉えることができるようにする。摂食行動から消化・吸収および栄養素の体内運搬までを体系づけて、エネルギー代謝および栄養素の代謝とその生理学的意義を理解する。特に糖質、脂質、タンパク質のエネルギー産生栄養素については、食後と食間期の代謝の違いと臓器別の差異、および代謝調節の全体を把握する必要がある。高度に洗練された専門知識と技術を有する管理栄養士として持つべき栄養学の基礎としてだけでなく、研究へ展開させることができる応用力をもつレベルへの到達を目標とする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物の知識は必須です。解剖生理学、生化学、食品学とも関連する基礎専門科目であるので、関連づけながら栄養学を体系的に学ぶための基礎学力が必要です。				
[授業計画] 1. 栄養の概念、栄養素の構造と機能 ①糖質の栄養 2. 栄養素の構造と機能 ②タンパク質の栄養 ③脂質の栄養 3. 栄養素の構造と機能 ④ビタミン・無機質 4. 栄養素の消化と吸収① 概念 5. 栄養素の消化と吸収② 6. 栄養素の消化と吸収③ 7. 栄養素の代謝 ①糖質の代謝 8. 栄養素の代謝 ②脂質の代謝 9. 栄養素の代謝 ③アミノ酸・タンパク質の代謝 10. 水・電解質の代謝 11. エネルギー代謝 12. 遺伝子発現と栄養 13. まとめと試験				

科目名	基礎栄養学	後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝	講義	
担当者	狩野 百合子		
[成績評価方法] 試験90%、小テスト10% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは、区切りのところで、3回程度行い、それらについては、試験回収、返却し、試験の解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:エキスパート基礎栄養学 著者名:坂井堅太郎 出版社名:化学同人 ISBN:978-4-7598-2152-9 [参考書(ISBN)]			

S81000 [HDI1-004]

科目名	基礎栄養学		後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝		講義	
担当者	狩野 百合子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 管理栄養士として持つべき栄養学の基礎から、研究へ展開させることができる応用力を持つレベルへの到達を目標とする。				
[授業概要] 栄養の基本的概念を理解し、健康の保持増進、疾病予防における栄養の役割を理解して応用専門科目の基盤となる力を育む。そのためにはエネルギー代謝および栄養素の代謝と生理的意義を理解することが求められ、ヒトの個体レベルでの栄養現象を体構成成分への変換、臓器間の連携を通して栄養代謝の全体像として捉えることができるようにする。摂食行動から消化・吸収および栄養素の体内運搬までを体系づけて、エネルギー代謝および栄養素の代謝とその生理学的意義を理解する。特に糖質、脂質、タンパク質のエネルギー産生栄養素については、食後と食間期の代謝の違いと臓器別の差異、および代謝調節の全体を把握する必要がある。高度に洗練された専門知識と技術を有する管理栄養士として持つべき栄養学の基礎としてだけでなく、研究へ展開させることができる応用力をもつレベルへの到達を目標とする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物の知識は必須です。解剖生理学、生化学、食品学とも関連する基礎専門科目であるので、関連づけながら栄養学を体系的に学ぶための基礎学力が必要です。				
[授業計画] 1. 栄養の概念、栄養素の構造と機能 ①糖質の栄養 2. 栄養素の構造と機能 ②タンパク質の栄養 ③脂質の栄養 3. 栄養素の構造と機能 ④ビタミン・無機質 4. 栄養素の消化と吸収① 概念 5. 栄養素の消化と吸収② 6. 栄養素の消化と吸収③ 7. 栄養素の代謝 ①糖質の代謝 8. 栄養素の代謝 ②脂質の代謝 9. 栄養素の代謝 ③アミノ酸・タンパク質の代謝 10. 水・電解質の代謝 11. エネルギー代謝 12. 遺伝子発現と栄養 13. まとめと試験				

科目名	基礎栄養学	後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝	講義	
担当者	狩野 百合子		
[成績評価方法] 試験90%、小テスト10% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは、区切りのところで、3回程度行い、それらについては、試験回収、返却し、試験の解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:エキスパート基礎栄養学 著者名:坂井堅太郎 出版社名:化学同人 ISBN:978-4-7598-2152-9 [参考書(ISBN)]			

科目名	基礎栄養学実験		後期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	狩野 百合子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1回生で習った基礎栄養学において特に重要な5大栄養素について定性・定量実験を行い、栄養という生理現象について理解を深める。 [授業概要] ヒトの個体レベルでの栄養現象は、摂取した食品の栄養成分の生体構成成分としての栄養素への代謝変換、さらに臓器間連携による体内での栄養素相互変換という一連の代謝の全体として把握することが必要である。そこで、本実験では、わたしたちの体はどのような構造と機能を持ち、食物をとった場合にどのように対処して生命活動は営まれているのかを知るため、基礎栄養学における特に重要な5大栄養素について、定性・定量実験をすることにより、理解を深める。さらには食生活が生体成分に及ぼす影響について調べ、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1回生で習った基礎栄養学の内容について実験を行う。特に5大栄養素について考えてみる実験を行う。糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルについて、定性実験及び定量実験を中心に行う。 [授業計画] 1. 実験についてのオリエンテーション 実験項目の内容や注意点について概説する。 2. 糖質の定性反応 3. たんぱく質の定性反応 4. アミノ酸の定性反応・脂質の定性反応 5. ビタミンの定性反応 6. 脂質の定量 7. タンパク質の定量Ⅰ(ビュレット法) 8. タンパク質の定量Ⅱ(ローリー法) 9. タンパク質の定量Ⅲ(ローリー法・応用) 10. 体液のpH調節・緩衝作用 11. 栄養素の消化吸収・栄養素の代謝(座学) 12. 動物実験・肝臓中脂質定量 栄養学を研究するために、動物実験の必要性和意義、研究倫理について説明する。ラットの肝臓中の脂質含量をFolch法で定量する。 13. まとめ・試験				

科目名	基礎栄養学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[成績評価方法] 授業終了後、翌週に提出するレポート提出13回分(30点)、最終回に実施するペーパーテスト1回分(50点満点)、出席による授業態度等の合計点を100点満点に換算して、成績評価とする。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出翌週レポートを評価し返却すると共に授業時間の最初に、「レポート講評」の時間を設けて、良かった点、悪かった点を伝えている。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:エキスパート基礎栄養学 著者名:坂井堅太郎 出版社名:化学同人 ISBN:978-4-7598-2152-9 [参考書(ISBN)]			

科目名	基礎栄養学実験		前期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	狩野 百合子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1回生で習った基礎栄養学において特に重要な5大栄養素について定性・定量実験を行い、栄養という生理現象について理解を深める。 [授業概要] ヒトの個体レベルでの栄養現象は、摂取した食品の栄養成分の生体構成成分としての栄養素への代謝変換、さらに臓器間連携による体内での栄養素相互変換という一連の代謝の全体として把握することが必要である。そこで、本実験では、わたしたちの体はどのような構造と機能を持ち、食物をとった場合にどのように対処して生命活動は営まれているのかを知るため、基礎栄養学における特に重要な5大栄養素について、定性・定量実験をすることにより、理解を深める。さらには食生活が生体成分に及ぼす影響について調べ、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1回生で習った基礎栄養学の内容について実験を行う。特に5大栄養素について考えてみる実験を行う。糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルについて、定性実験及び定量実験を中心に行う。 [授業計画] 1. 実験についてのオリエンテーション 実験項目の内容や注意点について概説する。 2. 糖質の定性反応 3. たんぱく質の定性反応 4. アミノ酸の定性反応・脂質の定性反応 5. ビタミンの定性反応 6. 脂質の定量 7. タンパク質の定量Ⅰ(ビュレット法) 8. タンパク質の定量Ⅱ(ローリー法) 9. タンパク質の定量Ⅲ(ローリー法・応用) 10. 体液のpH調節・緩衝作用 11. 栄養素の消化吸收・栄養素の代謝(座学) 12. 動物実験・肝臓中脂質定量 栄養学を研究するために、動物実験の必要性和意義、研究倫理について説明する。ラットの肝臓中の脂質含量をFolch法で定量する。 13. まとめ・試験				

科目名	基礎栄養学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[成績評価方法] 授業終了後、翌週に提出するレポート提出13回分(30点)、最終回に実施するペーパーテスト1回分(50点満点)、出席による授業態度等の合計点を100点満点に換算して、成績評価とする。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出翌週レポートを評価し返却すると共に授業時間の最初に、「レポート講評」の時間を設けて、良かった点、悪かった点を伝えている。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:エキスパート基礎栄養学 著者名:坂井堅太郎 出版社名:化学同人 ISBN:978-4-7598-2152-9 [参考書(ISBN)]			

科目名	基礎栄養学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

1回生で習った基礎栄養学において特に重要な5大栄養素について定性・定量実験を行い、栄養という生理現象について理解を深める。

[授業概要]

ヒトの個体レベルでの栄養現象は、摂取した食品の栄養成分の生体構成成分としての栄養素への代謝変換、さらに臓器間連携による体内での栄養素相互変換という一連の代謝の全体として把握することが必要である。そこで、本実験では、わたしたちの体はどのような構造と機能を持ち、食物をとった場合にどのように対処して生命活動は営まれているのかを知るため、基礎栄養学における特に重要な5大栄養素について、定性・定量実験をすることにより、理解を深める。さらには食生活が生体成分に及ぼす影響について調べ、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1回生で習った基礎栄養学の内容について実験を行う。特に5大栄養素について考えてみる実験を行う。糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルについて、定性実験及び定量実験を中心に行う。

[授業計画]

1. 実験についてのオリエンテーション

実験項目の内容や注意点について概説する。

2. 糖質の定性反応

3. たんぱく質の定性反応

4. アミノ酸の定性反応・脂質の定性反応

5. ビタミンの定性反応

6. 脂質の定量

7. タンパク質の定量Ⅰ(ビュレット法)

8. タンパク質の定量Ⅱ(ローリー法)

9. タンパク質の定量Ⅲ(ローリー法・応用)

10. 体液のpH調節・緩衝作用

11. 栄養素の消化吸収・栄養素の代謝(座学)

12. 動物実験・肝臓中脂質定量

栄養学を研究するために、動物実験の必要性和意義、研究倫理について説明する。ラットの肝臓中の脂質含量をFolch法で定量する。

13. まとめ・試験

科目名	基礎栄養学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[成績評価方法] 授業終了後、翌週に提出するレポート提出13回分(30点)、最終回に実施するペーパーテスト1回分(50点満点)、出席による授業態度等の合計点を100点満点に換算して、成績評価とする。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出翌週レポートを評価し返却すると共に授業時間の最初に、「レポート講評」の時間を設けて、良かった点、悪かった点を伝えている。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:エキスパート基礎栄養学 著者名:坂井堅太郎 出版社名:化学同人 ISBN:978-4-7598-2152-9 [参考書(ISBN)]			

S81012 [HDI2-003]

科目名	基礎化学実験		後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ		実験	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。				
[授業概要] 基礎化学実験は、管理栄養?養成課程における実験系科?にスムーズに取り組めるようになるために、実験の基礎テクニックの習得と基礎理論を学ぶ。 修得項?としては、実験器具の取り扱い?法、試薬の調製?法、?品の基本成分分析を広く網羅しつつ中和滴定、酸化還元滴定、定性分析、加?分解、抽出と析出、官能検査、蒸留、pHと緩衝液について学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 実験器具の取り扱い方法 3. 試薬の調製?法 4. 中和滴定 5. 酸化還元滴定 6. ?品成分の定性分析(1) 7. ?品成分の定性分析(2) 8. ?品成分の加水分解 9. 析出 10. 官能試験 11. 抽出・蒸留 12. pH、緩衝液 13. 総まとめ				
※授業内容の理解・習熟状況によって実験項?の変更や?替わりがある。				

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	末武 勲		
[成績評価方法] 毎回提出するレポートおよび授業態度 ※授業内容の理解・習熟状況によっては筆記試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回実施の授業及び実験のレポートは、評価を付して返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:プリント使用 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド 著者名:倉沢 新一 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811377			

S80400 [HDS1-003]

科目名	基礎化学実験		後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ		実験	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。				
[授業概要] 基礎化学実験は、管理栄養士養成課程における実験系科目にスムーズに取り組めるようになるために、実験の基礎テクニックの習得と基礎理論を学ぶ。 修得項目としては、実験器具の取り扱い方法、試薬の調製方法、食品の基本成分分析を広く網羅しつつ中和滴定、酸化還元滴定、定性分析、加水分解、抽出と析出、官能検査、蒸留、pHと緩衝液について学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 実験器具の取り扱い方法 3. 試薬の調製方法 4. 中和滴定 5. 酸化還元滴定 6. 食品成分の定性分析(1) 7. 食品成分の定性分析(2) 8. 食品成分の加水分解 9. 析出 10. 官能試験 11. 抽出・蒸留 12. pH、緩衝液 13. 総まとめ				
※授業内容の理解・習熟状況によって実験項目の変更や入替わりがある。				

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	末武 勲		

[成績評価方法]
毎回提出するレポートおよび授業態度
※授業内容の理解・習熟状況によっては筆記試験を実施する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回実施の授業及び実験のレポートは、評価を付して返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。
成績評価方法:実験レポート

学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
成績評価方法:実験レポート

学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実験レポートおよび授業態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:プリント使用 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書(ISBN)]
書籍名:栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド 著者名:倉沢 新一 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811377

S80401 [HDS1-003]

科目名	基礎化学実験		前期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ		実験	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。				
[授業概要] 基礎化学実験は、管理栄養士養成課程における実験系科目にスムーズに取り組めるようになるために、実験の基礎テクニックの習得と基礎理論を学ぶ。 修得項目としては、実験器具の取り扱い方法、試薬の調製方法、食品の基本成分分析を広く網羅しつつ中和滴定、酸化還元滴定、定性分析、加水分解、抽出と析出、官能検査、蒸留、pHと緩衝液について学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 実験器具の取り扱い方法 3. 試薬の調製方法 4. 中和滴定 5. 酸化還元滴定 6. 食品成分の定性分析(1) 7. 食品成分の定性分析(2) 8. 食品成分の加水分解 9. 析出 10. 官能試験 11. 抽出・蒸留 12. pH、緩衝液 13. 総まとめ				
※授業内容の理解・習熟状況によって実験項目の変更や入替わりがある。				

科目名	基礎化学実験	前期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	末武 勲		
[成績評価方法] 毎回提出するレポートおよび授業態度 ※授業内容の理解・習熟状況によっては筆記試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回実施の授業及び実験のレポートは、評価を付して返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:プリント使用 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド 著者名:倉沢 新一 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811377			

S80402 [HDS1-003]

科目名	基礎化学実験		後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ		実験	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。				
[授業概要] 基礎化学実験は、管理栄養士養成課程における実験系科目にスムーズに取り組めるようになるために、実験の基礎テクニックの習得と基礎理論を学ぶ。 修得項目としては、実験器具の取り扱い方法、試薬の調製方法、食品の基本成分分析を広く網羅しつつ中和滴定、酸化還元滴定、定性分析、加水分解、抽出と析出、官能検査、蒸留、pHと緩衝液について学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 実験器具の取り扱い方法 3. 試薬の調製方法 4. 中和滴定 5. 酸化還元滴定 6. 食品成分の定性分析(1) 7. 食品成分の定性分析(2) 8. 食品成分の加水分解 9. 析出 10. 官能試験 11. 抽出・蒸留 12. pH、緩衝液 13. 総まとめ				
※授業内容の理解・習熟状況によって実験項目の変更や入替わりがある。				

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	末武 勲		
[成績評価方法] 毎回提出するレポートおよび授業態度 ※授業内容の理解・習熟状況によっては筆記試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回実施の授業及び実験のレポートは、評価を付して返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験レポートおよび授業態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:プリント使用 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド 著者名:倉沢 新一 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811377			

S80403 [HDS1-003]

科目名	給食経営管理実習		後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う		実習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。 [授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案: 栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案: 献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案: 品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案: 食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 ※1 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 ※1 7～12. のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。				

科目名	給食経営管理実習	後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		
[成績評価方法] 実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。 ※2 指定期日までの検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習レポート返却時にコメントを返します。 試験終了後に解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:【第5版】Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 著者名:西川貴子／著 深津智恵美／著 清水典子／著 富永しのぶ／著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263706657 [参考書(ISBN)] 書籍名:日本食品成分表2023 八訂 栄養計算ソフト・電子版付 著者名:医歯薬出版 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708408 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789503259			

S81520 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習		前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う		実習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。 [授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案:栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案:献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案:品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案:食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 ※1 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 ※1 7～12. のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。				

科目名	給食経営管理実習	前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		
[成績評価方法] 実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。 ※2 指定期日までの検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習レポート返却時にコメントを返します。 試験終了後に解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:【第5版】Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 著者名:西川貴子／著 深津智恵美／著 清水典子／著 富永しのぶ／著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263706657 [参考書(ISBN)] 書籍名:日本食品成分表2023 八訂 栄養計算ソフト・電子版付 著者名:医歯薬出版 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708408 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789503259			

S81521 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習		後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う		実習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。 [授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案: 栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案: 献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案: 品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案: 食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 ※1 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 ※1 7～12. のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。				

科目名	給食経営管理実習	後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	西井 穂		
[成績評価方法] 実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。 ※2 指定期日に検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習レポート返却時にコメントを返します。 試験終了後に解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:【第5版】Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 著者名:西川貴子／著 深津智恵美／著 清水典子／著 富永しのぶ／著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263706657 書籍名:日本食品成分表2023 八訂 栄養計算ソフト・電子版付 著者名:医歯薬出版 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708408 [参考書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789503259			

S81522 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習		前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う		実習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。 [授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案:栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案:献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案:品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案:食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 ※1 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 ※1 7～12. のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。				

科目名	給食経営管理実習	前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		
[成績評価方法] 実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。 ※2 指定期日までの検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習レポート返却時にコメントを返します。 試験終了後に解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:【第5版】Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 著者名:西川貴子／著 深津智恵美／著 清水典子／著 富永しのぶ／著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263706657 [参考書(ISBN)] 書籍名:日本食品成分表2023 八訂 栄養計算ソフト・電子版付 著者名:医歯薬出版 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708408 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789503259			

S81523 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習Ⅰ（校外）	前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理を学ぶ	実習	
担当者	西井 穂、才新 直子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 各給食施設の特徴を知り、それらに適した給食の運営及び経営管理のあり方を理解する。 また、経営資源の適切な配分を実践的に修得する。			
[授業概要] 実習概要(到達目標)事業所・学校給食センター・福祉施設・病院などの特定給食施設において、各施設の組織の概要を理解し、それぞれの施設での給食に係る、組織と運営・業務内容の実態を把握し、給食経営管理のあり方を修得することを目的とする。給食経営の資源となる「人」「物」「金」「情報」について、それぞれの施設での運営状況を学ぶ。単なる見学ではなく、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図る。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論Ⅰ、給食経営管理論Ⅱ、給食経営管理実習、大量調理施設衛生管理マニュアル、学校給食衛生管理基準について復習しておくこと。また実習施設の概要についても調べておくこと。また、実習中に何を学びたいか、目的を明確にしておくこと。			
[授業計画] 1. 実習準備 事前に提示された課題について深く理解し、関連の資料収集をする。事前教育や提示された課題を理解した上で、実習施設でどのようなことを学びたいのか、疑問点などについて予め考えておく。 2. 実習内容 (1)学校給食 成長期にある児童を対象として、栄養の改善及び健康の増進だけでなく、日常における食事について正しい理解と望ましい食習慣、明るい社交性を養うこと、さらに食糧の生産・配分・消費などについて正しく理解できるよう学校給食法に基づいた栄養教育を学ぶ。 (2)事業所給食 年齢や食習慣の多様な喫食者を対象として、その食事を栄養的・衛生的かつ能率的に提供する方法を体得する。栄養管理だけでなく、フードサービスマネジメントについての知識を特に必要とされる現場の一つで、経営管理・人事作業管理など多くの課題発見を期待される施設である。 (3)福祉施設給食 対象者のリハビリテーション・看護・介護・保育の状況を把握し、給食を通じてその健康維持・家庭復帰の促進などを学ぶ。 臨床の場に近い施設と考えられ、画一的な栄養管理ではなく、個々に対する栄養アセスメントについても専門知識を要する。 (4)病院給食 治療食としての給食の意義を学ぶ。 学内での実習に関する事前及び事後指導 1. 事前課題を通して実習の目的・目標を明確にする。 2. 実習後は、実習によって体得した事項を整理する。 3. 実習報告会を実施し、グループごとにその成果と反省点を検討、情報共有するとともに、特定給食施設における管理栄養士の役割について理解する。			

科目名	給食経営管理実習 I (校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理を学ぶ	実習	
担当者	西井 穂、才新 直子		
〔 成績評価方法 〕 実習期間中の態度 (40%)、実習ノート (40%)、 実習課題 (20%) 〔 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 〕 授業時間内で講評・課題に関するフィードバックの時間を設ける。 〔 オフィスアワー (質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) 〕 学科DP番号／DP内容: 管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する (協働する) 能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 実習ノート・実習課題 〔 教科書 (ISBN) 〕 書籍名:臨地実習・校外実習ハンドブック 著者名:藤原 政嘉 出版社名:みらい ISBN:9784860153304 〔 参考書 (ISBN) 〕 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789503259 書籍名:日本食品成分表2023 八訂 栄養計算ソフト・電子版付 著者名:医歯薬出版 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708408 書籍名:【改訂新版 第5版】大量調理 品質管理と調理の実際 著者名:殿塚婦美子／編集 殿塚婦美子／〔ほか〕執筆 出版社名:学建書院 ISBN:9784762428722 書籍名:【第5版】Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 著者名:西川貴子／著 深津智恵美／著 清水典子／著 富永しのぶ／著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263706657			

S81730 [HDI3-013]

科目名	給食経営管理実習Ⅱ（校外）		前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理と経営管理を学ぶ		実習	
担当者	西井 穂、才新 直子			
〔アクティブラーニング授業〕				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
〔到達目標〕 給食経営管理実習Ⅰ（校外）で習得した内容を基礎として、経営管理の諸問題を総合的に判断し、解決する能力を習得する。				
〔授業概要〕 給食経営管理論で学んだ知識と給食経営管理技術の統合を図るため、給食経営管理実習Ⅰ（校外）で学んだことに引き続き、事業所・学校（給食センター）・福祉施設・病院などの特定給食施設で、臨地実習を行う。給食現場では、栄養管理・経営管理・衛生管理・品質管理などに係る諸問題を総合的に判断し、解決する能力が求められる。これらに対して実践的に対応可能な知識を習得することが本実習の目的である。また与えられた課題のみを解決するのではなく、自らが課題を発展的に展開する能力を養うことも重要であり、このような観点からの学習も行う。				
〔準備学修（予習・復習）の内容・時間〕 給食経営管理論Ⅰ、給食経営管理論Ⅱ、給食経営管理実習、大量調理施設衛生管理マニュアル、学校給食衛生管理基準について復習しておくこと。また実習施設の概要についても調べておくこと。				
〔授業計画〕 事業所・学校（給食センター）・福祉施設・病院などにおいて管理栄養士の指導のもと1週間の実習の中で以下の内容について体得する。 給食運営・関連資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面のマネージメントを行う。 1. 栄養・給食業務の総合的マネジメント業務の運営方針と業務目標の設定 2. 各種業務の企画・立案、業務の運営に関わる会議の企画と運営 3. 人事及び労務管理や人材育成、職場教育 4. 栄養部門における運営経費の把握と経営管理他部門及び他職種との連絡調整 5. アウトソーシング、リスクマネジメントの実際、調査・研究など 学内での実習に関する事前及び事後指導 1. 事前課題を通して実習の目的・目標を明確にする。 2. 実習後は、実習によって体得した事項を整理する。 3. 実習報告会を実施し、グループごとにその成果と反省点を検討、情報共有するとともに、特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために管理栄養士としてのマネジメント能力を身につける。				

科目名	給食経営管理実習Ⅱ（校外）	前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理と経営管理を学ぶ	実習	
担当者	西井 穂、才新 直子		
〔 成績評価方法 〕 実習期間中の態度 (40%)、実習ノート (40%)、 実習課題 (20%) 〔 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 〕 授業時間内で講評・課題に関するフィードバックの時間を設ける。 〔 オフィスアワー (質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習ノート・実習課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習ノート・実習課題 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する (協働する) 能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習ノート・実習課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習ノート・実習課題 〔 教科書 (ISBN) 〕 書籍名:臨地実習・校外実習ハンドブック 著者名:藤原 政嘉 出版社名:みらい ISBN:9784860153304 〔 参考書 (ISBN) 〕 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789503259 書籍名:日本食品成分表2023 八訂 栄養計算ソフト・電子版付 著者名:医歯薬出版 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708408 書籍名:〔改訂新版 第5版〕大量調理 品質管理と調理の実践 著者名:殿塚婦美子／編集 殿塚婦美子／〔ほか〕執筆 出版社名:学建書院 ISBN:9784762428722 書籍名:〔第5版〕Plan-Do-Check-Actにそった給食運営・経営管理実習のてびき 著者名:西川貴子／著 深津智恵美／著 清水典子／著 富永しのぶ／著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263706657			

S81740 [HDI3-014]

科目名	給食経営管理論 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 特定給食施設の定義、目的、特徴を理解することができる。また、給食運営に必要な各管理業務についての内容と方法について説明できる。 [授業概要] 特定給食施設の定義、目的、法的根拠について学習する。給食を運営する上で必要な各管理業務の目的、方法、評価方法、および、給食施設における献立の立案から評価までの手法について学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを熟読し、意味の分からない専門用語をチェックしておく。授業の初めに前回の授業内容の復習小テストを実施する。事後学習は教科書を読み直し、ノートにまとめて理解を深める。事前・事後学習は週に4時間以上行うこと。 [授業計画] - 給食の概念(1)給食の概要と給食システム - 給食の概念(2)給食関連法規 - 栄養・食事管理(1)栄養・食事のアセスメント 対象者の把握、給与栄養目標量の設定について - 栄養・食事管理(2)食事の計画 荷重平均栄養成分表、食品構成 - 栄養・食事管理(3)食事の計画 献立作成 - 栄養・食事管理(4)栄養・食事計画の実施、評価、改善 - 給食の生産管理(1)食材料管理 - 給食の生産管理(2)生産(調理)と提供 - 給食の提供管理 提供サービス - 給食の安全・衛生の概要 安全・衛生管理の意義と目的 - 給食の安全・衛生の実際 大量調理施設衛生管理マニュアルについて - 給食の施設と設備 - まとめ				

科目名	給食経営管理論Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	才新 直子		
[成績評価方法] 試験(60%)、小テスト(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストを実施し、授業中に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト・試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト・試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 [参考書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理用語辞典 著者名: 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114200			

科目名	給食経営管理論 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 特定給食施設の定義、目的、特徴を理解することができる。また、給食運営に必要な各管理業務についての内容と方法について説明できる。 [授業概要] 特定給食施設の定義、目的、法的根拠について学習する。給食を運営する上で必要な各管理業務の目的、方法、評価方法、および、給食施設における献立の立案から評価までの手法について学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを熟読し、意味の分からない専門用語をチェックしておく。授業の初めに前回の授業内容の復習小テストを実施する。事後学習は教科書を読み直し、ノートにまとめて理解を深める。事前・事後学習は週に4時間以上行うこと。 [授業計画] - 給食の概念(1)給食の概要と給食システム - 給食の概念(2)給食関連法規 - 栄養・食事管理(1)栄養・食事のアセスメント 対象者の把握、給与栄養目標量の設定について - 栄養・食事管理(2)食事の計画 荷重平均栄養成分表、食品構成 - 栄養・食事管理(3)食事の計画 献立作成 - 栄養・食事管理(4)栄養・食事計画の実施、評価、改善 - 給食の生産管理(1)食材料管理 - 給食の生産管理(2)生産(調理)と提供 - 給食の提供管理 提供サービス - 給食の安全・衛生の概要 安全・衛生管理の意義と目的 - 給食の安全・衛生の実際 大量調理施設衛生管理マニュアルについて - 給食の施設と設備 - まとめ				

科目名	給食経営管理論Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	才新 直子		
[成績評価方法] 試験(60%)、小テスト(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストを実施し、授業中に解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト・試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト・試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 [参考書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理用語辞典 著者名: 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114200			

科目名	給食経営管理論Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 管理栄養士に必要な給食施設における特定多数の人々の栄養管理を目的とした食事サービスの運営管理の資源と組織・システムについて経営管理の理論に基づき説明できる。 [授業概要] 栄養管理を目的とした給食の生産(調理)と提供を効率的かつ安全に運営するための、マーケティング、システム構築などの経営手法を取り入れたマネジメントの考え方について教科書に基づいて学ぶ。給食管理実習で生じる課題事例も取り上げて、課題解決の方法について考察する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを読み、意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回の事前・事後学習は、4時間程度行うこと。 [授業計画] 1. 給食経営管理の概念 経営管理の概要、資源と管理 2. 給食とマーケティング 3. 給食の品質管理 品質と標準化 4. 給食の原価と収支構造(1) 5. 給食の原価と収支構造(2) 6. 給食経営と組織・人事管理 7. 事故・災害時対策 8.給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(1)医療施設 9. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(2)高齢者・介護福祉施設 10. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(3)児童・障害者福祉施設 11. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(4)学校 12. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(5)事業所・その他 13. まとめ				

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
[成績評価方法] 試験(70%)小テスト(30 %) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト [教科書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 [参考書(ISBN)]			

S81510 [HDI2-007]

科目名	給食経営管理論Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 管理栄養士に必要な給食施設における特定多数の人々の栄養管理を目的とした食事サービスの運営管理の資源と組織・システムについて経営管理の理論に基づき説明できる。 [授業概要] 栄養管理を目的とした給食の生産(調理)と提供を効率的かつ安全に運営するための、マーケティング、システム構築などの経営手法を取り入れたマネジメントの考え方について教科書に基づいて学ぶ。給食管理実習で生じる課題事例も取り上げて、課題解決の方法について考察する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを読み、意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回の事前・事後学習は、4時間程度行うこと。 [授業計画] 1. 給食経営管理の概念 経営管理の概要、資源と管理 2. 給食とマーケティング 3. 給食の品質管理 品質と標準化 4. 給食の原価と収支構造(1) 5. 給食の原価と収支構造(2) 6. 給食経営と組織・人事管理 7. 事故・災害時対策 8.給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(1)医療施設 9. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(2)高齢者・介護福祉施設 10. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(3)児童・障害者福祉施設 11. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(4)学校 12. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(5)事業所・その他 13. まとめ				

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
[成績評価方法] 試験(70%)小テスト(30 %) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト [教科書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 [参考書(ISBN)]			

S81511 [HDI2-007]

科目名	公衆衛生学 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。 管理栄養士として最低限必要な公衆衛生的知識を得る。 [授業概要] 社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。 公衆衛生学 I では、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。 また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。 [授業計画] 1. 第1章 社会と健康(健康の概念・健康の現状) 2. 第2章 環境と健康 3. 第3章 保健統計 4. 第4章1～3 疫学 5. 第4章4～6 スクリーニングとEBM(健康管理の進め方・EBMに基づく健康管理、健康情報) 6. 第5章 生活習慣と疾病(健康に影響する生活要因) 7. 第6章1～4 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(1) 8. 第6章5～8 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(2) 9. 第7章1～5 社会保障、保健医療制度、地域保健(健康づくりの施策) 10. 第7章6～8 母子保健、成人保健、高齢者保健・介護 11. 第7章9 産業保健 12. 第7章10～11 学校保健、国際保健 13. まとめ				

科目名	公衆衛生学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
[成績評価方法] 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、ディスカッションや演習の取り組み状況(10%)、試験(80%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、KISS SYSTEMで個別に連絡し、指摘します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:毎講義時の演習問題解答状況および期末テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:毎講義時の演習問題解答状況およびディスカッションや演習の取り組み状況 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況およびディスカッションや演習の取り組み状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況、ディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:講義時のディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況、ディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況、ディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:公衆衛生学 著者名:栗原 伸公 出版社名:学文社 ISBN:9784762033384 [参考書(ISBN)]			

S80000 [HDB2-001]

科目名	公衆衛生学 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。 管理栄養士として最低限必要な公衆衛生学的知識を得る。 [授業概要] 社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。 公衆衛生学 I では、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。 また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。 [授業計画] 1. 第1章 社会と健康(健康の概念・健康の現状) 2. 第2章 環境と健康 3. 第3章 保健統計 4. 第4章1～3 疫学 5. 第4章4～6 スクリーニングとEBM(健康管理の進め方・EBMIに基づく健康管理、健康情報) 6. 第5章 生活習慣と疾病(健康に影響する生活要因) 7. 第6章1～4 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(1) 8. 第6章5～8 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(2) 9. 第7章1～5 社会保障、保健医療制度、地域保健(健康づくりの施策) 10. 第7章6～8 母子保健、成人保健、高齢者保健・介護 11. 第7章9 産業保健 12. 第7章10～11 学校保健、国際保健 13. まとめ				

科目名	公衆衛生学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
[成績評価方法] 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、ディスカッションや演習の取り組み状況(10%)、試験(80%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、KISS SYSTEMで個別に連絡し、指摘します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:毎講義時の演習問題解答状況および期末テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:毎講義時の演習問題解答状況およびディスカッションや演習の取り組み状況 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況およびディスカッションや演習の取り組み状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎講義時のディスカッションや演習の取り組み状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況、ディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:講義時のディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況、ディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:講義時の演習問題解答状況、ディスカッションや演習の取り組み状況および期末試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:公衆衛生学 著者名:栗原 伸公 出版社名:学文社 ISBN:9784762033384 [参考書(ISBN)]			

S80003 [HDB2-001]

科目名	公衆衛生学Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	ICTを通じた職場見学	実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。
管理栄養士として最低限必要な公衆衛生学的知識を得る。

[授業概要]

社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。
公衆衛生学Ⅰでは、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。
また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。

[授業計画]

- 1 Ⅱイダンス、生命倫理
- 2*Ⅱ計算演習(オッズ比、スクリーニング検査、年齢調整死亡率)
- 3Ⅱクティブラーニング1(人口問題と解決のカギ)Ⅱ
- 4*Ⅱ計算演習(人年法、生命表)
- 5*Ⅱ物理・化学的環境による健康障害についての症例検討
- 6Ⅱクティブラーニング2(たばこ対策——現状と未来)
- 7*ⅡICTで現場とつなぐ1(介護現場の実相)
- 8*Ⅱ毒学基礎
- 9*Ⅱクティブラーニング3(地球環境問題)
- 10*Ⅱ特別講義:感染症予防(パンデミックを経験して)
- 11ⅡICTで現場とつなぐ2(学校保健の実相)
- 12*Ⅱ特別講義:高血圧・循環器疾患予防研究の最前線
- 13Ⅱまとめ

*の回は講義冒頭、小テストを行います(出題範囲は初回授業で示します)。

**「アクティブラーニング」、「ICTで現場とつなぐ」のテーマについては変更の可能性があります。

科目名	公衆衛生学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
〔 成績評価方法 〕 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、ディスカッションや問題演習の取り組み状況(10%)、試験(80%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、manabaで個別に連絡し、指摘します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:小テストおよび問題演習による知識と理解の確認 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:アクティブラーニングでの取り組みと回答 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:アクティブラーニングでの回答 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:ICTを通じた現場体験のフィードバックおよび期末テスト(論述) 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答、および期末テスト(論述) 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答および期末テスト(論述) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答およびICTによる職場体験のフィードバック 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答およびICTによる職場体験のフィードバック 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答および期末テスト(論述) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答および期末テスト(論述) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:公衆衛生学 著者名:栗原 伸公 出版社名:学文社 ISBN:9784762033384 〔 参考書(ISBN) 〕			

S80010 [HDB2-002]

科目名	公衆衛生学Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	ICTを通じた職場見学	実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。
管理栄養士として最低限必要な公衆衛生学的知識を得る。

[授業概要]

社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。
公衆衛生学Ⅰでは、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。
また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。

[授業計画]

- 1 Ⅱイダンス、生命倫理
- 2*Ⅱ計算演習(オッズ比、スクリーニング検査、年齢調整死亡率)
- 3Ⅱクティブラーニング1(人口問題と解決のカギ)Ⅱ
- 4*Ⅱ計算演習(人年法、生命表)
- 5*Ⅱ物理・化学的環境による健康障害についての症例検討
- 6Ⅱクティブラーニング2(たばこ対策——現状と未来)
- 7*ⅡICTで現場とつなぐ1(介護現場の実相)
- 8*Ⅱ毒学基礎
- 9*Ⅱクティブラーニング3(地球環境問題)
- 10*Ⅱ特別講義:感染症予防(パンデミックを経験して)
- 11ⅡICTで現場とつなぐ2(学校保健の実相)
- 12*Ⅱ特別講義:高血圧・循環器疾患予防研究の最前線
- 13Ⅱまとめ

*の回は講義冒頭、小テストを行います(出題範囲は初回授業で示します)。

**「アクティブラーニング」、「ICTで現場とつなぐ」のテーマについては変更の可能性があります。

科目名	公衆衛生学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
〔 成績評価方法 〕 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、ディスカッションや問題演習の取り組み状況(10%)、試験(80%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、manabaで個別に連絡し、指摘します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:小テストおよび問題演習による知識と理解の確認 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:アクティブラーニングでの取り組みと回答 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:アクティブラーニングでの回答 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:ICTを通じた現場体験のフィードバックおよび期末テスト(論述) 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答、および期末テスト(論述) 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答および期末テスト(論述) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答およびICTによる職場体験のフィードバック 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答およびICTによる職場体験のフィードバック 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答および期末テスト(論述) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:アクティブラーニングの取り組みと回答および期末テスト(論述) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:公衆衛生学 著者名:栗原 伸公 出版社名:学文社 ISBN:9784762033384 〔 参考書(ISBN) 〕			

S80013 [HDB2-002]

科目名	公衆栄養学Ⅰ		前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学		講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ・人を取りまく生態系や食料問題などの課題を知り、改善するための視点を養う。 ・地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く社会・経済などの要因について知る。 ・身の回りの健康・栄養情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。 ・保健・医療・福祉・介護システムを学び、包括的なシステムが実現する社会について考える力を養う。 ・健康な住民、半健康者を含めた栄養上のハイリスク集団などさまざまな人々に対する、適切な栄養関連サービスについて知る。 [授業概要] 個人のみならず地域社会をふくむ集団の適切な栄養管理を目的とする公衆栄養学では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる社会をつくるためにいかに活動すべきかを具体的に学ぶ。 前期では、公衆栄養学の基本的な用語や考え方を理解し、社会で実践されている活動について広く学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・個人や地域の健康・栄養問題について関心を持ち、文献やマスコミ等の情報に常に目を向けるよう心がけること。 ・毎回、予習復習合わせて4時間程度取り組むこと。 [授業計画] 1. 公衆栄養学の意義と目的 2. 公衆栄養活動と管理栄養士 3. 公衆栄養関連法規、わが国の管理栄養士・栄養士制度と職業倫理 4. 栄養疫学(曝露要因としての食事摂取量) 5. 公衆栄養マネジメント①(公衆栄養アセスメント) 6. 公衆栄養マネジメント②(公衆栄養プログラムの目標設定) 7. 公衆栄養マネジメント③(公衆栄養プログラムの計画・実施・評価) 8. 健康づくり政策①(健康増進基本方針と地方計画) 9. 健康づくり政策②(食育の推進と食育推進基本計画) 10. 健康づくり政策③(健康づくりのための指針・ツール) 11. 健康・栄養問題の現状と課題①(疾病構造の推移、少子高齢化) 12. 健康・栄養問題の現状と課題②(食を取り巻く環境の変化) 13. 公衆栄養活動と組織・人材育成 14. 試験				

科目名	公衆栄養学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学	講義	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] 授業態度(10%)課題提出(20%)、小テスト(20%)、定期試験(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のフィードバック及び、提出物へのコメント記入を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 [教科書(ISBN)] 書籍名:公衆栄養学2025年版 著者名:酒井徹・由田克士 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

S81400 [HDB2-011]

科目名	公衆栄養学Ⅰ		前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学		講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ・人を取りまく生態系や食料問題などの課題を知り、改善するための視点を養う。 ・地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く社会・経済などの要因について知る。 ・身の回りの健康・栄養情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。 ・保健・医療・福祉・介護システムを学び、包括的なシステムが実現する社会について考える力を養う。 ・健康な住民、半健康者を含めた栄養上のハイリスク集団などさまざまな人々に対する、適切な栄養関連サービスについて知る。 [授業概要] 個人のみならず地域社会をふくむ集団の適切な栄養管理を目的とする公衆栄養学では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる社会をつくるためにいかに活動すべきかを具体的に学ぶ。 前期では、公衆栄養学の基本的な用語や考え方を理解し、社会で実践されている活動について広く学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・個人や地域の健康・栄養問題について関心を持ち、文献やマスコミ等の情報に常に目を向けるよう心がけること。 ・毎回、予習復習合わせて4時間程度取り組むこと。 [授業計画] 1. 公衆栄養学の意義と目的 2. 公衆栄養活動と管理栄養士 3. 公衆栄養関連法規、わが国の管理栄養士・栄養士制度と職業倫理 4. 栄養疫学(曝露要因としての食事摂取量) 5. 公衆栄養マネジメント①(公衆栄養アセスメント) 6. 公衆栄養マネジメント②(公衆栄養プログラムの目標設定) 7. 公衆栄養マネジメント③(公衆栄養プログラムの計画・実施・評価) 8. 健康づくり政策①(健康増進基本方針と地方計画) 9. 健康づくり政策②(食育の推進と食育推進基本計画) 10. 健康づくり政策③(健康づくりのための指針・ツール) 11. 健康・栄養問題の現状と課題①(疾病構造の推移、少子高齢化) 12. 健康・栄養問題の現状と課題②(食を取り巻く環境の変化) 13. 公衆栄養活動と組織・人材育成 14. 試験				

科目名	公衆栄養学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学	講義	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] 授業態度(10%)課題提出(20%)、小テスト(20%)、定期試験(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のフィードバック及び、提出物へのコメント記入を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート内容及び発言内容 [教科書(ISBN)] 書籍名:公衆栄養学2025年版 著者名:酒井徹・由田克士 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

S81401 [HDB2-011]

科目名	公衆栄養学Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ・公衆栄養学Ⅰで修得した基礎知識を基に、実際の地域活動について学習し、公衆栄養マネジメントを行える能力を養う。 ・社会の各種サービスやプログラムについて、調整、栄養情報の管理、人的資源などの活用やネットワークづくりなどの仕組みについて理解する。 ・地域診断結果について、疫学的手法を用いて課題抽出し、計画を立案できる。 ・国際栄養の視点からのわが国現状、他国の実情を理解し、その課題解決を提案できる。 [授業概要] ・公衆栄養マネジメントサイクルに添って具体的な公衆栄養プログラムについて学び、地域の課題に則した活用方法について学ぶ。 ・地域のネットワークづくりの方法とその活用についても修得する。 ・食料問題、それに伴う食料安全保障に関する課題について学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 公衆栄養学Ⅰについて復習するとともに、公衆衛生学、応用栄養学、給食経営管理学等関連科目についても同様に復習しておくこと。 毎回、予習復習合わせて2時間程度。 [授業計画] 1. 地域特性に対応したプログラムの展開 2. 食環境整備のためのプログラムの展開 3. 地域集団の特性別プログラムの展開 4. 公衆栄養マネジメントの実践①(コミュニティーオーガニゼーションとエンパワメント) 5. 公衆栄養マネジメントの実践②(評価の実践と評価結果のフィードバック) 6. 栄養疫学①(疫学的手法) 7. 栄養疫学②(健康・栄養活動への栄養疫学の活用) 8. 栄養疫学研究事例と研究計画 9. 国民健康・栄養調査 10. わが国の食料需給と食料安全保障 11. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題① 12. 災害時の栄養対策 13. 持続可能性を踏まえた公衆栄養活動 14. 試験				

科目名	公衆栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] 授業中の課題(40%)、試験(50%)、小テスト(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題については授業中にフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 [教科書(ISBN)] 書籍名:公衆栄養学2025年版 著者名:酒井徹・由田克士 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

S81410 [HDB2-012]

科目名	公衆栄養学Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ・公衆栄養学Ⅰで修得した基礎知識を基に、実際の地域活動について学習し、公衆栄養マネジメントを行える能力を養う。 ・社会の各種サービスやプログラムについて、調整、栄養情報の管理、人的資源などの活用やネットワークづくりなどの仕組みについて理解する。 ・地域診断結果について、疫学的手法を用いて課題抽出し、計画を立案できる。 ・国際栄養の視点からのわが国現状、他国の実情を理解し、その課題解決を提案できる。 [授業概要] ・公衆栄養マネジメントサイクルに添って具体的な公衆栄養プログラムについて学び、地域の課題に則した活用方法について学ぶ。 ・地域のネットワークづくりの方法とその活用についても修得する。 ・食料問題、それに伴う食料安全保障に関する課題について学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 公衆栄養学Ⅰについて復習するとともに、公衆衛生学、応用栄養学、給食経営管理学等関連科目についても同様に復習しておくこと。 毎回、予習復習合わせて2時間程度。 [授業計画] 1. 地域特性に対応したプログラムの展開 2. 食環境整備のためのプログラムの展開 3. 地域集団の特性別プログラムの展開 4. 公衆栄養マネジメントの実践①(コミュニティーオーガニゼーションとエンパワメント) 5. 公衆栄養マネジメントの実践②(評価の実践と評価結果のフィードバック) 6. 栄養疫学①(疫学的手法) 7. 栄養疫学②(健康・栄養活動への栄養疫学の活用) 8. 栄養疫学研究事例と研究計画 9. 国民健康・栄養調査 10. わが国の食料需給と食料安全保障 11. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題① 12. 災害時の栄養対策 13. 持続可能性を踏まえた公衆栄養活動 14. 試験				

科目名	公衆栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] 授業中の課題(40%)、試験(50%)、小テスト(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題については授業中にフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題内容及び発表内容 [教科書(ISBN)] 書籍名:公衆栄養学2025年版 著者名:酒井徹・由田克士 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	公衆栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 加代			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 公衆栄養学で学んだ知識をもとに、地域や職域等の健康栄養問題と、それを取り巻くさまざまな要因に関する情報を収集・分析し、公衆栄養プログラム計画の作成、管理栄養士が実施する保健指導の実施、それらを総合的に評価する能力を養う。 [授業概要] 保健衛生行政の中での管理栄養士の役割を学ぶ。また、地域住民の健康・栄養・食生活に関する情報を収集・分析することで、対象のニーズや地域特性を把握し、具体的な公衆栄養プログラム計画し、住民に発信する一連の公衆栄養マネジメントサイクルを学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・公衆栄養学の復習をしておくこと。 ・生活情報処理実習Ⅰを復習し、パソコン操作に慣れておくこと。 ・実習内容の予習(30分以上)と、実習中の記録、実習後のレポート作成(120分以上)は自らの学びのために教科書や文献などを参考に行うこと。 [授業計画] 1.保健衛生行政のしくみと公衆栄養活動の役割・地域における公衆栄養プログラムの展開 2.地域診断1 (疫学アセスメント) 3.地域診断2-1(秤量法による栄養調査) 4.地域診断2-2(栄養調査結果の集計) 5.地域診断3 (健康・栄養・生活面アセスメント) 6.地域診断3 (PPモデルを活用した課題抽出と対策の検討) 7.地域診断結果報告(プレゼンテーション①) 8.公衆栄養プログラム1 (追加質問紙調査) 9.公衆栄養プログラム2 (目標設定と政策面の調整) 10.公衆栄養プログラム企画立案1(短期プログラム計画書作成) 11.公衆栄養プログラム企画立案2(事業計画書の作成) 12.公衆栄養プログラム企画立案3(住民勧奨)とプレゼン準備 13.企画プログラム発表(プレゼンテーション②)				

科目名	公衆栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 加代		
〔 成績評価方法 〕 レポート(50%)、取り組み姿勢、発表及び発言等(50%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 数回のファイル提出時、また発表時にその都度フィードバックする。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:発表とレポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表とレポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表とレポート 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:総合的に判断する 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:グループワークとレポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:グループワークとレポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表とレポート 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:現場で役立つ公衆栄養学実習 第二版 著者名:橋本加代 出版社名:同文書院 ISBN:9784810315226 〔 参考書(ISBN) 〕			

S81420 [HDB2-013]

科目名	公衆栄養学実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 公衆栄養学で学んだ知識をもとに、地域や職域等の健康栄養問題と、それを取り巻くさまざまな要因に関する情報を収集・分析し、公衆栄養プログラム計画の作成、管理栄養士が実施する保健指導の実施、それらを総合的に評価する能力を養う。 [授業概要] 保健衛生行政の中での管理栄養士の役割を学ぶ。また、地域住民の健康・栄養・食生活に関する情報を収集・分析することで、対象のニーズや地域特性を把握し、具体的な公衆栄養プログラム計画し、住民に発信する一連の公衆栄養マネジメントサイクルを学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・公衆栄養学の復習をしておくこと。 ・生活情報処理実習Ⅰを復習し、パソコン操作に慣れておくこと。 ・実習内容の予習(30分以上)と、実習中の記録、実習後のレポート作成(120分以上)は自らの学びのために教科書や文献などを参考に行うこと。 [授業計画] 1.保健衛生行政のしくみと公衆栄養活動の役割・地域における公衆栄養プログラムの展開 2.地域診断1 (疫学アセスメント) 3.地域診断2-1(秤量法による栄養調査) 4.地域診断2-2(栄養調査結果の集計) 5.地域診断3 (健康・栄養・生活面アセスメント) 6.地域診断3 (PPモデルを活用した課題抽出と対策の検討) 7.地域診断結果報告(プレゼンテーション①) 8.公衆栄養プログラム1 (追加質問紙調査) 9.公衆栄養プログラム2 (目標設定と政策面の調整) 10.公衆栄養プログラム企画立案1(短期プログラム計画書作成) 11.公衆栄養プログラム企画立案2(事業計画書の作成) 12.公衆栄養プログラム企画立案3(住民勧奨)とプレゼン準備 13.企画プログラム発表(プレゼンテーション②)				

科目名	公衆栄養学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] レポート(50%)、取り組み姿勢、発表及び発言等(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 数回のファイル提出時、また発表時にその都度フィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート内容及びプレゼン内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:プレゼンテーションの内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:グループワークの様子 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:グループワークへの取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワークへの取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:グループワークへの取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワークへの取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク及びプレゼンテーション内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート内容 [教科書(ISBN)] 書籍名:現場で役立つ公衆栄養学実習 第二版 著者名:橋本加代 出版社名:同文書院 ISBN:9784810315226 [参考書(ISBN)]			

S81421 [HDB2-013]

科目名	公衆栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 公衆栄養学で学んだ知識をもとに、地域や職域等の健康栄養問題と、それを取り巻くさまざまな要因に関する情報を収集・分析し、公衆栄養プログラム計画の作成、管理栄養士が実施する保健指導の実施、それらを総合的に評価する能力を養う。 [授業概要] 保健衛生行政の中での管理栄養士の役割を学ぶ。また、地域住民の健康・栄養・食生活に関する情報を収集・分析することで、対象のニーズや地域特性を把握し、具体的な公衆栄養プログラム計画し、住民に発信する一連の公衆栄養マネジメントサイクルを学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・公衆栄養学の復習をしておくこと。 ・生活情報処理実習Ⅰを復習し、パソコン操作に慣れておくこと。 ・実習内容の予習(30分以上)と、実習中の記録、実習後のレポート作成(120分以上)は自らの学びのために教科書や文献などを参考に行うこと。 [授業計画] 1.保健衛生行政のしくみと公衆栄養活動の役割・地域における公衆栄養プログラムの展開 2.地域診断1 (疫学アセスメント) 3.地域診断2-1(秤量法による栄養調査) 4.地域診断2-2(栄養調査結果の集計) 5.地域診断3 (健康・栄養・生活面アセスメント) 6.地域診断3 (PPモデルを活用した課題抽出と対策の検討) 7.地域診断結果報告(プレゼンテーション①) 8.公衆栄養プログラム1 (追加質問紙調査) 9.公衆栄養プログラム2 (目標設定と政策面の調整) 10.公衆栄養プログラム企画立案1(短期プログラム計画書作成) 11.公衆栄養プログラム企画立案2(事業計画書の作成) 12.公衆栄養プログラム企画立案3(住民勧奨)とプレゼン準備 13.企画プログラム発表(プレゼンテーション②)				

科目名	公衆栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
〔 成績評価方法 〕 レポート(50%)、取り組み姿勢、発表及び発言等(50%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 数回のファイル提出時、また発表時にその都度フィードバックする。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート内容及びプレゼン内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:プレゼンテーションの内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:グループワークの様子 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:グループワークへの取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート内容 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワークへの取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:グループワークへの取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワークへの取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク及びプレゼンテーション内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート内容 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:現場で役立つ公衆栄養学実習 第二版 著者名:橋本加代 出版社名:同文書院 ISBN:9784810315226 〔 参考書(ISBN) 〕			

S81422 [HDB2-013]

科目名	公衆栄養学実習(校外)		前期～後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 公衆栄養分野である保健所や保健センターの役割や業務を理解し、公衆栄養活動の実際と栄養行政の概要を修得する。 [授業概要] 保健所や保健センターで臨地実習を行う。地域の健康や栄養問題を取り巻く情報を収集、分析し総合評価とマネジメントについて学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ、応用栄養学、ライフステージ栄養学、栄養教育論Ⅰ、公衆栄養学実習について復習しておくこと。 実習先地域の健康・食生活状況等を把握しておくこと。 [授業計画] 保健所や保健センターにおいて管理栄養士の指導のもと、1週間の実習の中で以下の内容について体得する。 1. 管内地域の健康や栄養状態についての現状把握 2. 保健所、保健センターの機能と役割について 3. 保健所、保健センターにおける管理栄養士の役割と業務について 4. 衛生行政の概要 5. 地域保健における栄養体制の整備 1) 地域の実態把握、分析 2) 施策化と評価 3) 専門的栄養指導、食生活支援 4) 住民に対する健康教育、栄養相談等 5) 健康なまちづくりと地区組織等の育成 6) 食品保健部門との連携による健康危機管理体制の整備について 7) 関係機関や団体との連携 8) 食環境整備 6. 特定給食施設への栄養管理指導 7. 市町村に対する栄養改善事業支援と連絡調整 8. 人材育成と活用 学内での実習に関する事前及び事後指導 1. 実習地域の健康増進計画等を検索しまとめることで、地域の状況を把握する。 2. 事前課題を通して実習の目的・目標を明確にする。 3. 実習後は、実習によって体得した事項を整理する。 4. 実習報告会を実施し、幅広い行政栄養士業務について情報共有するとともに、公衆栄養活動について理解する。 事前・事後指導に出席しない場合、また、実習施設別に実施するオリエンテーションに出席しない場合は、履修を認めない場合がある。				

科目名	公衆栄養学実習(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] 臨地実習先の評価(50%)、事前課題及び実習報告と記録等(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 事前課題及び実習記録提出時に内容確認し、指導助言します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習レポート及びプレゼンテーション [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:事前事後の学習及び実習レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:事前事後の学習及び実習レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:事前事後の学習及び実習レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:事前事後の学習及び実習レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:事前事後の学習及び実習レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:事前事後の学習及び実習レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:事前事後の学習及び実習レポート [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S81720 [HDI3-012]

科目名	住居計画学(製図を含む)		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 住居に関する基礎的な知識を習得できる。 快適な住環境の条件について理解できる。 住居計画や設計を行うための基本的なスキルを習得できる。 [授業概要] 豊かな生活は、人々が住む建物の周辺ばかりでなく、その地域(都市、農山村)が健康的で、安全性が確保され、より快適に暮らせるように計画された居住環境が整えられてはじめて実現できるといえる。本講義では、人間と自然環境の関係、より快適な住まい環境を実現するための設備機器、快適な人工環境による居住空間から生まれた新たな問題の発生、高齢化社会に対応するための環境要因、人工環境から環境共生に視点が向けられている現状など、住まいに関わる事柄を包括的に論じる。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 住まいに関する文献を読んだり講演会を聞きに行ったり、国内外の住まいの事例を見に各地へ出かけ、住まい・暮らしへの関心を深めるようにする。 [授業計画] 1. 住居計画学について、住まいとは 2. 住まいの歴史・間取りの変遷 3. 現代のライフスタイルと住まい 4. 人間工学・人体寸法 5. 人間工学・人間の行動特性 6. 西洋のインテリアの歴史 7. 西洋のインテリアの歴史:近代以降 8. 気候と暮らし、災害と暮らし 9. 住教育と自然災害 10. 住まいの管理 11. 住まいと環境:温熱環境・空気環境・視環境・音環境 12. 住まいの材料と構造 13. 設計実習:製図の基本 14. 設計実習:平面図の描き方				

科目名	住居計画学(製図を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
[成績評価方法] 授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に、適宜解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。 [教科書(ISBN)] 書籍名:住まいのデザイン 著者名:北村 薫子 出版社名:朝倉書店 ISBN:9784254630053 [参考書(ISBN)] 書籍名:住まいの百科事典 著者名:一般社団法人 日本家政学会 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621305812			

科目名	消費生活科学(食品商品学を含む)		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	山野 薫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	

〔到達目標〕

- ①現代社会における「食品」をとりまく状況について深く理解することができる。
- ②消費者と食品に関する課題を理解し、安全で安心な消費生活を確保するための知識を習得する。
- ③私たちにあって有効で安定したフードシステムを形成するための諸条件について考えることができる。
- ④フードスペシャリスト資格試験に必要な食品の流通と消費についての知識を身につける。

〔授業概要〕

【メディア授業】

現代社会は様々な商品やサービスが充実し、大変豊かになっています。しかし、その商品やサービスをうまく利用していくには、それらがどのような仕組みで成り立っているのかについて正しい知識を持つことが求められます。本科目では、生きていくために欠かすことのできない「食」に焦点を当て、商品やサービスがどのように提供されているのか、また、消費者の周辺にはどのような問題が存在するのかについて、知識や考え方を解説します。ひとりの大人として自覚ある生活を送るとともに、社会の主役のひとりとして消費にまつわる問題を考え、行動することができるよう、「自立した消費者」についても理解を深めます。

食品・農業に関するシンクタンクの勤務経験を活かし、食品生産・流通や消費、食品をめぐる制度などの最新情報と実態を盛り込んだ講義を行います。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

消費者や生活、食と農に関連する出来事に関心を持ち、新聞やニュースなどを通じて日常的に情報を収集してください。

事前にテキストの指定部分を読んで内容を確認しておいてください。

授業後はその回の内容について復習を行うこと。

(各回、予習・復習合わせて4 時間程度。)

〔授業計画〕

1. イントロダクションー「食」と「消費」について学ぶ理由
2. 需要と供給
3. 生鮮食品の流通
4. 加工食品の流通
5. 食品小売業の種類と役割①ー小売業の類型
6. 食品小売業の種類と役割②ー小売業の発展方向
7. チェーンオペレーションによる食の供給(外食産業編)
8. チェーンオペレーションによる食の供給(コンビニ編)
9. 食品とマーケティング
10. PB商品とは何か？
11. 食品安全のための取り組み①ー食品の表示から読み解く
12. 食品安全のための取り組み②ー食品の関する法制度から読み解く
13. まとめ

科目名	消費生活科学(食品商品学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山野 薫		
[成績評価方法] レポート課題(70%)、授業への参加態度および授業中に出题する確認課題など(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートや授業内で提出された課題等は、次回の講義内で紹介・解説します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート評価 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート評価 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:四訂 食品の消費と流通 著者名:公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906874 [参考書(ISBN)] 書籍名:フードシステム入門 著者名:薬師寺 哲郎 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906362 書籍名:18歳から考える消費者と法〔第2版〕 著者名:坂東 俊矢 著 出版社名:法律文化社 ISBN:9784589036124			

S82210 [HDB3-011]

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	増村 美佐子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 食生活をめぐる環境は変化し、様々な情報があふれ、健康問題も多く生じている。このような状況のなか、食の重要性を理解し、望ましい食生活のあり方を学び、実践に結び付ける。			
[授業概要] 食に関する文化的な役割や世界の食文化を学ぶとともに、日本人のライフスタイルの変化による食生活の変化、現在の食を取り巻く環境について理解を深める。また、食生活上の問題点について考え、より良い食生活を送るための基礎的知識を身につける。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定された箇所を熟読する。事後学習として予習で指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前事後学習は4時間程度行う。			
[授業計画] 1. 食生活の概念 食文化 世界の食文化類型と特徴 2. 食文化 アジア、オセアニア 3. 食文化 ヨーロッパ、ロシア、アフリカ、アメリカ 4. 食文化 日本 5. 食生活 日本の食生活の変遷(古代から江戸時代) 6. 食生活 日本の食生活の変遷(明治以降) 7. 食生活 日本の食生活の変遷 学校給食、食品の安全 8. 食育 妊娠前、妊娠期、胎児期、授乳期、乳児期、幼児期 9. 食育 学童期 10. 食育 思春期、青年期 11. 食育 壮年期、高齢期 12. 食育 食の視点から考えるSDGs 13. 食育 災害時、まとめ			

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	増村 美佐子		
[成績評価方法] レポート(70%)、授業中の課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題に対するフィードバックは、授業内、manabaで適宜行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート、課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート、課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート、課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート、課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養科学シリーズNEXT 食べ物と健康「食文化論/食育・食生活論」著者名:浜口郁枝・富田圭子・小野真実編 出版社名:講談社 ISBN:9784065341278 [参考書(ISBN)] 書籍名:四訂 フードスペシャリスト論 著者名:公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会 出版社名:建帛社 ISBN:9784767907147 書籍名:フードコーディネート論 三訂 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社名:建帛社 ISBN:9784767904405			

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	増村 美佐子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 食生活をめぐる環境は変化し、さまざまな情報があふれ、健康問題も多く生じている。このような状況のなか、食の重要性を理解し、望ましい食生活のあり方を学び、実践に結びつける。			
[授業概要] 食に関する文化的な役割や世界の食文化を学ぶとともに、日本人のライフスタイルの変化による食生活の変化、現在の食を取り巻く環境について理解を深める。また、食生活上の問題点について考え、より良い食生活を送るための基礎的知識を身につける。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定された箇所を熟読する。事後学習として予習で指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前事後学習は4時間程度行う。			
[授業計画] 1. 食生活の概念 食文化 世界の食文化類型と特徴 2. 食文化 アジア、オセアニア 3. 食文化 ヨーロッパ、ロシア、アフリカ、アメリカ 4. 食文化 日本 5. 食生活 日本の食生活の変遷(古代から江戸時代) 6. 食生活 日本の食生活の変遷(明治以降) 7. 食生活 日本の食生活の変遷 学校給食、食品の安全 8. 食育 妊娠前、妊娠期、胎児期、授乳期、乳児期、幼児期 9. 食育 学童期 10. 食育 思春期、青年期 11. 食育 壮年期、高齢期 12. 食育 食の視点から考えるSDGs 13. 食育 災害時、まとめ			

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	増村 美佐子		
[成績評価方法] レポート(70%)、授業中の課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題に対するフィードバックは、授業内、manabaで適宜行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート、課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート、課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート、課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート、課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:教科書:栄養科学シリーズNEXT 食べ物と健康「食文化論/食育・食生活論」 著者名:浜口郁枝・富田圭子・小野真実編 出版社名:講談社 ISBN:9784065341278 [参考書(ISBN)] 書籍名:四訂 フードスペシャリスト論 著者名:公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会 出版社名:建帛社 ISBN:9784767907147 書籍名:フードコーディネーター論 三訂 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社名:建帛社 ISBN:9784767904405			

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標]			
1. 食品衛生行政、食品衛生関連法規について学ぶ。 2. 食品の生産、流通、消費のすべての過程において、食の安全性に関する基本的な考え方を学ぶ。 3. 食の安全を確保するために必要な知識を修得する。			
[授業概要]			
近年、食品が病原微生物や有害化学物質などによって汚染され、健康被害を生じる事件が頻発している。本講義では、食を提供する立場および消費者の立場の両面から、「食の安全」を確保するための多くの情報を系統的に修得し、食による健康被害の防止法を学ぶ。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
各回の授業についての予習・復習2時間程度。 「管理栄養士のための化学ⅠおよびⅡ」、「食品学総論」を十分に理解しておくこと。			
[授業計画]			
1. 食品衛生法規と行政機構 2. 食品衛生対策:行政における対策、HACCP、FSSC22000、その他 3. 微生物と食品の変質防止:微生物の分類と特性、衛生指標細菌、変質防止 4. 細菌性食中毒(1):分類、経口感染症、発生状況、食品内毒素型食中毒 5. 細菌性食中毒(2):感染型食中毒 6. ウイルス性食中毒、人獣共通感染症 7. 自然毒食中毒 8. マイコトキシン中毒、食品の器具・容器包装 9. 寄生虫と衛生動物 10. 有害物質による食品汚染(1):有害金属、動物用医薬品・飼料添加物・農薬 11. 有害物質による食品汚染(2):PCB、ダイオキシン、環境ホルモン、放射性物質、調理時生成毒性化合物、その他 12. 食品添加物(1):分類、指定、表示、安全性評価、その他 13. 食品添加物(2):各論			
※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。			

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		
[成績評価方法] 期末試験(100%) ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストもしくは中間試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 成績評価をもってフィードバックとさせていただきます。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:筆記試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:筆記試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品衛生学 第4版 著者名:甲斐 達男 出版社名:化学同人 ISBN:9784759821512 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標]			
1. 食品衛生行政、食品衛生関連法規について学ぶ。 2. 食品の生産、流通、消費のすべての過程において、食の安全性に関する基本的な考え方を学ぶ。 3. 食の安全を確保するために必要な知識を修得する。			
[授業概要]			
近年、食品が病原微生物や有害化学物質などによって汚染され、健康被害を生じる事件が頻発している。本講義では、食を提供する立場および消費者の立場の両面から、「食の安全」を確保するための多くの情報を系統的に修得し、食による健康被害の防止法を学ぶ。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
各回の授業についての予習・復習2時間程度。 「管理栄養士のための化学ⅠおよびⅡ」、「食品学総論」を十分に理解しておくこと。			
[授業計画]			
1. 食品衛生法規と行政機構 2. 食品衛生対策:行政における対策、HACCP、FSSC22000、その他 3. 微生物と食品の変質防止:微生物の分類と特性、衛生指標細菌、変質防止 4. 細菌性食中毒(1):分類、経口感染症、発生状況、食品内毒素型食中毒 5. 細菌性食中毒(2):感染型食中毒 6. ウイルス性食中毒、人獣共通感染症 7. 自然毒食中毒 8. マイコトキシン中毒、食品の器具・容器包装 9. 寄生虫と衛生動物 10. 有害物質による食品汚染(1):有害金属、動物用医薬品・飼料添加物・農薬 11. 有害物質による食品汚染(2):PCB、ダイオキシン、環境ホルモン、放射性物質、調理時生成毒性化合物、その他 12. 食品添加物(1):分類、指定、表示、安全性評価、その他 13. 食品添加物(2):各論			
※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。			

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		
[成績評価方法] 期末試験(100%) ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストもしくは中間試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 成績評価をもってフィードバックとさせていただきます。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:筆記試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:筆記試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:筆記試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品衛生学 第4版 著者名:甲斐 達男 出版社名:化学同人 ISBN:9784759821512 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

〔到達目標〕

1. 食品衛生学分野の中で、化学物質に関係する基礎的な検査・分析技術を修得する。
2. 厨房における微生物衛生管理について実験を通して包括的に理解することを目標として、厨房や食品の微生物検査技術を修得する。

〔授業概要〕

本実験では、一般的実験操作及び微生物の取り扱い方を身につけた上で、食中毒や食品添加物等、食品衛生上必要性の高い課題を選択し、正確でかつ平易な操作方法を修得する。また将来、管理栄養士として食品提供施設や集団給食施設の衛生上の問題にも対処できるよう現場でのサンプル採取、簡単な検査法について学んで、検査結果を製造、加工などの行程や調理工程にフィードバックして改善に結びつける力を養う。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

本実験では微生物検査を行うための微生物に関する基礎知識を必要とし、さらに「食品衛生学」を十分に理解しておくことが求められる。

〔授業計画〕

1. 【イントロダクション】授業目的、概要、評価方法、留意点等について説明
【器具の使用方法的復習】用いる実験機器・ガラス器具の使用方法的復習
2. 【実験Ⅰ：食器の洗浄度検査】食器に付着した食べ物および洗剤の残渣の残存状態を発色試験によって検査し、実験結果と考察をレポートにまとめる。
3. 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(1)】円形ペーパークロマトグラフィーにより、魚類に生成したアレルギー物質の定性分析を行う。
4. 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(2)】得られたクロマトグラムを解析・検討し、結果を考察しレポートにまとめる。
5. 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(1)】食品試料に残存している亜硝酸根の抽出を行う。
6. 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(2)】比色分析によって亜硝酸根の定量分析を行い、結果を考察しレポートにまとめる。
7. 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(1)】細菌・酵母・カビ用の寒天培地を調製し、植菌・培養を行う。
8. 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(2)】生育した微生物の肉眼観察と顕微鏡観察を行い、形態的な特徴を記録し、結果を考察しレポートにまとめる。
9. 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(1)】検査に必要な寒天培地の調製と滅菌および滅菌水の準備、検査に使用する器具の滅菌を行う。
10. 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(2)】手指の微生物汚染検査、厨房機器の拭き取り検査、身体付着菌の検査、空中落下菌の検査を行う。
11. 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(3)】培養後の微生物を観察し、結果を解析・考察しレポートにまとめる。
12. 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(1)】食品の菌数検査(一般生菌数、大腸菌群、大腸菌)を公定法および簡易法の双方で実施する。
13. 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(2)】培養後のコロニーを計測し、食品試料1gあたりの生菌数を算出する。得られた結果を考察しレポートにまとめる。

※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[成績評価方法] レポート(100点)、無断欠席については減点の対象とする。 ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストまたは試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 採点したレポートを返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験レポート [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	食品衛生学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

〔到達目標〕

- 食品衛生学分野の中で、化学物質に関係する基礎的な検査・分析技術を修得する。
- 厨房における微生物衛生管理について実験を通して包括的に理解することを目標として、厨房や食品の微生物検査技術を修得する。

〔授業概要〕

本実験では、一般的実験操作及び微生物の取り扱い方を身につけた上で、食中毒や食品添加物等、食品衛生上必要性の高い課題を選択し、正確でかつ平易な操作方法を修得する。また将来、管理栄養士として食品提供施設や集団給食施設の衛生上の問題にも対処できるよう現場でのサンプル採取、簡単な検査法について学んで、検査結果を製造、加工などの行程や調理工程にフィードバックして改善に結びつける力を養う。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

本実験では微生物検査を行うための微生物に関する基礎知識を必要とし、さらに「食品衛生学」を十分に理解しておくことが求められる。

〔授業計画〕

- 【イントロダクション】授業目的、概要、評価方法、留意点等について説明
【器具の使用法の復習】用いる実験機器・ガラス器具の使用法の復習
- 【実験Ⅰ：食器の洗浄度検査】食器に付着した食べ物および洗剤の残渣の残存状態を発色試験によって検査し、実験結果と考察をレポートにまとめる。
- 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(1)】円形ペーパークロマトグラフィーにより、魚類に生成したアレルギー物質の定性分析を行う。
- 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(2)】得られたクロマトグラムを解析・検討し、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(1)】食品試料に残存している亜硝酸根の抽出を行う。
- 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(2)】比色分析によって亜硝酸根の定量分析を行い、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(1)】細菌・酵母・カビ用の寒天培地を調製し、植菌・培養を行う。
- 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(2)】生育した微生物の肉眼観察と顕微鏡観察を行い、形態的な特徴を記録し、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(1)】検査に必要な寒天培地の調製と滅菌および滅菌水の準備、検査に使用する器具の滅菌を行う。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(2)】手指の微生物汚染検査、厨房機器の拭き取り検査、身体付着菌の検査、空中落下菌の検査を行う。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(3)】培養後の微生物を観察し、結果を解析・考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(1)】食品の菌数検査(一般生菌数、大腸菌群、大腸菌)を公定法および簡易法の双方で実施する。
- 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(2)】培養後のコロニーを計測し、食品試料1gあたりの生菌数を算出する。得られた結果を考察しレポートにまとめる。

※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。

科目名	食品衛生学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[成績評価方法] レポート(100点)、無断欠席については減点の対象とする。 ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストまたは試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 採点したレポートを返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験レポート [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- 食品衛生学分野の中で、化学物質に関係する基礎的な検査・分析技術を修得する。
- 厨房における微生物衛生管理について実験を通して包括的に理解することを目標として、厨房や食品の微生物検査技術を修得する。

[授業概要]

本実験では、一般的実験操作及び微生物の取り扱い方を身につけた上で、食中毒や食品添加物等、食品衛生上必要性の高い課題を選択し、正確でかつ平易な操作方法を修得する。また将来、管理栄養士として食品提供施設や集団給食施設の衛生上の問題にも対処できるよう現場でのサンプル採取、簡単な検査法について学んで、検査結果を製造、加工などの行程や調理工程にフィードバックして改善に結びつける力を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

本実験では微生物検査を行うための微生物に関する基礎知識を必要とし、さらに「食品衛生学」を十分に理解しておくことが求められる。

[授業計画]

- 【イントロダクション】授業目的、概要、評価方法、留意点等について説明
【器具の使用法の復習】用いる実験機器・ガラス器具の使用法の復習
- 【実験Ⅰ：食器の洗浄度検査】食器に付着した食べ物および洗剤の残渣の残存状態を発色試験によって検査し、実験結果と考察をレポートにまとめる。
- 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(1)】円形ペーパークロマトグラフィーにより、魚類に生成したアレルギー物質の定性分析を行う。
- 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(2)】得られたクロマトグラムを解析・検討し、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(1)】食品試料に残存している亜硝酸根の抽出を行う。
- 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(2)】比色分析によって亜硝酸根の定量分析を行い、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(1)】細菌・酵母・カビ用の寒天培地を調製し、植菌・培養を行う。
- 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(2)】生育した微生物の肉眼観察と顕微鏡観察を行い、形態的な特徴を記録し、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(1)】検査に必要な寒天培地の調製と滅菌および滅菌水の準備、検査に使用する器具の滅菌を行う。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(2)】手指の微生物汚染検査、厨房機器の拭き取り検査、身体付着菌の検査、空中落下菌の検査を行う。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(3)】培養後の微生物を観察し、結果を解析・考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(1)】食品の菌数検査(一般生菌数、大腸菌群、大腸菌)を公定法および簡易法の双方で実施する。
- 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(2)】培養後のコロニーを計測し、食品試料1gあたりの生菌数を算出する。得られた結果を考察しレポートにまとめる。

※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[成績評価方法] レポート(100点)、無断欠席については減点の対象とする。 ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストまたは試験を実施する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 採点したレポートを返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験レポート <			

科目名	食品学各論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	大串 美沙			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養・加工・機能特性について深く理解する。 2. 各食品のもつ特性を正しく理解することにより、食品の判別・利用能力を養う。 [授業概要] 日本食品標準成分表には約2,500種類の食品が収載されており、私たちは日常的に多くの食品を入手できる環境にあります。だからこそ、各食品のもつ特性を正しく理解し、判別・利用する能力を身につける必要があります。本講義では、植物性食品、動物性食品および加工食品などの多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養特性などについて、食品群別に解説します。 遅刻・欠席が多いと授業について行けなくなりますので、注意してください。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前に教科書を読んでおき、授業後は教科書や配布資料等を活用し、講義内容の復習確認をしておくことで理解度が上昇しやすくなります(各回、予習・復習 4時間程度)。 不明な点は積極的に教員に質問して知識を習得してください。また身近な食品に実際に触れ、関心を持つことで理解しやすくなります。 [授業計画] 1. 食品の分類と食品成分表 2. 植物性食品①(穀類、いも類) 3. 植物性食品②(豆類、種実類、野菜類) 4. 植物性食品③(果実類、きのこ類、藻類) 5. まとめ(1－4回の内容)と小テスト 6. 動物性食品①(肉類、魚介類) 7. 動物性食品②(乳類、卵類) 8. 油脂 9. 調味料、香辛料 10. 嗜好飲料、微生物利用食品 11. その他の食品 12. まとめ(6－11回の内容)と小テスト 13. まとめと試験				

科目名	食品学各論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大串 美沙		
[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、理解度確認テスト(85%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの解答を学内ICTシステムに掲示します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学Ⅱ 著者名:木村 万里子 出版社名:学文社 ISBN:9784762033421 [参考書(ISBN)] 書籍名:食品成分表(八訂増補) 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	食品学各論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大串 美沙		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 1. 多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養・加工・機能特性について深く理解する。 2. 各食品のもつ特性を正しく理解することにより、食品の判別・利用能力を養う。 [授業概要] 日本食品標準成分表には約2,500種類の食品が収載されており、私たちは日常的に多くの食品を入手できる環境にあります。だからこそ、各食品のもつ特性を正しく理解し、判別・利用する能力を身につける必要があります。本講義では、植物性食品、動物性食品および加工食品などの多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養特性などについて、食品群別に解説します。 遅刻・欠席が多いと授業について行けなくなりますので、注意してください。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前に教科書を読んでおき、授業後は教科書や配布資料等を活用し、講義内容の復習確認をしておくことで理解度が上昇しやすくなります(各回、予習・復習 4時間程度)。 不明な点は積極的に教員に質問して知識を習得してください。また身近な食品に実際に触れ、関心を持つことで理解しやすくなります。 [授業計画] 1. 食品の分類と食品成分表 2. 植物性食品①(穀類、いも類) 3. 植物性食品②(豆類、種実類、野菜類) 4. 植物性食品③(果実類、きのこ類、藻類) 5. まとめ(1～4回の内容)と小テスト 6. 動物性食品①(肉類、魚介類) 7. 動物性食品②(乳類、卵類) 8. 油脂 9. 調味料、香辛料 10. 嗜好飲料、微生物利用食品 11. その他の食品 12. まとめ(6～11回の内容)と小テスト 13. まとめと試験			

科目名	食品学各論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大串 美沙		
[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、理解度確認テスト(85%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの解答を学内ICTシステムに掲載します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学Ⅱ 著者名:木村 万里子 出版社名:学文社 ISBN:9784762033421 [参考書(ISBN)] 書籍名:食品成分表(八訂増補) 著者名: 出版社名: ISBN:			

科目名	食品学実験		前期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
1. 食品成分の分析に必要な基礎的操作技術を習得する。 2. 食品に関わる基本的な定量実験の原理と手法を理解し、説明できるようになる。 3. 食品に含まれる各種成分の定量実験により、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。				
[授業概要]				
食品に含まれる一般成分や機能性成分の定量をおこない、分析技術・原理を学ぶとともに、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。実験結果は、グループ・ディスカッションによりまとめ、指定された日にグループごとに発表する。また、各実験項目ごとに、各自レポートにまとめて提出する。質問・疑問に関しては、授業内にフィードバックする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
3年生までに履修が修了している食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し理解しておくこと。				
[授業計画]				
1. 一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製 2. 中和滴定:食酢の定量 3. 沈殿滴定:食塩の定量 4. キレート滴定:カルシウムの定量 5. 小テスト、実験結果(2-4回の授業内容)の発表 6. ビタミンCの定量 7. 還元糖・非還元糖の定量 8. 油脂の変敗(酸価の測定) 9. 水分・灰分の定量 10. リンの定量 11. 鉄の定量 12. たんぱく質の定量 13. 実験結果の発表(6-12回の授業内容)、まとめのテスト				

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
[成績評価方法] 発表内容・態度(20%)、期末試験(30%)、レポート課題(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート評価点をkissで提示する。各グループの発表についての指導内容、試験解答は、授業の中で提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学実験・実習:食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全 著者名:長澤治子 編著 出版社名:相模原:青山社 ISBN:978-4-88359-361-3 [参考書(ISBN)]			

S80620 [HDB3-005]

科目名	食品学実験		前期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
1. 食品成分の分析に必要な基礎的操作技術を習得する。				
2. 食品に関わる基本的な定量実験の原理と手法を理解し、説明できるようになる。				
3. 食品に含まれる各種成分の定量実験により、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。				
[授業概要]				
食品に含まれる一般成分や機能性成分の定量をおこない、分析技術・原理を学ぶとともに、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。実験結果は、グループ・ディスカッションによりまとめ、指定された日にグループごとに発表する。また、各実験項目ごとに、各自レポートにまとめて提出する。質問・疑問に関しては、授業内にフィードバックする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
3年生までに履修が修了している食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し理解しておくこと。				
[授業計画]				
1. 一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製				
2. 中和滴定:食酢の定量				
3. 沈殿滴定:食塩の定量				
4. キレート滴定:カルシウムの定量				
5. 小テスト、実験結果(2ー4回の授業内容)の発表				
6. ビタミンCの定量				
7. 還元糖・非還元糖の定量				
8. 油脂の変敗(酸価の測定)				
9. 水分・灰分の定量				
10. リンの定量				
11. 鉄の定量				
12. たんぱく質の定量				
13. 実験結果の発表(6ー12回の授業内容)、まとめのテスト				

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
[成績評価方法] 発表内容・態度(20%)、期末試験(30%)、レポート課題(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート評価点をkissで提示する。各グループの発表についての指導内容、試験解答は、授業の中で提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学実験・実習:食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全 著者名:長澤治子 編著 出版社名:相模原:青山社 ISBN:978-4-88359-361-3 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品学実験		後期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
1. 食品成分の分析に必要な基礎的操作技術を習得する。				
2. 食品に関わる基本的な定量実験の原理と手法を理解し、説明できるようになる。				
3. 食品に含まれる各種成分の定量実験により、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。				
[授業概要]				
食品に含まれる一般成分や機能性成分の定量をおこない、分析技術・原理を学ぶとともに、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。実験結果は、グループ・ディスカッションによりまとめ、指定された日にグループごとに発表する。また、各実験項目ごとに、各自レポートにまとめて提出する。質問・疑問に関しては、授業内にフィードバックする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
3年生までに履修が修了している食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し理解しておくこと。				
[授業計画]				
1. 一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製				
2. 中和滴定:食酢の定量				
3. 沈殿滴定:食塩の定量				
4. キレート滴定:カルシウムの定量				
5. 小テスト、実験結果(2ー4回の授業内容)の発表				
6. ビタミンCの定量				
7. 還元糖・非還元糖の定量				
8. 油脂の変敗(酸価の測定)				
9. 水分・灰分の定量				
10. リンの定量				
11. 鉄の定量				
12. たんぱく質の定量				
13. 実験結果の発表(6ー12回の授業内容)、まとめのテスト				

科目名	食品学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
[成績評価方法] 発表内容・態度(20%)、期末試験(30%)、レポート課題(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート評価点をkissで提示する。各グループの発表についての指導内容、試験解答は、授業の中で提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学実験・実習:食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全 著者名:長澤治子 編著 出版社名:相模原:青山社 ISBN:978-4-88359-361-3 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品学実験		前期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
1. 食品成分の分析に必要な基礎的操作技術を習得する。				
2. 食品に関わる基本的な定量実験の原理と手法を理解し、説明できるようになる。				
3. 食品に含まれる各種成分の定量実験により、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。				
[授業概要]				
食品に含まれる一般成分や機能性成分の定量をおこない、分析技術・原理を学ぶとともに、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。実験結果は、グループ・ディスカッションによりまとめ、指定された日にグループごとに発表する。また、各実験項目ごとに、各自レポートにまとめて提出する。質問・疑問に関しては、授業内にフィードバックする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
3回生までに履修が修了している食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し理解しておくこと。				
[授業計画]				
1. 一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製				
2. 中和滴定:食酢の定量				
3. 沈殿滴定:食塩の定量				
4. キレート滴定:カルシウムの定量				
5. 小テスト、実験結果(2ー4回の授業内容)の発表				
6. ビタミンCの定量				
7. 還元糖・非還元糖の定量				
8. 油脂の変敗(酸価の測定)				
9. 水分・灰分の定量				
10. リンの定量				
11. 鉄の定量				
12. たんぱく質の定量				
13. 実験結果の発表(6ー12回の授業内容)、まとめのテスト				

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
[成績評価方法] 発表内容・態度(20%)、期末試験(30%)、レポート課題(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート評価点をkissで提示する。各グループの発表についての指導内容、試験解答は、授業の中で提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同じ [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学実験・実習:食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全 著者名:長澤治子 編著 出版社名:相模原:青山社 ISBN:978-4-88359-361-3 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品学総論		後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学		講義	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
1. 食品に含まれる化学成分(栄養成分、味覚・嗜好成分、機能性成分等)の構造・性質等に関する基礎知識を習得する。 2. 調理加工や保存過程での食品成分および成分間の化学変化、食品物性、食品表示と規格基準についての基礎知識を習得する。				
[授業概要]				
食品学総論では、食品の歴史的変遷や食物連鎖・食環境問題、食品の分類、食品成分表の使用上の注意点や食品成分の分析法、食品中の水、栄養成分(炭水化物・脂質・たんぱく質・ビタミン・ミネラル)、嗜好成分(味・色・香り)、生体調節成分等に関する基礎知識を学習する。また、食品を総合的に理解するために、食品成分の化学変化、食品物性、食品表示制度等についても学習する。なお、中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)、養護教諭一種免許状に関わる科目であるため、将来教員として指導する際に必要な知識、考え方の内容も含む。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
各回の授業についての予習・復習4時間程度。 本科目履修前に、選択科目「特別化学」、必修科目「管理栄養士のための化学」の学習内容を十分に理解しておくこと。 食品の化学成分の構造と機能については、「生化学Ⅰ」、「基礎栄養学」の学習と関連させて理解すること。				
[授業計画]				
1. 人と食べ物(食文化と生活、食料と環境問題) 2. 食品の一次機能(たんぱく質) 3. 食品の一次機能(炭水化物) 4. 食品の一次機能(脂質) 5. 食品の一次機能(ビタミン) 6. 食品の一次機能(ミネラル、水分) 7. 食品の二次機能(色素成分、呈味成分①) 8. 食品の二次機能(呈味成分②、香気・におい成分) 9. 食品の三次機能(消化管内で作用する食品成分、消化管吸収後に作用する食品成分①) 10. 食品の三次機能(消化管吸収後に作用する食品成分②、保健機能食品) 11. 食品成分の変化 12. 食品の物性 13. 食品の表示と規格基準				

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学	講義	
担当者	木村 万里子		
[成績評価方法] 授業中の確認テスト(15%)、期末試験(85%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認テストの解答をkissあるいは授業内に提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学Ⅰ 著者名:吉川 豊 出版社名:学文社 ISBN:9784762033414 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品学総論		後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学		講義	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標]				
1. 食品に含まれる化学成分(栄養成分、味覚・嗜好成分、機能性成分等)の構造・性質等に関する基礎知識を習得する。 2. 調理加工や保存過程での食品成分および成分間の化学変化、食品物性、食品表示と規格基準についての基礎知識を習得する。				
[授業概要]				
食品学総論では、食品の歴史的変遷や食物連鎖・食環境問題、食品の分類、食品成分表の使用上の注意点や食品成分の分析法、食品中の水、栄養成分(炭水化物・脂質・たんぱく質・ビタミン・ミネラル)、嗜好成分(味・色・香り)、生体調節成分等に関する基礎知識を学習する。また、食品を総合的に理解するために、食品成分の化学変化、食品物性、食品表示制度等についても学習する。なお、中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)、養護教諭一種免許状に関わる科目であるため、将来教員として指導する際に必要な知識、考え方の内容も含む。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
各回の授業についての予習・復習4時間程度。 本科目履修前に、選択科目「特別化学」、必修科目「管理栄養士のための化学」の学習内容を十分に理解しておくこと。 食品の化学成分の構造と機能については、「生化学Ⅰ」、「基礎栄養学」の学習と関連させて理解すること。				
[授業計画]				
1. 人と食べ物(食文化と生活、食料と環境問題) 2. 食品の一次機能(たんぱく質) 3. 食品の一次機能(炭水化物) 4. 食品の一次機能(脂質) 5. 食品の一次機能(ビタミン) 6. 食品の一次機能(ミネラル、水分) 7. 食品の二次機能(色素成分、呈味成分①) 8. 食品の二次機能(呈味成分②、香気・におい成分) 9. 食品の三次機能(消化管内で作用する食品成分、消化管吸収後に作用する食品成分①) 10. 食品の三次機能(消化管吸収後に作用する食品成分②、保健機能食品) 11. 食品成分の変化 12. 食品の物性 13. 食品の表示と規格基準				

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学	講義	
担当者	木村 万里子		
[成績評価方法] 授業中の確認テスト(15%)、期末試験(85%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認テストの解答をkissあるいは授業内に提示する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学Ⅰ 著者名:吉川 豊 出版社名:学文社 ISBN:9784762033414 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 様々な食品素材について、加工方法や各種貯蔵法の原理と微生物との関わり、特定保健用食品、遺伝子組み換え食品等について理解する。 [授業概要] 現代の多様なライフスタイルの変化に伴い、加工食品は食生活に幅広く利用されており、その目的は、栄養面から経済面まで多岐にわたっている。すなわち、食品の素材や加工、保存方法などをしっかり理解する事が、健全な食生活、安全性にもつながっている。食品加工学では、食品素材の特性、食品加工の原理、食品貯蔵法の原理と微生物との関わりについて講義する。また、健康増進を目的とした加工食品や遺伝子組み換え食品についても講義する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に従い講義を進めるため、教科書および配布資料(KissもしくはTeams)に目を通し予習しておく事。 身近な加工食品についてのトピックスに関心を持っておく。 各回、予習復習を合わせ4時間程度。 各回、授業終了後に配布する「まとめ」内容を中心にしっかりと復習を行い、小テスト(KissもしくはTeams)を受験しておくこと。 [授業計画] 1.食生活と食品加工学、食品の加工方法(物理的、化学的、生物的加工方法) 2.食品の保存法(食品中の水分、pH、温度による保存、燻煙) 3.食品の保存法(滅菌、除菌、殺菌、食品照射、空気組成、添加物による保存、包装素材について) 4.農産食品の加工(1) 5.農産食品の加工(2) 6.畜産食品の加工(1) 7.畜産食品の加工(2) 8.水産食品の加工(1) 9.水産食品の加工(2) 10.食用油脂および調味食品 11.嗜好食品およびインスタント食品 12.加工食品の規格と表示制度(1) 13.加工食品の企画と表示制度(2)(遺伝子組み換え食品を含む) 14.試験			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[成績評価方法] 各授業終了後実施している小テスト15% 授業終了時に実施する定期試験 85% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは全クラス終了後、解答を開示します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テストおよび定期試験により評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テストおよび定期試験により評価 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テストおよび定期試験により評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト受験を忘れないなど受験状況により評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:定期試験により評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:定期試験により評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品加工学(第2版) 著者名:西村 公雄 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811179 [参考書(ISBN)]			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 様々な食品素材について、加工方法や各種貯蔵法の原理と微生物との関わり、特定保健用食品、遺伝子組み換え食品等について理解する。 [授業概要] 現代の多様なライフスタイルの変化に伴い、加工食品は食生活に幅広く利用されており、その目的は、栄養面から経済面まで多岐にわたっている。すなわち、食品の素材や加工、保存方法などをしっかり理解する事が、健全な食生活、安全性にもつながっている。食品加工学では、食品素材の特性、食品加工の原理、食品貯蔵法の原理と微生物との関わりについて講義する。また、健康増進を目的とした加工食品や遺伝子組み換え食品についても講義する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に従い講義を進めるため、教科書および配布資料(KissもしくはTeams)に目を通し予習しておく事。 身近な加工食品についてのトピックスに関心を持っておく。 各回、予習復習を合わせ4時間程度。 各回、授業終了後に配布する「まとめ」内容を中心にしっかりと復習を行い、小テスト(KissもしくはTeams)を受験しておくこと。 [授業計画] 1.食生活と食品加工学、食品の加工方法(物理的、化学的、生物的加工方法) 2.食品の保存法(食品中の水分、pH、温度による保存、燻煙) 3.食品の保存法(滅菌、除菌、殺菌、食品照射、空気組成、添加物による保存、包装素材について) 4.農産食品の加工(1) 5.農産食品の加工(2) 6.畜産食品の加工(1) 7.畜産食品の加工(2) 8.水産食品の加工(1) 9.水産食品の加工(2) 10.食用油脂および調味食品 11.嗜好食品およびインスタント食品 12.加工食品の規格と表示制度(1) 13.加工食品の企画と表示制度(2)(遺伝子組み換え食品を含む) 14.試験			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[成績評価方法] 各授業終了後実施している小テスト15% 授業終了時に実施する定期試験 85% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは全クラス終了後、解答を開示します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テストおよび定期試験により評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テストおよび定期試験により評価 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テストおよび定期試験により評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト受験を忘れないなど受験状況により評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:定期試験により評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:定期試験により評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品加工学(第2版) 著者名:西村 公雄 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811179 [参考書(ISBN)]			

S80632 [HDB2-006]

科目名	食品加工学実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 様々な加工食品を実際に作ることで、食品素材の性質やその製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について深く理解する事を目標とする。 実習中に得られたデータを元にレポートにて考察ができるようになることを目標とする。 [授業概要] ライフスタイルの変化により、現代の食生活には加工食品の活用が必要不可欠となっている。本実験では、実際に加工食品を製造する事で、食品加工学で学んだ加工食品に用いられる食品素材の性質や、加工食品の製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について科学的に理解することを目的としている。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の実習内容について事前に教科書等で予習を行い、操作手順の確認、評価方法の検討を行っておくこと 配布資料は全てKISSもしくはTeamsに掲載します。各自で事前に準備をしておくこと(当日のプリント配布は行いません) [授業計画] 1. オリエンテーション・水飴製造実験準備(麦芽の調製・観察、じゃがいもでんぷんの観察)・バター製造実験 2. 麦芽調製(乾燥麦芽の粉碎・水飴製造準備)・こんにやく製造実験 3. 水飴製造実験 4. チーズ製造実験 5. 餡製造実験・米麴調製(味噌製造実験準備) 6. 缶詰製造実験(柑橘類のシロップ漬け・缶詰保存方法について) 7. 味噌製造実験 8. ソーセージ製造実験 9. アイスcream製造実験 10. 製麺実験(うどん・中華麺) 11. 豆腐製造実験 12. かまぼこ製造実験 13. 製パン実験 14. 試験				

科目名	食品加工学実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本 有香		
[成績評価方法] レポート課題85% 試験15% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の実習でレポート採点、解説を行い、次のレポート作成につなげる。 試験の答案を回収後解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:提出レポートおよび小テストにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:提出レポートおよび小テストにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:提出レポートにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:提出レポートにより評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:提出レポートにより評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出レポートにより評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品加工学(第2版) 著者名:西村 公雄 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811179 [参考書(ISBN)]			

S80640 [HDB2-007]

科目名	食品加工学実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 様々な加工食品を実際に作ることで、食品素材の性質やその製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について深く理解する事を目標とする。 実習中に得られたデータを元にレポートにて考察ができるようになることを目標とする。 [授業概要] ライフスタイルの変化により、現代の食生活には加工食品の活用が必要不可欠となっている。本実験では、実際に加工食品を製造する事で、食品加工学で学んだ加工食品に用いられる食品素材の性質や、加工食品の製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について科学的に理解することを目的としている。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の実習内容について事前に教科書等で予習を行い、操作手順の確認、評価方法の検討を行っておくこと 配布資料は全てKISSもしくはTeamsに掲載します。各自で事前に準備をしておくこと(当日のプリント配布は行いません) [授業計画] 1. オリエンテーション・水飴製造実験準備(麦芽の調製・観察、じゃがいもでんぷんの観察)・バター製造実験 2. 麦芽調製(乾燥麦芽の粉碎・水飴製造準備)・こんにやく製造実験 3. 水飴製造実験 4. チーズ製造実験 5. 餡製造実験・米麴調製(味噌製造実験準備) 6. 缶詰製造実験(柑橘類のシロップ漬け・缶詰保存方法について) 7. 味噌製造実験 8. ソーセージ製造実験 9. アイスcream製造実験 10. 製麺実験(うどん・中華麺) 11. 豆腐製造実験 12. かまぼこ製造実験 13. 製パン実験 14. 試験				

科目名	食品加工学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本 有香		
[成績評価方法] レポート課題85% 試験15% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の実習でレポート採点、解説を行い、次のレポート作成につなげる。 試験の答案を回収後解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:提出レポートおよび小テストにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:提出レポートおよび小テストにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:提出レポートにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:提出レポートにより評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:提出レポートにより評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出レポートにより評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品加工学(第2版) 著者名:西村 公雄 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811179 [参考書(ISBN)]			

S80641 [HDB2-007]

科目名	食品加工学実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 様々な加工食品を実際に作ることで、食品素材の性質やその製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について深く理解する事を目標とする。 実習中に得られたデータを元にレポートにて考察ができるようになることを目標とする。 [授業概要] ライフスタイルの変化により、現代の食生活には加工食品の活用が必要不可欠となっている。本実験では、実際に加工食品を製造する事で、食品加工学で学んだ加工食品に用いられる食品素材の性質や、加工食品の製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について科学的に理解することを目的としている。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の実習内容について事前に教科書等で予習を行い、操作手順の確認、評価方法の検討を行っておくこと 配布資料は全てKISSもしくはTeamsに掲載します。各自で事前に準備をしておくこと(当日のプリント配布は行いません) [授業計画] 1. オリエンテーション・水飴製造実験準備(麦芽の調製・観察、じゃがいもでんぷんの観察)・バター製造実験 2. 麦芽調製(乾燥麦芽の粉碎・水飴製造準備)・こんにやく製造実験 3. 水飴製造実験 4. チーズ製造実験 5. 餡製造実験・米麴調製(味噌製造実験準備) 6. 缶詰製造実験(柑橘類のシロップ漬け・缶詰保存方法について) 7. 味噌製造実験 8. ソーセージ製造実験 9. アイスcream製造実験 10. 製麺実験(うどん・中華麺) 11. 豆腐製造実験 12. かまぼこ製造実験 13. 製パン実験 14. 試験				

科目名	食品加工学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本 有香		
[成績評価方法] レポート課題85% 試験15% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の実習でレポート採点、解説を行い、次のレポート作成につなげる。 試験の答案を回収後解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:提出レポートおよび小テストにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:提出レポートおよび小テストにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:提出レポートにより評価 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:提出レポートにより評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習中の取り組みにより評価(できていない場合減点とし加点はしない) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:提出レポートにより評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出レポートにより評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:食品加工学(第2版) 著者名:西村 公雄 出版社名:化学同人 ISBN:9784759811179 [参考書(ISBN)]			

S80642 [HDB2-007]

科目名	食料経済	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	片上 敏喜		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- ①「食べる」ということについて深く理解することができる
- ②食品の生産から流通、消費までの仕組みと課題を理解できるようになる
- ③私たちに有効で安定したフードシステムを形成するための諸条件について考えることができる
- ④フードスペシャリスト資格試験に必要な食品の流通と消費についての知識を身につける

[授業概要]

食品は生きるうえで不可欠なものであり、かつ身近なものである一方、その背後にある生産・流通のシステムは複雑化・多様化しており、私たち消費者からは見えにくいという状況があります。本講義では、食生活の変化、食品が農場から食卓に至るまでの仕組み、生産・加工・流通に関わる事業主体の行動や各段階の特徴について解説を行います。また、私たちが直面している食をめぐる問題や課題についてもとりあげて議論し、「食べるということ」の意味について理解を深めます。海外に多くの食料を依存するわが国の実態から、将来に食の不安を招かないためにも、現在抱える「食と農」の問題の所在を明らかにし、これからの食の在り方を問いかけます。また地域との関わりをもつ様々な食品生産・流通や消費、食品をめぐる制度などの最新情報と実態を盛り込んだ講義を行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

日々の生活の中から食と農に関連する出来事に関心を持ち、新聞やニュースなどを通じて日常的に情報を収集してください。

[授業計画]

1. 食料経済を学ぶためのプロローグ
食生活や食品生産・流通の仕組みを理解する意義について
2. 食品の種類と分類
様々な食品の特徴について多様な方向から考える
3. 生活形態と食市場、食品産業
現在の私たちの食生活の特徴について理解する。食生活の形態の変化や、変化の要因について
4. 食品消費の変化の様子
様々な食品の消費量の変化の様子について学ぶ
5. 食品加工・流通技術の発展
現在の食生活を支える食品加工・流通技術の役割や特徴等について
6. 流通業の種類と役割
流通業の種類と役割、社会における重要性について
7. 生鮮食品の流通
生鮮品の流通に大きな役割を果たしている卸売市場について、その役割と近年の動向を学ぶ
8. 加工食品の流通
加工食品の流通に欠かせない食品問屋(食品卸)の役割について
9. 食品小売業の種類と役割
食品小売業の様々な業種・業態について、その運営の仕組みや取り扱い商品の特徴を学ぶ
10. チェーンオペレーションによる食の供給(外食産業編)
外食産業の成立過程やチェーンレストランの運営の仕組み、食材供給システムなどについて学ぶ
11. チェーンオペレーションによる食の供給(コンビニ編)
コンビニエンスストアを例に、その運営の仕組みや今後の動向などについて学ぶ
12. 食品の安全確保
食品の安全確保のための考え方や、そのための仕組みを解説する。企業における食品安全管理システムなどを学ぶ
13. 全体の取りまとめ
現在の社会・経済の動きと「食と農」の関係について学ぶ

科目名	食料経済	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	片上 敏喜		
〔 成績評価方法 〕 レポート課題(60%)、授業への参加態度および授業中に出題する課題など(40%)で評価します。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 レポートや授業内で提出された課題等は、次回の講義内で紹介・解説します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:四訂 食品の消費と流通 著者名:公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906874 〔 参考書(ISBN) 〕			

科目名	生化学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 生化学 I では生体内における基本的な物質、糖、たんぱく質、脂質、核酸の構造、性質を学ぶ。また、生体内の化学反応の触媒である酵素について、補酵素としてのビタミンについてその作用を理解する。			
[授業概要] 生化学とは生体内で起こる現象を化学の視点で説明する学問分野である。近年生化学は、分子レベルで生体内の化学反応を理解するという分子生物学の方向に飛躍的に進歩を遂げてきた。毎日のように新しい研究の成果が報告されている。それらを理解する基礎として生化学 I では生体を構成する基本的な物質について、その構造と機能を学ぶ。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定した教科書の第1章 細胞と構造と機能 A 細胞の基本構造 に必ず目を通して確認しておくこと。 生物、化学で学んだ事項(細胞の構造と機能、水、炭素と基礎的有機化学)を確認しておくこと。			
[授業計画] 1. 糖質1;糖質とは、糖質の種類、光学異性体 2. 糖質2;単糖の構造と性質、酸化還元による誘導体 3. 糖質3;二糖の構造と性質、多糖の構造と性質 4. 脂質1;脂質とは、脂質の種類 5. 脂質2;脂質の役割、脂肪酸の基本構造と性質、必須脂肪酸 6. 脂質3;脂質各論(脂肪酸、中性脂肪、リン脂質、糖脂質、コレステロール) 7. 脂質4;生体膜、リポタンパク質(キロミクロン、VLDL、LDL、HDL) 8. タンパク質1;タンパク質の分類、ペプチド結合 9. タンパク質2;必須アミノ酸、一次構造から四次構造まで 10. 核酸;構造、ヌクレオシドとヌクレオチド、DNAとRNA 11. 酵素1;活性中心と触媒作用、補酵素 12. 酵素2;最大反応速度とミカエリス定数、阻害剤の影響 13. ビタミン;水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、生理機能と欠乏症、過剰症			

科目名	生化学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
[成績評価方法] 試験 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:石堂 一巳 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524241828 [参考書(ISBN)]			

科目名	生化学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 生化学 I では生体内における基本的な物質、糖、たんぱく質、脂質、核酸の構造、性質を学ぶ。また、生体内の化学反応の触媒である酵素について、補酵素としてのビタミンについてその作用を理解する。			
[授業概要] 生化学とは生体内で起こる現象を化学の視点で説明する学問分野である。近年生化学は、分子レベルで生体内の化学反応を理解するという分子生物学の方向に飛躍的に進歩を遂げてきた。毎日のように新しい研究の成果が報告されている。それらを理解する基礎として生化学 I では生体を構成する基本的な物質について、その構造と機能を学ぶ。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定した教科書の第1章 細胞と構造と機能 A 細胞の基本構造 に必ず目を通して確認しておくこと。 生物、化学で学んだ事項(細胞の構造と機能、水、炭素と基礎的有機化学)を確認しておくこと。			
[授業計画] 1. 糖質1;糖質とは、糖質の種類、光学異性体 2. 糖質2;単糖の構造と性質、酸化還元による誘導体 3. 糖質3;二糖の構造と性質、多糖の構造と性質 4. 脂質1;脂質とは、脂質の種類 5. 脂質2;脂質の役割、脂肪酸の基本構造と性質、必須脂肪酸 6. 脂質3;脂質各論(脂肪酸、中性脂肪、リン脂質、糖脂質、コレステロール) 7. 脂質4;生体膜、リポタンパク質(キロミクロン、VLDL、LDL、HDL) 8. タンパク質1;タンパク質の分類、ペプチド結合 9. タンパク質2;必須アミノ酸、一次構造から四次構造まで 10. 核酸;構造、ヌクレオシドとヌクレオチド、DNAとRNA 11. 酵素1;活性中心と触媒作用、補酵素 12. 酵素2;最大反応速度とミカエリス定数、阻害剤の影響 13. ビタミン;水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、生理機能と欠乏症、過剰症			

科目名	生化学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
[成績評価方法] 試験 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:石堂 一巳 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524241828 [参考書(ISBN)]			

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標]			
生体内の化学反応である代謝について理解する。食事より取り込まれる物質がどのように分解されて生化学Iで学んだ基礎的な物質となるのか、またそれらより、体にとって必要な高分子化合物がどのように合成されるのか、そして、分解され排泄されるのかを理解する。			
[授業概要]			
生命現象は細胞に含まれる物質の調和の取れた合成と分解並びにそれに伴うエネルギーの出し入れによって支えられている。細胞を構成する分子には分子量が百から千程度の小さな分子からなるもの(低分子化合物)と1万から百万にも達する巨大分子からなるもの(高分子化合物)とがある。これら低分子並びに高分子化合物がどのような仕組みで合成され、どのように細胞構造を組み立てて行くか、を学ぶ。さらにこのような細胞の営みに対して遺伝子はどのような情報を担い、それをどのように発現していくかを学ぶ。また、この中で健康阻害(病態)と代謝異常との関連を適宜織り込んでいく。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
生化学Iで学んだ栄養素の種類、構造、役割を確認し、確実に身につけておくこと。 解剖生理学や基礎栄養学などの他の科目で学んだこととの関連性を考え、総合的に理解すること。			
[授業計画]			
1. 代謝のあらまし			
2. 糖質代謝Ⅰ;糖質代謝のあらまし			
3. 糖質代謝Ⅱ;グルコースの分解 (解糖系)			
4. 糖質代謝Ⅲ;グルコースの分解 (クエン酸回路)			
5. 糖質代謝Ⅳ;グルコースの分解 (電子伝達系、グリセロールリン酸シャトル、リンゴ酸-アスパラギン酸シャトル)			
6. 糖質代謝Ⅴ;糖新生、ペントースリン酸回路グリコーゲンの代謝、ガラクトース、フルクトース、マンノースの代謝			
7. 脂質代謝Ⅰ;脂質の消化と吸収、脂肪酸の分解			
8. 脂質代謝Ⅱ;ケトン体の生成と応用、脂肪酸の生合成			
9. 脂質代謝Ⅲ;コレステロールの生合成と利用、エイコサノイドの生合成			
10. タンパク質代謝Ⅰ;タンパク質の消化と吸収、 α -ケト酸を経由するアミノ酸の利用			
11. タンパク質代謝Ⅱ;アミノ酸からの各種窒素化合物及び他のアミノ酸の合成			
12. 核酸代謝;核酸の合成と分解、ヌクレオチドの合成と分解			
13. ポルフィリン代謝;ヘムの生合成と分解、ビリルビンの代謝			

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		
[成績評価方法] 試験 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:石堂 一巳 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524241828 [参考書(ISBN)]			

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標]			
生体内の化学反応である代謝について理解する。食事より取り込まれる物質がどのように分解されて生化学Iで学んだ基礎的な物質となるのか、またそれらより、体にとって必要な高分子化合物がどのように合成されるのか、そして、分解され排泄されるのかを理解する。			
[授業概要]			
生命現象は細胞に含まれる物質の調和の取れた合成と分解並びにそれに伴うエネルギーの出し入れによって支えられている。細胞を構成する分子には分子量が百から千程度の小さな分子からなるもの(低分子化合物)と1万から百万にも達する巨大分子からなるもの(高分子化合物)とがある。これら低分子並びに高分子化合物がどのような仕組みで合成され、どのように細胞構造を組み立てて行くか、を学ぶ。さらにこのような細胞の営みに対して遺伝子はどのような情報を担い、それをどのように発現していくかを学ぶ。また、この中で健康阻害(病態)と代謝異常との関連を適宜織り込んでいく。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
生化学Iで学んだ栄養素の種類、構造、役割を確認し、確実に身につけておくこと。 解剖生理学や基礎栄養学などの他の科目で学んだこととの関連性を考え、総合的に理解すること。			
[授業計画]			
1. 代謝のあらまし			
2. 糖質代謝Ⅰ;糖質代謝のあらまし			
3. 糖質代謝Ⅱ;グルコースの分解 (解糖系)			
4. 糖質代謝Ⅲ;グルコースの分解 (クエン酸回路)			
5. 糖質代謝Ⅳ;グルコースの分解 (電子伝達系、グリセロールリン酸シャトル、リンゴ酸-アスパラギン酸シャトル)			
6. 糖質代謝Ⅴ;糖新生、ペントースリン酸回路グリコーゲンの代謝、ガラクトース、フルクトース、マンノースの代謝			
7. 脂質代謝Ⅰ;脂質の消化と吸収、脂肪酸の分解			
8. 脂質代謝Ⅱ;ケトン体の生成と応用、脂肪酸の生合成			
9. 脂質代謝Ⅲ;コレステロールの生合成と利用、エイコサノイドの生合成			
10. タンパク質代謝Ⅰ;タンパク質の消化と吸収、 α -ケト酸を経由するアミノ酸の利用			
11. タンパク質代謝Ⅱ;アミノ酸からの各種窒素化合物及び他のアミノ酸の合成			
12. 核酸代謝;核酸の合成と分解、ヌクレオチドの合成と分解			
13. ポルフィリン代謝;ヘムの生合成と分解、ビリルビンの代謝			

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		
[成績評価方法] 試験 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:石堂 一巳 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524241828 [参考書(ISBN)]			

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 最近の生化学の進歩により生化学実験には複雑な実験系と高度な技術が必要になったが、この実験では(1)高度な実験を手掛けるのに必要な基礎的な実験操作と実験の進め方を習得し、大抵の生化学実験なら実験書を見れば独りで実験ができるようにすること、(2)今日の実験テーマに触れて生化学に対する興味を湧かせること、(3)科学系レポートの書き方の基本を習得すること、を目的としている。			
[授業概要] 「酵素」では、モル濃度液の調製、pHの測定、反応速度の算出、数値の取り扱い方、などを通じて定量実験の進め方を学ぶ。 「植物色素」では、有機溶媒による低極性有機物質の抽出、薄層クロマトおよび吸収スペクトルによる物質の分離と同定を通じて定性実験の進め方を学ぶ。また、植物性食品成分の分析への応用を図る。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生化学Iで学んだ「酵素」および「ビタミンと補酵素」について確認しておくこと。 他の実験科目で得た実験技術、操作の意味、機械の操作手順、Data解析の仕方、考え方などを確認しておくこと。			
[授業計画] 1. 「オリエンテーション」ガラス・プラスチック器具の洗い方と使い方、秤量と数値の取り扱い方。実験の方法、操作の意味 2. 「酵素反応およびその競争阻害の反応速度論的解析」 トリプシンによるベンゾイルアルギニン-p-ニトロアニリドの加水分解、トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害。 ①検量線について 次回実験操作の説明 緩衝液の調製 ②検量線の作成と係数の計算 ③トリプシンの基質濃度と反応初速度の関係 ④ミカエリス定数(Km)と最大反応速度(Vmax)について 次回実験操作の説明 ⑤トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害について ⑥阻害剤のKm、Vmaxへの影響とその意味 3. 「植物はどのような色素を含むか。」 薄層クロマトによる分離、Rf値と物質の極性との関係、吸収スペクトルの原理と測定、スペクトルによる色素の同定。プロビタミンAについて考察する。調理時の野菜の変色の解析へ繋ぐ。2回目は自分たちでテーマを決めて実験する。 ①-1植物間の比較 ②-1色素の単離 ③-1吸収スペクトルの測定 ①-2植物間の比較 ②-2色素の単離 ③-2吸収スペクトルの測定			

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[成績評価方法] レポート(40%)、その他(60% 実験中の手技、理解度、挙動 3回の遅刻は1回の欠席に相当する) レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、実験中の手技、理解度、挙動 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	生化学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 最近の生化学の進歩により生化学実験には複雑な実験系と高度な技術が必要になったが、この実験では(1)高度な実験を手掛けるのに必要な基礎的な実験操作と実験の進め方を習得し、大抵の生化学実験なら実験書を見れば独りで実験ができるようにすること、(2)今日の実験テーマに触れて生化学に対する興味を湧かせること、(3)科学系レポートの書き方の基本を習得すること、を目的としている。 [授業概要] 「酵素」では、モル濃度液の調製、pHの測定、反応速度の算出、数値の取り扱い方、などを通じて定量実験の進め方を学ぶ。「植物色素」では、有機溶媒による低極性有機物質の抽出、薄層クロマトおよび吸収スペクトルによる物質の分離と同定を通じて定性実験の進め方を学ぶ。また、植物性食品成分の分析への応用を図る。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生化学Iで学んだ「酵素」および「ビタミンと補酵素」について確認しておくこと。 他の実験科目で得た実験技術、操作の意味、機械の操作手順、Data解析の仕方、考え方などを確認しておくこと。 [授業計画] 1.「オリエンテーション」ガラス・プラスチック器具の洗い方と使い方、秤量と数値の取り扱い方。実験の方法、操作の意味 2.「酵素反応およびその競争阻害の反応速度論的解析」 トリプシンによるベンゾイルアルギニン-p-ニトロアニリドの加水分解、トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害。 ①検量線について 次回実験操作の説明 緩衝液の調製 ②検量線の作成と係数の計算 ③トリプシンの基質濃度と反応初速度の関係 ④ミカエリス定数(K_m)と最大反応速度(V_{max})について 次回実験操作の説明 ⑤トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害について ⑥阻害剤のK_m、V_{max}への影響とその意味 3.「植物はどのような色素を含むか。」 薄層クロマトによる分離、R_f値と物質の極性との関係、吸収スペクトルの原理と測定、スペクトルによる色素の同定。プロビタミンAについて考察する。調理時の野菜の変色の解析へ繋ぐ。2回目は自分たちでテーマを決めて実験する。 ①-1植物間の比較 ②-1色素の単離 ③-1吸収スペクトルの測定 ①-2植物間の比較 ②-2色素の単離 ③-2吸収スペクトルの測定			

科目名	生化学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[成績評価方法] レポート(40%)、その他(60% 実験中の手技、理解度、挙動 3回の遅刻は1回の欠席に相当する) レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、実験中の手技、理解度、挙動 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S80391 [HDS2-001]

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 最近の生化学の進歩により生化学実験には複雑な実験系と高度な技術が必要になったが、この実験では(1)高度な実験を手掛けるのに必要な基礎的な実験操作と実験の進め方を習得し、大抵の生化学実験なら実験書を見れば独りで実験ができるようにすること、(2)今日の実験テーマに触れて生化学に対する興味を湧かせること、(3)科学系レポートの書き方の基本を習得すること、を目的としている。			
[授業概要] 「酵素」では、モル濃度液の調製、pHの測定、反応速度の算出、数値の取り扱い方、などを通じて定量実験の進め方を学ぶ。 「植物色素」では、有機溶媒による低極性有機物質の抽出、薄層クロマトおよび吸収スペクトルによる物質の分離と同定を通じて定性実験の進め方を学ぶ。また、植物性食品成分の分析への応用を図る。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生化学Iで学んだ「酵素」および「ビタミンと補酵素」について確認しておくこと。 他の実験科目で得た実験技術、操作の意味、機械の操作手順、Data解析の仕方、考え方などを確認しておくこと。			
[授業計画] 1. 「オリエンテーション」ガラス・プラスチック器具の洗い方と使い方、秤量と数値の取り扱い方。実験の方法、操作の意味 2. 「酵素反応およびその競争阻害の反応速度論的解析」 トリプシンによるベンゾイルアルギニン-p-ニトロアニリドの加水分解、トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害。 ①検量線について 次回実験操作の説明 緩衝液の調製 ②検量線の作成と係数の計算 ③トリプシンの基質濃度と反応初速度の関係 ④ミカエリス定数(Km)と最大反応速度(Vmax)について 次回実験操作の説明 ⑤トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害について ⑥阻害剤のKm、Vmaxへの影響とその意味 3. 「植物はどのような色素を含むか。」 薄層クロマトによる分離、Rf値と物質の極性との関係、吸収スペクトルの原理と測定、スペクトルによる色素の同定。プロビタミンAについて考察する。調理時の野菜の変色の解析へ繋ぐ。2回目は自分たちでテーマを決めて実験する。 ①-1植物間の比較 ②-1色素の単離 ③-1吸収スペクトルの測定 ①-2植物間の比較 ②-2色素の単離 ③-2吸収スペクトルの測定			

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[成績評価方法] レポート(40%)、その他(60% 実験中の手技、理解度、挙動 3回の遅刻は1回の欠席に相当する) レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、実験中の手技、理解度、挙動 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	生活経営学		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	ガンガ 伸子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 生活を経営(マネジメント)することの意味を理解できるようになる。 家族関係と生活経済に関する基礎的内容を理解できるようになる。 [授業概要] 私たちは、ヒト、モノ、ココロ、時間などの生活資源をもっており、それらを活用して幸福な生活を送りたいと願っている。本授業では、社会とのかかわり中で、生活をマネジメントするというのはどういうことを考えていく。具体的には、家族・家庭や個人のあり方、生活経済のしくみ、さらにリスクや生活保障に関する内容を学習することから、生活経営の課題について解説する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 生活経営の内容は、家族、家庭、生活経済、生活保障等多岐にわたる。日ごろから、生活経営に関する話題に関心をもつこと。 [授業計画] 1. イントロダクション、家族を考える:変容する家族 2. 家族を考える:ゆれる男女の役割と家族、これからの家族を考える 3. 女性の就労 4. 国民経済の中の家計 5. 家計のしくみ 6. ライフステージの各段階での家計 7. 現在と将来の生活バランス 8. 社会の変化と家庭経済の変容 9. 消費社会を生きる(消費者問題の現在、コンシューマリズムの確立と消費者の権利) 10. 消費社会を生きる(消費者の行動と消費者主権:市場経済と消費者主権、購入と消費者行動) 11. 生活におけるリスクと生活保障「学外特別講師」(予定) 12. 子どもと育つ 13. 老いを生きる、まとめ				

科目名	生活経営学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時における小テストと課題評価(30%)、定期試験(70%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時に、小テストと課題のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S82340 [HDS3-005]

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中尾 尊洋			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得				
[授業概要] Ⅰの続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。				
[授業計画] 1.前期の復習, 推測統計の考え方 2.エクセルの基本操作, 関数の活用 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散 4.母平均の区間推定 5.統計的仮説検定の考え方 6.χ ² 検定 7.t検定(対応なし) 8.t検定(対応あり) 9.実験計画と1要因分散分析 10.2要因分散分析 11.相関係数 12.回帰分析 13.演習, まとめ				

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中尾 尊洋		
[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	山下 義史			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得 [授業概要] I の続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。 [授業計画] 1.前期の復習, 推測統計の考え方 2.エクセルの基本操作, 関数の活用 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散 4.母平均の区間推定 5.統計的仮説検定の考え方 6. χ^2検定 7.t検定(対応なし) 8.t検定(対応あり) 9.実験計画と1要因分散分析 10.2要因分散分析 11.相関係数 12.回帰分析 13.演習, まとめ				

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下 義史		
[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題と振り返りの記述により評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業の取り組む姿勢と課題の中身で評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業の取り組む姿勢と課題の中身で評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業の取り組む姿勢と課題の中身で評価する。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中尾 尊洋			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得 [授業概要] I の続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。 [授業計画] 1.前期の復習, 推測統計の考え方 2.エクセルの基本操作, 関数の活用 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散 4.母平均の区間推定 5.統計的仮説検定の考え方 6.χ^2検定 7.t検定(対応なし) 8.t検定(対応あり) 9.実験計画と1要因分散分析 10.2要因分散分析 11.相関係数 12.回帰分析 13.演習, まとめ				

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中尾 尊洋		
[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業内での取り組み、発表および課題レポートにより評価する。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	山下 義史			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得 [授業概要] I の続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。 [授業計画] 1.前期の復習, 推測統計の考え方 2.エクセルの基本操作, 関数の活用 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散 4.母平均の区間推定 5.統計的仮説検定の考え方 6.χ^2検定 7.t検定(対応なし) 8.t検定(対応あり) 9.実験計画と1要因分散分析 10.2要因分散分析 11.相関係数 12.回帰分析 13.演習, まとめ				

科目名	生活情報処理Ⅱ（推定と検定）	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下 義史		
[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:振り返りと課題の中身で評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業の取り組む姿勢と課題の中身で評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業の取り組む姿勢と課題の中身で評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業の取り組む姿勢と課題の中身で評価する。 			

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	野坂 咲耶			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 本実習では、基礎的なコンピュータ活用方法や表計算ソフト(Excel)を用いての初歩統計学を含むデータ処理・分析方法およびその意義を学ぶこと、科学的根拠に基づいた情報を収集する能力を獲得すること、および収集・分析した情報を整理し、効果的に発表する力を身につけることを目標とする。 [授業概要] 本授業では、管理栄養士の業務におけるIT化への基礎的な対応力を養うことを目的として、データ処理と分析の初歩を学びます。表計算ソフト(Excel)を活用した基本的な統計学の演習を通じて、データを整理・分析するスキルを習得し、科学的根拠に基づいた情報を収集し整理する力を育成します。 また、デジタルツールの基本操作やデータ活用の意義を理解し、今後の実務に役立つ基礎知識の習得を目指します。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 基本的には授業時間内のみの学習とする。 [授業計画] 1 オリエンテーション 2 Excelの基本操作(1) 3 Excelの基本操作(2) 4 管理栄養士と健康情報(1) 5 管理栄養士と健康情報(2) 6 管理栄養士と健康情報(3) 7 管理栄養士と健康情報(4) 8 基礎統計(1)□ 9 基礎統計(2) 10 基礎統計(3) 11 演習-発表資料作成①情報収集 12 演習-発表資料作成②PowerPointスライド作成 13 発表、まとめ				

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	野坂 咲耶		
[成績評価方法] レポート提出:70% グループ発表:30% ※レポート提出が遅れた場合は一切受け取らない。レポートの不備がある場合は再提出を求める場合があります。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 必要に応じて授業内で適宜行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:基礎から学ぶ栄養学研究 著者名:村上 健太郎 出版社名:建帛社 ISBN:9784767962177 書籍名:わかりやすいEBNと栄養疫学 著者名:佐々木敏／著 出版社名:同文書院 ISBN:9784810313161			

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	平田 真弓			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] Excelの基本的な利用法および統計処理の方法を修得する。				
[授業概要] 私たちの身の回りには、無数のデータが存在している。ある程度以上のデータにはバラツキが伴うが、そのバラツキのあるデータの性質を調べたり、大きなデータ(母集団)から一部を抽出し、そのデータ(標本)の性質を調べることで、元の大きなデータの性質を推測したりするための方法論を体系化したものが統計学である。本講義では、広く普及している表計算ソフト(Excel)を用いてデータを分析するスキルと知識を身に付ける。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 復習課題と予習課題を授業時に指示する。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. Excelの基本操作① 3. Excelの基本操作② 4. グラフの作成① 5. グラフの作成② 6. データの処理・集計① 7. データの処理・集計② 8. アンケート集計① 9. アンケート集計② 10. 統計解析① 11. 統計解析② 12. 統計解析③ 13. まとめ				

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	平田 真弓		
[成績評価方法] 課題(100%)にて評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次回授業の初めに全体的な傾向についてのコメントをする。 また、必要である場合にはmanabaにて個別に対応する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価方法と同様 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価方法と同様 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同様 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同様 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価方法と同様 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	平田 真弓			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] Excelの基本的な利用法および統計的処理の方法を修得する。				
[授業概要] 私たちの身の回りには、無数のデータが存在している。ある程度以上のデータにはバラツキが伴うが、そのバラツキのあるデータの性質を調べたり、大きなデータ(母集団)から一部を抽出し、そのデータ(標本)の性質を調べることで、元の大きなデータの性質を推測したりするための方法論を体系化したものが統計学である。本講義では、広く普及している表計算ソフト(Excel)を用いてデータを分析するスキルと知識を身に付ける。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 復習課題と予習課題を授業時に指示する。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. Excelの基本操作① 3. Excelの基本操作② 4. グラフの作成① 5. グラフの作成② 6. データの処理・集計① 7. データの処理・集計② 8. アンケート集計① 9. アンケート集計② 10. 統計解析① 11. 統計解析② 12. 統計解析③ 13. まとめ				

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	平田 真弓		
[成績評価方法] 課題(100%)にて評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次回授業の初めに全体的な傾向についてのコメントをする。 また、必要である場合にはmanabaにて個別に対応する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 上記成績評価方法と同様 学科DP番号／DP内容: 管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 上記成績評価方法と同様 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記成績評価方法と同様 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記成績評価方法と同様 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記成績評価方法と同様 [教科書 (ISBN)] [参考書 (ISBN)]			

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	竹田 和恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] Excelの基本的な利用法および統計処理の方法を修得する。				
[授業概要] 私たちの身の回りには、無数のデータが存在している。ある程度以上のデータにはバラツキが伴うが、そのバラツキのあるデータの性質を調べたり、大きなデータ(母集団)から一部を抽出し、そのデータ(標本)の性質を調べることで、元の大きなデータの性質を推測したりするための方法論を体系化したものが統計学である。本講義では、広く普及している表計算ソフト(Excel)を用いてデータを分析するスキルと知識を身に付ける。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 復習課題と予習課題を授業時に指示する。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. Excelの基本操作① 3. Excelの基本操作② 4. グラフの作成① 5. グラフの作成② 6. データの処理・集計① 7. データの処理・集計② 8. アンケート集計① 9. アンケート集計② 10. 統計解析① 11. 統計解析② 12. 統計解析③ 13. まとめ				

科目名	生活情報処理実習Ⅰ（基礎統計学を含む）	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹田 和恵		
[成績評価方法] 課題(100%)にて評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次回授業の初めに全体的な傾向についてのコメントをする。 また、必要である場合にはmanabaにて個別に対応する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	総合演習 I		前期～後期	1 単位
サブタイトル	公衆栄養と給食経営管理の総合的な能力を身につける		演習	
担当者	西井 穂、才新 直子、竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
演習を通して栄養評価・判定に基づいた適正な栄養管理を行うため、専門分野の教育内容ごとに修得した知識、技能を統合する総合的な能力を養うことを目標とする。また、管理栄養士になるための臨地実習の位置づけを理解するとともに各自の実習目標を明らかにし、課題を設定して、必要な準備をして実習の効果を高める。				
[授業概要]				
栄養評価・判定に基づいた適正な栄養管理を行い、専門分野の教育内容ごとに修得した知識、技能を養い、臨地実習においてよりよい効果を上げるため、「公衆栄養学」「給食経営管理論」の教育内容のほか「調理学」「食品衛生学」「応用栄養学」「栄養教育」「公衆衛生学」等を包含する演習を行う。				
授業では公衆栄養、給食経営管理の臨地・校外実習において必要とされる専門知識、技術と、適切なマネジメントを行う総合的な能力の修得に向けて、実践課題研究を行う。実践課題研究では、PDCAサイクルに基づく課題の発見から、解決に至るまでのプロセスを習得し、臨地実習の事前学習の充実に繋げる。実習終了後は、実習内容や研究課題への取り組みの反省会、報告会なども行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
「公衆栄養学」、「給食経営管理論」などの実習関連科目の単位を取得し、専門分野の各教育内容ごとに修得した知識、技能の復習を行う。また、実習生として正しいマナーを身につけると共に、規則正しい生活を心がけ、しっかりと体調管理を行う。				
[授業計画]				
1. 臨地実習の概要、目的と準備(才新)				
2. 臨地実習における心構えと衛生・安全管理について(才新)				
3. 実践栄養課題研究(グループ)①(才新)				
4. 実践栄養課題研究(グループ)②(才新・西井)				
5. 実習計画書と報告書の書き方(竹市)				
6. 公衆栄養学の臨地実習の意義と目的の確認(竹市)/給食経営管理の実際(西井)				
7. 給食経営管理 課題研究発表と討議(グループ)①(西井)				
8. 公衆栄養学 課題研究発表と討議(グループ)②(竹市)				
9. 給食経営管理の臨地実習の意義と目的および実習課題設定(西井)				
10. 臨地実習報告会(公衆栄養学)①(竹市)				
11. 臨地実習報告会(公衆栄養学)②(竹市)				
12. 臨地実習報告会(給食経営管理)①(西井)				
13. 臨地実習報告会(給食経営管理)②・まとめ(西井・才新・竹市)				

科目名	総合演習 I	前期～後期	1 単位
サブタイトル	公衆栄養と給食経営管理の総合的な能力を身につける	演習	
担当者	西井 穂、才新 直子、竹市 仁美		
[成績評価方法] レポート(30%)、課題研究発表など(60%)、小テスト(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト [教科書(ISBN)] 書籍名:臨地実習・校外実習ハンドブック 著者名:藤原 政嘉 出版社名:みらい ISBN:9784860153304 書籍名:現場で役立つ公衆栄養学実習 第二版 著者名:橋本加代 出版社名:同文書院 ISBN:9784810315226 書籍名:2025年版 管理栄養士・栄養士必携-データ・資料集- 著者名:日本栄養士会編 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114910 書籍名:プリント配布 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし [参考書(ISBN)] 書籍名:給食経営管理論 改訂第3版 著者名:石田 裕美 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524252893 書籍名:改訂 公衆栄養学 著者名:由田 克士 出版社名:建帛社 ISBN:9784767907239			

S81600 [HDI3-006]

科目名	総合演習Ⅱ		前期～後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	杉岡 ふみ子、狩野 百合子、田村 奈緒子、置村 康彦、西井 穂、久永 文、甲斐 達男			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 病院管理栄養士業務をはじめ広い分野における管理栄養士としての業務を理解し、管理栄養士に必要な専門知識・技能の統合能力を養う。				
[授業概要] 管理栄養士として必要な基礎的な知識から臨床栄養管理のために必要な知識を得るため、①病院の栄養管理部門の現状を理解する。②職業倫理を高め、チーム医療・臨床栄養管理・栄養相談に必要な知識・技能の統合を図る。③臨床栄養臨地実習において、課題の発見(気づき)・問題解決方法を学ぶ。④臨床栄養学臨地実習終了後は、実習内容や課題への取り組みの報告・反省会などを行い、臨床での管理栄養士業務への理解を深めるとともに、管理栄養士としての総合的知識の統合をはかる。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養に関する知識・病院管理栄養士の業務を復習し、実習先病院の情報・管理栄養士業務の特徴(先輩の記録など)を把握しておく。また、生活習慣を整え、体調管理を行い、社会人としてのマナーを身につけておく。				
[授業計画] 1. 臨床栄養学臨地実習の概要と目的・準備・心構え(杉岡) 2. 医療・福祉とチーム医療について(杉岡) 3. 栄養ケアマネジメントの概要と栄養障害について(杉岡) 4. 食品衛生と給食経営管理について(甲斐・西井) 5. 高齢者の栄養アセスメントと栄養ケアについて(久永) 6. 母子栄養、薬と栄養・食事の相互作用について(久永) 7. 管理栄養士として必要な医学の知識について(置村) 8. 管理栄養士として必要な生化学について(田村) 9. 管理栄養士として必要な基礎栄養について(狩野) 10. 臨床栄養学臨地実習のまとめ(杉岡) 11. 臨床栄養学臨地実習の報告会①(杉岡・久永) 12. 臨床栄養学臨地実習の報告②(杉岡・久永) 13. 臨床栄養学臨地実習の報告③(杉岡・久永)				

科目名	総合演習Ⅱ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子、狩野 百合子、田村 奈緒子、置村 康彦、西井 穂、久永 文、甲斐 達男		
〔 成績評価方法 〕 レポート・小テスト・発表（100％） 〔 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 〕 小テストの解答やレポート等の解説をmanaba等の学内システムを活用して行います。 〔 オフィスアワー（質問等の受付方法） 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP） 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題レポート、小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題レポート、小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題レポート、小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:課題レポート、小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠（エビデンス）に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題レポート、小テスト 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題レポート 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題レポート、発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート、発表 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題レポート、発表 〔 教科書（ISBN） 〕 書籍名:臨地実習・校外実習ハンドブック 著者名:藤原 政嘉 出版社名:みらい ISBN:9784860153304 〔 参考書（ISBN） 〕 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編・疾患別編 著者名:本田佳子 出版社名:羊土社 ISBN:9784758108829 書籍名:臨地実習及び校外実習の実際 著者名:(公社)日本栄養士会・(一般)全国栄養士養成施設協会編 出版社名:日本栄養士会、全国栄養士養成施設協会 ISBN:なし			

S81610 [HDI3-007]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究計画の基本的考え方を学び、実施によって実験技術を習得する。 [授業概要] A)コレステロール・胆汁酸の代謝および体内動態 コレステロールの体内動態はメタボリックシンドロームの指標として重要なものである。環境的要因の変化に対するコレステロールおよびその異化産物である胆汁酸代謝についてラットを用いて研究する。 B)腸内細菌による胆汁酸変換 二次胆汁酸であるデオキシコール酸は大腸癌の促進因子、またリコール酸は肝毒性に働く。このような有害な胆汁酸組成比を少なくすると同時に肝細胞保護作用や体内での発癌予防など多様な有効作用をもつウルソデオキシコール酸の合成を増加させる方法を、プロバイオティクスとして腸内細菌を利用して探索する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各演習について予習・復習4時間程度。 日頃からコレステロールおよび胆汁酸代謝に関連する、論文や総説に関心を持つこと。基本的な有機化学についても復習しておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 基礎知識の習得方法 3. 文献の検索方法 4. 文献の読み方1 5. 文献の読み方2 6. 卒論に関わる生化学的知識のレクチャー1 7. 卒論に関わる生化学的知識のレクチャー2 8. 卒論に関わる生化学的知識のレクチャー3 9. 実験を安全に行うための管理 10. 基礎的機器分析のレクチャー1 11. 基礎的機器分析のレクチャー2 12. 基礎的機器分析の実験1 13. 基礎的機器分析の実験2				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
〔 成績評価方法 〕 卒業研究に対する基礎的知識の習得状況を評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 各実験内容についてディスカッションを行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89118 〔 HDB4-001 〕

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ		演習	
担当者	狩野 百合子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] ラットを用いる栄養実験を通して、食品中の非栄養素(エキストラバージンオリーブ油に含まれるポリフェノール)の機能及び栄養について考え、考察する。 [授業概要] 「エキストラバージンオリーブ油によるラットの脂質代謝への影響」 オリーブ油の健康への有効な効果について調べるために、特にエキストラバージンオリーブ油と他の油脂(動物性油脂のラードあるいは植物性油脂の大豆油)を同時に摂取したときの脂質代謝(体熱産生)への影響について、カテコラミン分泌量、血液中脂質成分(トリグリセリド濃度、コレステロール濃度)及び、体脂肪量、褐色脂肪細胞(BAT)の脱共役蛋白質(UCP1)を測定し調べることにより検討する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し理解を深めて、次回の授業の準備をすること。 [授業計画] 1. 実験計画(1) 2. 実験計画(2) 3. 実験計画(3) 4. 実験準備(1):動物、試薬、使用器具類等について 5. 実験準備(2):動物、試薬、使用器具類等について 6. 実験準備(3):動物、試薬、使用器具類等について 7. 実験実施(1) 8. 実験(2) 9. 実験(3) 10. 実験(4) 11. 実験(5) 12. 実験結果のまとめ(1)データをまとめる。 13. 実験結果のまとめ(2)データをまとめた後、プレゼンテーションを行う				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		
〔 成績評価方法 〕 研究計画の立て方(40%)、研究の実施内容(40%)、研究結果のまとめ方(20%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 提出したレポートについては、評価や指示を付して返却する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89122 〔 HDB4-001 〕

科目名	卒業論文Ⅰ		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 卒業研究において必要な専門知識と技術を習得し、論理的な論文を書くことができるようになる。 2. 卒業論文の内容を要約して説明することができるようになる。 [授業概要] 各自の研究テーマを設定し、研究計画立案、研究実施、論文執筆、発表に至るまでの専門知識と技術を習得する。 卒業論文Ⅰでは、研究課題遂行のために必要な研究の背景や関連文献などの下調べを行い、その課題遂行に必要な実験操作や調査手法を検討する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から研究テーマに関係するニュース等に関心を持つ。関連する新聞記事、雑誌等の切り抜きやコピーを積極的に収集すること。各回、予習復習合わせて2時間です。 [授業計画] 1. 研究倫理・行動規範、学術論文の種類と検索方法 2. 研究論文の検索・収集① 3. 研究論文の検索・収集② 4. 研究論文の検索・収集③ 5. 研究論文の検索・収集④ 6. 研究論文の検索・収集⑤ 7. 研究論文の検索・収集⑥ 8. 学内・学外セミナー参加 9. 論文発表および質疑応答① 10. 論文発表および質疑応答② 11. 実験・調査などの研究実施スケジュール検討① 12. 実験・調査などの研究実施スケジュール検討② 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 万里子		
〔 成績評価方法 〕 受講態度 (20%)、レポート課題 (80%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 レポートや論文の評価をkisslに提示する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89126 〔 HDB4-001 〕

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 学生の自由な発想に基づく学生独自の研究を、教員とともに有意義で実現可能なものに磨き上げたうえで、それに個々の学生が主体的に取り組むことによって、研究の考え方の基礎を学ぶ。 [授業概要] 食と健康に関する小規模の調査を通じて、疫学調査と分析の方法を学びます。やる気がある人は、学会発表可能なものに仕上げましょう。調査テーマは自由ですが、研究として相応しいものにアレンジする場合があります。調査方法も自由で、現場に出向いての聞き取り調査から、郵送法、インターネットによる調査まで、それぞれの長所・短所を理解したうえで選んでください。 調査には、簡単な実験を加えることもできます。たとえば、食品の塩分量やカロリーなどを測定し、アンケート結果をはじめとする他のデータと組み合わせることが可能です。 さらに、これらとは別に、大学院生等とともに私が研究室で行っている実験的研究(高血圧・循環器疾患の食事による予防)に参加することも可能です。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 食と健康に関して、普段から自分が興味があること、知りたいこと、確かめたいことなどを、ノートに出来るだけ多く書き出しておいてください。 [授業計画] 1. 研究の進め方1 2. 研究の進め方2 3. テーマの背景探究1 4. テーマの背景探究2 5. テーマの背景探究3 6. テーマ発表会1 7. テーマ発表会2 8. 調査・実験1 9. 調査・実験2 10. 調査・実験3 11. 調査・実験4 12. 調査・実験5 13. 学期のまとめ				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	栗原 伸公		
〔 成績評価方法 〕 試問(70%)、レポート(30%) 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 面談により、直接指導を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果、考察の内容の諮問 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究の実施内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89130 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 各種の調理器具、実験機器の使用方法、分析等の理論を理解する。 2. 自主的に課題について探求する考えかたを見つけ出す。 [授業概要] 以下の研究テーマを基本に実験をおこなう。 1. ジャガイモの品種と調理特性ーおいしいジャガイモの条件とは何かー 2. 過熱水蒸気オープン調理特性について 3. 真空調理法やクックチルシステムの利用とそれに伴って生じる諸問題の原因解明ならびに防止法の検討 4. 野菜・果物のもつおいしさの要因解析とおいしさの具体的な表現方法の検討 5. 食品の物性と調理性 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に渡す学術論文や参考図書の記載事項を十分読み込んでおくこと。また、1、2年時に行った各実験科目の手法とくに検量線の作成や滴定法、統計処理などを復習しておくこと。 [授業計画] 卒業論文1では論文の読み方やの書き方などをゼミで指導した後に、学生個々が興味あるテーマを選択・決定していく。テーマを決定するに当たって学生相互が話し合いを重ねお互いに学びあいながらテーマを絞っていく。テーマが決定すればテーマに添って学生各自が論文を作成するが、必要に応じて個別指導を行いながら期限内に作成出来るように指導する。また、参考文献として示した論文を読み、論文の書き方や実験手法などについて理解を深めることと並行して実験や調査を行う。 1. イントロダクション 2. 論文の読み方、書き方 3. 文献の調べ方 4. 実験器具や機器の扱い 5. テーマの選択 6. テーマに応じた研究計画の作成 7. 実験または調査1 8. 実験または調査2 9. 実験または調査3 10. 実験または調査4 11. 実験または調査5 12. 実験または調査6 13. 中間まとめ				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
〔成績評価方法〕 先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法〕 manabaを利用。 〔オフィスアワー（質問等の受付方法）〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔メールアドレス〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 〔この授業と関連する大学全体の教育目標〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について 取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。 〔教科書 (ISBN) 〕 〔参考書 (ISBN) 〕 書籍名:基礎化学実験安全オリエンテーション (DVD付き) 著者名:山口 和也 出版社名:東京化学同人 ISBN:9784807906666			

S89134 [HDB4-001]

科目名	卒業論文Ⅰ		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 卒業研究に主体的に取り組むことにより、課題解決に対して科学的根拠に基づいた結論を導き出す能力を修得する。 [授業概要] 次の項目に関連した自身の研究テーマを見つけるために論文検索を行い、研究背景を探る。研究計画を立てて主体的に取り組む。得られた研究結果を多角的に解釈が出来るように、考察の妥当性について討議を行い、報告会で発表する。 1. 給食経営管理実習の酸性電解水を用いた衛生管理に関する研究 2. 給食経営管理実習室の加熱調理機器、及び保温機器を用いた食品成分の変化に関する研究 3. 食と健康に関する調査研究 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養・食品に関する事象の重要点について日常的に記録、考察する。 [授業計画] 1. 卒業論文の書き方、卒業研究の進め方 2. 文献の検索方法、読み方 3. 研究テーマの探索1 4. 研究テーマの探索2 5. 研究テーマの探索3 6. 研究背景の探索、研究計画の立案1 7. 研究背景の探索、研究計画の立案2 8. 研究背景の探索、研究計画の立案3 9. 研究背景・計画を報告会にて発表、討議 1 10. 実験または調査1 11. 実験または調査2 12. 研究の進捗状況を報告会にて発表、討議2 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
〔 成績評価方法 〕 研究に取り組む姿勢(30%)、各報告会での発表・討議内容(40%)、提出レポート(30%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 レポート提出時にコメントを返します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89138 [HDB4-001]

科目名	卒業論文Ⅰ		後期	2 単位
サブタイトル	研究の進め方を知り、自分の中の疑問の種を見出し、卒業研究に当てはめる		演習	
担当者	清水 扶美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 卒業論文を完成させるまでの研究過程を通して、主体的に考える力、知識や考察を整理して表現する力を身につける [授業概要] 研究課題は自由に設定する。研究課題の設定、研究計画立案、実験・調査の実施、結果の考察、論文作成、研究発表などの方法を指導する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んだ知識や実験手技を整理し、卒業研究に活かせるように理解を深めておくこと。 日頃から、食品や栄養学、医療、健康などに関連する時事問題に興味を持つこと。 身近な環境の中で、ふと思った疑問について書き留め、それらについて科学的観点から考察する習慣をつけること。 [授業計画] 1. 研究の進め方と研究倫理 2. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会① 3. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会② 4. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会③ 5. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会④ 6. 研究課題と仮説の検討・ディスカッション① 7. 研究課題と仮説の検討・ディスカッション② 8. 研究計画発表① 9. 研究計画発表② 10. 実験・調査の実施① 11. 実験・調査の実施② 12. 実験・調査の実施③ 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	研究の進め方を知り、自分の中の疑問の種を見出し、卒業研究に当てはめる	演習	
担当者	清水 扶美		
〔 成績評価方法 〕 以下の項目を含む研究課題の背景に対する理解、抄読会や研究計画の発表などを主な評価対象とし、総合的に評価する。 ・抄読会に作成した資料や提出物(20%) ・研究に関する質疑応答の内容(60%) ・研究に対する取り組みや態度(20%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ゼミの中で、ディスカッションや解説を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:初めての栄養学研究論文 人には聞けない要点とコツ 著者名:日本栄養改善学会／監修 栄養学雑誌編集委員会／編集 赤松利恵／[ほか]著 出版社名:第一出版 ISBN:9784804112657			

S89150 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 臨床栄養に関する研究をする上で、文献検索や調査方法など論文作成に必要な能力を身につける。				
[授業概要] 管理栄養士の臨床における役割を知り、調査で得られたデータを分析し、栄養学的な観点から疾患についての臨床研究を行う。 1.臨床における食物アレルギー児の状況 2.栄養障害のスクリーニングについて 3.その他臨床栄養に関すること				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 主体的に研究を進めていけるように、食や栄養に関する情報を収集しておく。				
[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 論文構成と研究方法 3. 資料探索1 4. 資料探索2 5. 資料探索3 6. 資料検討1 7. 資料検討2 8. 資料検討3 9. 論文構成1 10. 論文構成2 11. 研究計画の作成 12. 研究計画の作成 13. 研究データの収集方法の検討				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
〔 成績評価方法 〕 課題レポート(50%)、課題への取り組み姿勢(50%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 適時に個別にて指導を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89154 〔 HDB4-001 〕

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 文献検索方法を習得する。研究目標、テーマの設定、研究デザイン等を学生自らが考え、計画できるようになる。 [授業概要] 研究テーマとその簡単な説明 特定給食施設における適切な栄養管理について(リスクマネジメント、アセスメント、食事調査等に関する研究) 論文の書き方などの概要をゼミで指導した後に、給食経営管理、栄養ケアマネジメントに関する論文について講読し、学生個々が興味あるテーマを選択・決定していく。 テーマを決定するに当たってディスカッションを重ね、学生相互が学びあいながらテーマを絞り、研究計画の立案をする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 特定給食施設における管理栄養士の役割及び給食経営管理論について、復習しておく。 文献講読により、論文の構成について理解する。 [授業計画] 1. 研究の進め方と研究倫理、研究の手法について 2. 研究テーマの検討 3. 文献の検索の仕方 4. 文献の読み方 5. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会① 6. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会② 7. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会③ 8. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会④ 9. 研究計画書の書き方 10. 研究計画書の作成① 11. 研究計画書の作成② 12. 研究計画発表① 13. 研究計画発表②				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西井 穂		
[成績評価方法] 研究態度 (30%)、質疑応答の内容 (30%)、抄読会の内容、および作成した資料や課題提出物等 (40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートについては、適宜授業の中で解説、講評する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書 (ISBN)] 書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし [参考書 (ISBN)] 書籍名:よくわかる卒論の書き方[第2版] 著者名:白井 利明 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623065721			

S89158 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	田村 奈緒子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 実験によって得られたDataから何が明らかになり、どのような可能性が考えられ、逆に言えないことは何かということを自ら解析できるようになる。論理的思考を身につける。 新しい事象に対し、その危険度、有益度を正確に推し量れるようになること。 [授業概要] 「食品に含まれる I 型アレルギー抑制機構の解明」 毎日摂取する食品によって I 型アレルギーを起こすマスト細胞の脱顆粒を抑制することができれば、花粉症、アトピー性皮膚炎の不快感を緩和することができるはずである。当研究室ではいくつか効果をもつ食品を見出した。そこで実験により以下のことを行なう。 ・脱顆粒抑制効果をもことが明らかになった食品に含有する有効成分を単離同定する。 ・各食品の脱顆粒抑制効果が数段階に及ぶ細胞内シグナル伝達のどの部位を抑制している結果なのかを明らかにする。 ・食物由来新規脱顆粒抑制物質を探索する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] アレルギー反応の分類、発生メカニズムを理解しておく。 活性酸素について人体に及ぼす影響や、起こりうる反応、生成する物質について今まで学んだ内容から総合的に考えてみる。 [授業計画] 1.当研究室の研究内容の過去の例などを紹介 2.当研究室の発表論文(英文)を輪読1 3.当研究室の発表論文(英文)を輪読2 4.当研究室の発表論文(英文)を輪読3 5.当研究室の発表論文(英文)を輪読4 6.各自卒論テーマに沿った論文の紹介1 7.各自卒論テーマに沿った論文の紹介2 8.各自卒論テーマに沿った論文の紹介3 9. 誤差と分析データの処理について 10. 実験手技見学 11. 滅菌操作実演 12. 卒論テーマおよび実験経過発表1 13. 卒論テーマおよび実験経過発表2				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		
〔 成績評価方法 〕 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 研究進行状況の発表報告 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 授業中にフィードバックの時間を設けるとともに個別の質問に応ずる。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 研究進行状況の発表報告 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 研究進行状況の発表報告 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 研究進行状況の発表報告 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 研究進行状況の発表報告 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 研究進行状況の発表報告 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 研究進行状況の発表報告 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 研究進行状況の発表報告 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 研究進行状況の発表報告 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 研究進行状況の発表報告 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 研究進行状況の発表報告 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 研究進行状況の発表報告 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 研究進行状況の発表報告 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解） 研究進行状況の発表報告 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89170 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル	卒業研究に向けて準備をする		演習	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 研究の目的を決定し、適切な研究デザインについて学生自らが考え、計画を立てる。 [授業概要] 研究テーマとその簡単な説明 地域や大学内の健康増進を進める一環として、第一次予防を実践するための効果的な方法を検討する。 地域での食育活動、学内の食環境整備、災害への備えなど対象者のアセスメントから見えてくる課題を抽出し、できれば実践方法まで考える。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマを決定するために、文献検索を行い優先課題を見つける。 各回、予習復習合わせて2時間程度。 [授業計画] 1. オリエンテーション、文献検索の方法・データベースの利用について 2. 抄読会① 研究の方法① 3. 抄読会② 4. 抄読会③ 研究の方法② 5. 抄読会④ 6. 抄読会⑤ 研究の方法③ 7. 抄読会⑥ 8. 抄読会⑦ 研究の方法④ 9. 抄読会⑧ 10. 抄読会⑨ 研究の方法⑤ 11. 抄読会⑩ 12. 研究テーマと先行研究発表 13. 研究テーマ検討				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	卒業研究に向けて準備をする	演習	
担当者	竹市 仁美		
〔 成績評価方法 〕 先行研究論文の報告内容(40%)、及び質疑応答の内容(研究背景の理解)等(20%) ゼミの取り組み(ボランティア)への取り組みや提案(40%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 各回授業を通して、フィードバックする。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:プレゼンの内容と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:プレゼンの内容と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:プレゼンの内容と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:献立の検討や施策を通して行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:検索論文の要約や理解考察より行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:担当する回のプレゼンテーションの内容を評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:質疑応答やボランティア計画作成時のグループワークを評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:担当する回のプレゼンテーションの内容を評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:担当する回のプレゼンテーションの内容を評価する。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:食育計画を通したグループ枠や作業分担を見る 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:合評や討議内容やその姿勢を見る 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:質疑応答への対応や他者との協調性 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーションの内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究テーマや食育計画についての進め方を通して 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:他者の意見を聞き、自分の考えを述べ、修正も加えることができるか。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:媒体作成やグループでの行動において、約束を守り遂行できるか 〔 教科書 (ISBN) 〕 書籍名:よくわかる論文の書き方(第2版) 著者名: 出版社名: ISBN:9784623065721 〔 参考書 (ISBN) 〕 書籍名:初めての栄養学研究論文 著者名: 出版社名:日本栄養改善学会 ISBN:9784804112657			

S89174 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究の基本的な考え方を学び、文献検索方法やデータのまとめ方を身につける。 [授業概要] 以下の項目に関する研究・調査を行う予定である。 1. 発酵調味料の調理特性に関する研究 2. 空豆の新規機能性と調理に関する研究 3. サクナ（長命草）の新規機能性と調理に関する研究 4. 粒度や品種の違う米粉を使った調理品の食味と物性に関する研究 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまでに学習した食品や調理に関連する知識や実験手法を整理しておいてください。 日頃から研究テーマに関する論文の検索を行い、情報を収集し、ノートに記録しておいてください。 [授業計画] 1. オリエンテーション(卒業研究の進め方) 2. 学術論文の基本構成について 3. 文献の検索方法 4. 研究テーマについて 5. 研究計画について 6. 論文の検索・情報収集1 7. 論文の検索・情報収集2 8. 論文の検索・情報収集3 9. 論文の検索・情報収集4 10. 論文発表1 11. 論文発表2 12. 論文発表3 13. 論文発表4				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
〔 成績評価方法 〕 先行研究論文の報告内容および質疑応答の内容、取り組み態度などにより総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 発表内容等については、毎回口頭で解説する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題・授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題・授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題・授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題・授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題・授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題・授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題・授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題・授業態度 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89178 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	甲斐 達男			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究がどのように実施されているかを、体験的に理解すること。 [授業概要] 研究テーマの立案、関係文献の収集・調査、研究計画(実験計画または調査計画)の策定、研究計画を確認・見直すための予備実験や予備調査の実施、という一連の流れを体験し、次のステップ(卒業論文Ⅱ)で研究を行う準備をします。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んできたことのなかで興味を惹かれたこと、調べてみたいと思ったことを、整理しておいてください。 [授業計画] 1. オリエンテーション 研究テーマの検討・立案(1) 2. 研究テーマの検討・立案(2) 3. 研究テーマの背景となる文献調査(1) 4. 研究テーマの背景となる文献調査(2) 5. 研究テーマの背景となる文献調査(3) 6. 研究テーマの背景となる文献調査(4) 7. 研究テーマの背景となる文献調査(5) 8. 実験計画または調査計画の策定(1) 9. 実験計画または調査計画の策定(2) 10. 実験計画または調査計画の策定(3) 11. 予備実験または予備調査の実施、研究計画の確認・見直し(1) 12. 予備実験または予備調査の実施、研究計画の確認・見直し(2) 13. 予備実験または予備調査の実施、研究計画の確認・見直し(3)				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
〔 成績評価方法 〕 レポート、発表・報告、質疑応答の内容を総合的に評価します。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 面談により、質疑応答で対応します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89182 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 卒業論文研究に必要な研究の進め方、論文検索方法、問題点の解決方法、プレゼンテーション方法などを身につける。 [授業概要] 研究テーマは以下の項目を予定している 1. パン品質改良効果とその機構に関する研究 2. 昆虫食に対する調理加工性に関する研究 3. 卵白メレンゲ(マカロン製造)に関する研究 4. 加熱殺菌条件が異なる脱脂粉乳のコロイド科学的性質に関する研究 5. 発酵調味料を用いた加工品に関する研究 6. 白味噌製造の製造方法の違いによる研究 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・再履修科目をなくし、卒業論文に集中できる体制にしておく。・各自の研究テーマに関する科学論文の検索を行い、日頃から収集、把握しておく。 実験計画をしっかりと組み立て、スケジュールを管理し、実験を行う。 実験後のデータは、速やかに整理し整えておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション(心構え、研究の進め方、研究倫理など) 2. 研究テーマと学術論文の基本構成について 3. 文献検索方法および論文紹介などセミナーについて 4. テーマの選択 5. 研究計画について 6. 学術論文の検索および収集1 7. 学術論文の検索および収集2 8. 学術論文の検索および収集3 9. 学術論文の検索および収集4 10. 学術論文の検索および収集5 11. 論文発表1 12. 論文発表2 13. 論文発表3 14. まとめ・中間発表				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
〔成績評価方法〕 マンスリーレポートの作成により、実験実施状況を報告すること。積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法〕 ゼミ活動内でディスカッションを行う。 〔オフィスアワー(質問等の受付方法)〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔メールアドレス〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 〔この授業と関連する大学全体の教育目標〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。			
〔教科書(ISBN)〕			
〔参考書(ISBN)〕			

S89186 [HDB4-001]

科目名	卒業論文Ⅰ		後期	2 単位
サブタイトル	卒業研究Ⅰ		演習	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	なし	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	なし	
その他	なし	実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 卒業研究では、大学にて学習したものを基盤とし、実験・研究などにおいて自ら行動する態度と思考力をもち、問題解決にあたり総合的判断力育成をする。 さらに、卒業論文を作成することにより論理的な文書作成能力を身につける。 [授業概要] 卒業研究では、栄養等によって、体の中で起こる生理反応の変化を、細胞・分子レベルで理解することを主たる目標とする。遺伝子発現制御には、転写因子による調節だけでなく、エピジェネティックな制御がある。これら制御を理解するには、反応の背景にあるタンパク質の機能制御が、重要な手がかりとなる。それに関する試験管内での研究も行う。なお、栄養の社会的意義についても考えようと試みる。 以下の項目に関連したテーマを各自が選択・決定し、そのテーマについて文献(英文・和文)検索、実験、調査等により研究を行い、得られた成果を卒業論文としてまとめる。 1)組換えタンパク質の発現、精製 2)タンパク質の機能解析 3)細胞を用いた機能解析 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 実験をする場合は、毎回実験結果等の内容を必ずまとめながら理解してください。その準備、片付けを行ってください。なお、不明な点は積極的に教員に質問してください。準備、片付け、並びに理解に合わせて各回、予習復習合わせて2時間程度です。また、関連する新聞記事、雑誌等があれば、積極的に収集し、日頃から「自然現象」に関心を持つようにしてください。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 研究テーマ・計画の立案① 3. 研究テーマ・計画の立案② 4. 研究テーマ・計画の立案③ 5. 実験・調査の実施① 6. 実験・調査の実施② 7. 実験・調査の実施③ 8. 実験・調査の実施④ 9. 実験・調査の実施⑤ 10. 実験・調査の実施⑥ 11. 実験・調査の実施⑦ 12. データ解析・研究結果のまとめ・考察① 13. データ解析・研究結果のまとめ・考察② 14. データ解析・研究結果のまとめ・考察③ 15. データ解析・研究結果のまとめ・考察④				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	卒業研究Ⅰ	演習	
担当者	末武 勲		

〔成績評価方法〕

受講態度(20%)、並びに卒業論文研究成果を評価(80%)によって判定する。

受講態度は、①研究課題の理解、課題を整理する能力、②情報管理能力、③課題解決能力、④論理的思考力、⑤コミュニケーション力の観点から総合的に評価する。

〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法〕

研究内容・成果についての報告の際に、直接適宜指導する。
また、必要に応じ、レポートや論文の評価をマナバに提示する。

〔オフィスアワー(質問等の受付方法)〕

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔メールアドレス〕

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)〕

学科DP番号／DP内容:管栄2ー1

／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的証拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している

成績評価方法:受講態度、レポート課題

学科DP番号／DP内容:管栄2ー2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力

を有している

成績評価方法:受講態度、レポート課題

学科DP番号／DP内容:管栄3ー4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味をもち、自ら学ぶ意欲を持っている。

成績評価方法:受講態度、レポート課題

学科DP番号／DP内容:管栄1ー3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している

成績評価方法:受講態度、レポート課題

学科DP番号／DP内容:管栄1ー2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。

成績評価方法:受講態度、レポート課題

〔この授業と関連する大学全体の教育目標〕

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出す能力

成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:レポート課題

〔教科書(ISBN)〕

〔参考書(ISBN)〕

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 興味ある研究文献を検索し、研究テーマを設定できる。 設定した研究テーマについて、研究計画を立てることができる。 研究計画に従って、研究が展開できる。 研究結果分析が適切に行える。 分析結果から適切な考察ができる。 研究成果を論文としてまとめることができる。 研究成果を基に、分かりやすいプレゼンができる。 [授業概要] 研究課題の設定、研究計画、研究の実施、分析、考察、論文化する等の作業を通し、課題に対する分析力、考察力、まとめる力等の総合力を身につけることを目的とする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 興味ある研究文献を複数報読み、現在までの研究到達点と今後の課題についてまとめて、発表準備をする(90分)。報告会で指摘された内容を再度修正する(90分)。 [授業計画] 第1回:オリエンテーション 興味ある研究等について文献検索し、新しい研究の展開を探る① 第2回:興味ある研究等について文献検索し、新しい研究の展開を探る② 一人ずつ、自分の研究課題について文献を引用して発表し、研究室グループ討議を行う 第3回:指摘された内容を修正し、研究テーマの設定を行う① 第4回:指摘された内容を修正し、研究テーマの設定を行う② 第5回:研究課題に沿った研究計画を考える① 第6回:研究課題に沿った研究計画を考える② 第7回:研究計画で重要な研究方法の予備研究を行う① 第8回:研究計画で重要な研究方法の予備研究を行う② 第9回:研究計画で重要な研究方法の予備研究を行う③ 第10回:研究計画に従って研究を実施する① 第11回:研究計画に従って研究を実施する② 第12回:研究計画に従って研究を実施する③ 第13回:中間発表(実施してきた内容をプレゼンする)				

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福田 典子		
[成績評価方法] 研究の展開、研究計画の設定力、研究計画力、研究実践力、研究結果分析力、考察力、論文にまとめる力等を総合的に評価(100%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 随時コミュニケーションをとってやり取りする [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:総合的に評価(100%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1 管栄2-2／健康、栄養、および食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 健康、栄養、および食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:総合的に評価(100%) 学科DP番号／DP内容:管栄3-1 管栄3-2 管栄3-3 管栄3-4／管理栄養士としての職務に対する責任感を身につけている。 管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:総合的に評価(100%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 研究についての基本的な考えを学び、研究課題に主体的に取り組むことによって、研究テーマに関する事項の知識を深め、論文作成を通じて論理的な考え方を身につける。 [授業概要] 1.患者さんが食事療法に取組めるようにサポートするために必要な事項をあらゆる角度から研究する。 2.食事療法の取組みが困難な患者さんについて、その原因を探り、どのようなサポートが必要かを研究していく。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関する事項について、資料を収集しておく。 各回の授業の事前準備とまとめに各2時間程度。 [授業計画] 1. 卒業論文の書き方 2. 文献検索の方法と収集 3. 研究課題設定のための情報収集① 4. 研究課題設定のための情報収集② 5. 研究課題設定のための情報収集③ 6. 研究課題設定のための情報収集④ 7. 収集した情報に対するアセスメント① 8. 収集した情報に対するアセスメント② 9. 収集した情報に対するアセスメント③ 10. 研究計画についてのディスカッション① 11. 研究計画についてのディスカッション② 12. 研究計画についてのディスカッション③ 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久永 文		
〔 成績評価方法 〕 研究への取り組み態度、研究計画内容により総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ・課題内容について、その都度指導を行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート課題 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89189 [HDB4-001]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	置村 康彦			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究がどのように行なわれているか理解し、自己のテーマに関して、新たな知見を付け加えることができる。				
[授業概要] 研究に参加することを通して、研究の方法、結果の評価・解釈、発表のしかたなどを指導します。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学習した知識を整理しておいてください。どのような物事に対しても「なぜか？」と問うように意識しましょう。再履修科目をなくし、卒業論文に集中できるようにしましょう。各回、実験等に費やす時間以外に、予習復習合わせて2時間程度の学修が必要です。				
[授業計画] 実験を中心に行う学生、文献調査を中心に行う学生に分け、卒業論文Ⅲにおいては、下記事項について指導する。 1. 研究計画の立案 2. 研究ノートの作成保存／文献整理 3. 実験の実際 1(抄読会1) 4. 実験の実際 2(抄読会2) 5. 実験の実際 3(抄読会3) 6. 実験の実際 4(抄読会4) 7. 実験の実際 5(抄読会5) 8. 実験の実際 6(抄読会6) 9. 実験の実際 7(抄読会7) 10. 実験の実際 8(抄読会8) 11. 実験の実際 9(抄読会9) 12. 実験の実際 10(抄読会10) 13. まとめ 文献系の学生では、実験でなく抄読会に重点を置く。				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容を主な評価対象とします。毎週、これら进行评估し、直接、口頭でフィードバック指導を行います。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 口頭でフィードバック指導 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究計画の基本的考え方を学び、実施によって実験技術を習得する。 [授業概要] A)コレステロール・胆汁酸の代謝および体内動態 コレステロールの体内動態はメタボリックシンドロームの指標として重要なものである。環境的要因の変化に対するコレステロールおよびその異化産物である胆汁酸代謝についてラットを用いて研究する。 B)腸内細菌による胆汁酸変換 二次胆汁酸であるデオキシコール酸は大腸癌の促進因子、またリコール酸は肝毒性に働く。このような有害な胆汁酸組成比を少なくすると同時に肝細胞保護作用や体内での発癌予防など多様な有効作用をもつウルソデオキシコール酸の合成を増加させる方法を、プロバイオティクスとして腸内細菌を利用して探索する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の演習について予習・復習6時間程度。 日頃からコレステロールおよび胆汁酸代謝に関連する、論文や総説に関心を持つこと。基本的な有機化学についても復習しておくこと。 [授業計画] 1. 卒業論文のテーマの決定 2. 研究内容に対する総論的レクチャー1 3. 研究内容に対する総論的レクチャー2 4. 研究計画書の作成 5. 卒業論文テーマ関連文献の収集1 6. 卒業論文テーマ関連文献の収集2 7. 実験1 8. 実験2 9. 実験3 10. 実験4 11. 実験5 12. 実験6 13. 実験7				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
〔 成績評価方法 〕 卒業研究に対する実施状況进行评估する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 各実験結果についてディスカッションを行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89218 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ		演習	
担当者	狩野 百合子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] ラットを用いる栄養実験を通して、食品中の非栄養素(エキストラバージンオリーブ油に含まれるポリフェノール)の機能について考え、考察する。 [授業概要] 「エキストラバージンオリーブ油によるラットの脂質代謝への影響」 オリーブ油の健康への有効な効果について調べるために、特にエキストラバージンオリーブ油と他の油脂(動物性油脂のラードあるいは植物性油脂の大豆油)を同時に摂取したときの脂質代謝(体熱産生)への影響について、カテコラミン分泌量、血液中脂質成分(トリグリセリド濃度、コレステロール濃度)及び、体脂肪量、褐色脂肪細胞(BAT)の脱共役蛋白質(UCP1)を測定し調べることにより検討する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し理解を深めて、次回の授業の準備をすること。 [授業計画] 1. 実験計画(1) 2. 実験計画(2) 3. 実験計画(3) 4. 実験準備(1):動物、試薬、使用器具類等について 5. 実験準備(2):動物、試薬、使用器具類等について 6. 実験準備(3):動物、試薬、使用器具類等について 7. 実験実施(1) 8. 実験(2) 9. 実験(3) 10. 実験(4) 11. 実験(5) 12. 実験結果のまとめ(1)データをまとめる。 13. 実験結果のまとめ(2)データをまとめた後、プレゼンテーションを行う				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		
〔 成績評価方法 〕 研究計画の立て方(40%)、研究の実施内容(40%)、研究結果のまとめ方(20%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 提出したレポートについては、評価や指示を付して返却する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89222 〔 HDB4-002 〕

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 卒業研究において必要な専門知識と技術を習得し、論理的な論文を書くことができるようになる。 2. 卒業論文の内容を要約して説明することができるようになる。 [授業概要] 各自の研究テーマを設定し、研究計画立案、研究実施、論文執筆、発表に至るまでの専門知識と技術を習得する。 卒業論文Ⅱでは、研究課題を遂行し、研究結果のデータ処理を行い、ゼミ内で開催する中間発表会での資料を作成し、発表・質疑応答を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から研究テーマに関係するニュース等に関心を持つ。関連する新聞記事、雑誌等の切り抜きやコピーを積極的に収集すること。各回、予習復習合わせて2時間です。 [授業計画] 1. 研究テーマ・計画の立案① 2. 研究テーマ・計画の立案② 3. 実験・調査の実施① 4. 実験・調査の実施② 5. 実験・調査の実施③ 6. 実験・調査の実施④ 7. 実験・調査の実施⑤ 8. データ解析・研究結果のまとめ① 9. データ解析・研究結果のまとめ② 10. 中間発表会のための資料作成① 11. 中間発表会のための資料作成② 12. 中間発表会、質疑応答 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 万里子		
〔 成績評価方法 〕 受講態度 (20%)、レポート課題 (80%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 レポートや論文の評価をkisslに提示する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89226 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 学生の自由な発想に基づく学生独自の研究を、教員とともに有意義で実現可能なものに磨き上げたうえで、それに個々の学生が主体的に取り組むことによって、研究の考え方の基礎を学ぶ。 [授業概要] 食と健康に関する小規模の調査を通じて、疫学調査と分析の方法を学びます。やる気がある人は、学会発表可能なものに仕上げましょう。調査テーマは自由ですが、研究として相応しいものにアレンジする場合があります。調査方法も自由で、現場に出向いての聞き取り調査から、郵送法、インターネットによる調査まで、それぞれの長所・短所を理解したうえで選んでください。 調査には、簡単な実験を加えることもできます。たとえば、食品の塩分量やカロリーなどを測定し、アンケート結果をはじめとする他のデータと組み合わせることが可能です。 さらに、これらとは別に、大学院生等とともに私が研究室で行っている実験的研究(高血圧・循環器疾患の食事による予防)に参加することも可能です。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 食と健康に関して、普段から自分が興味があること、知りたいこと、確かめたいことなどを、ノートに出来るだけ多く書き出しておいてください。 [授業計画] 1. 調査・実験1 2. 調査・実験2 3. 調査・実験3 4. 調査・実験4 5. 調査・実験5 6. 調査・実験6 7. 調査・実験7 8. 調査・実験8 9. 調査・実験9 10. 調査・実験10 11. 中間発表1 12. 中間発表2 13. 学期のまとめ				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	栗原 伸公		
〔 成績評価方法 〕 試験(50%)、レポート(10%)、発表会(40%) 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 面談により、直接指導を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89230 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 実験の手法や理論，研究の進め方について把握する。 2. 自主的に課題について探求する考え方を見つけ出す。 3. 研究テーマに応じた学術論文を探して読めるようになる。 [授業概要] 以下の研究テーマを基本に実験をおこなう。 1. ジャガイモの品種と調理特性ーおいしいジャガイモの条件とは何かー 2. 過熱水蒸気オーブンの調理特性について 3. 真空調理法やクックチルシステムの利用とそれに伴って生じる諸問題の原因説明ならびに防止法の検討 4. 野菜・果物のもつおいしさの要因解析とおいしさの具体的な表現方法の検討 5. 食品の物性と調理性 卒業論文Ⅱでは，卒業論文Ⅰで修得した実験手法や考え方をもとにさらに研究を進める。 また，卒業論文の作成に向けて，データの処理や解析についても学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関連する学術論文や図書を読んでおくこと。実験手法，検量線の作成方法，統計処理などを復習しておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 実験または調査1 3. 実験または調査2 4. 実験または調査3 5. 実験または調査4 6. 実験または調査5 7. 実験または調査6 8. 実験または調査7 9. 実験または調査8 10. 実験または調査9 11. 実験または調査10 12. データの処理 13. 中間まとめ				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
[成績評価方法] 研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。 [教科書 (ISBN)] [参考書 (ISBN)] 書籍名:基礎化学実験安全オリエンテーション(DVD付き) 著者名:山口 和也 出版社名:東京化学同人 ISBN:9784807906666			

S89234 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 卒業研究に主体的に取り組むことにより、課題解決に対して科学的根拠に基づいた結論を導き出す能力を修得する。 [授業概要] 次の項目に関連した自身の研究テーマを見つけるために論文検索を行い、研究背景を探る。研究計画を立てて主体的に取り組む。得られた研究結果を多角的に解釈が出来るように、考察の妥当性について討議を行い、報告会で発表する。 1. 給食経営管理実習の酸性電解水を用いた衛生管理に関する研究 2. 給食経営管理実習室の加熱調理機器、及び保温機器を用いた食品成分の変化に関する研究 3. 食と健康に関する調査研究 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養・食品に関する事象の重要点について日常的に記録、考察する。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 調査または実験1 3. 調査または実験2 4. 調査または実験3 5. 調査または実験4 6. 調査または実験5 7. 調査または実験6 8. 調査または実験7 9. 調査または実験8 10. 研究の進捗状況を報告会にて発表、討議1 11. 結果解析1 12. 結果解析2 13. 研究の進捗状況を報告会にて発表、討議2				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
〔 成績評価方法 〕 研究に取り組む姿勢(30%)、各報告会での発表・討議内容(40%)、提出レポート(30%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 レポート提出時にコメントを返します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による			
〔 教科書(ISBN) 〕			
〔 参考書(ISBN) 〕			

S89235 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル	実際に実験や調査を行い、得られた結果をどのように解釈するか、主体的に 考 え ラス		演習	
担当者	清水 扶美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 卒業論文を完成させるまでの研究過程を通して、主体的に考える力、知識や考察を整理して表現する力を身につける [授業概要] 研究課題は自由に設定する。研究課題の設定、研究計画立案、実験・調査の実施、結果の考察、論文作成、研究発表などの方法を指導する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んだ知識や実験手技を整理し、卒業研究に活かせるように理解を深めておくこと。 日頃から、食品や栄養学、医療、健康などに関連する時事問題に興味を持つこと。 身近な環境の中で、ふと思った疑問について書き留め、それらについて科学的観点から 考察する習慣をつけること。 [授業計画] 1. 中間報告会 2. 実験・調査の実施⑥ 3. 実験・調査の実施⑦ 4. 実験・調査の実施⑧ 5. 実験・調査結果の整理① 6. 実験・調査結果の整理② 7. 実験・調査結果の解析① 8. 実験・調査結果の解析② 9. 実験・調査結果の考察① 10. 実験・調査結果の考察② 11. 考察・参考文献のまとめ① 12. 考察・参考文献のまとめ② 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	実際に実験や調査を行い、得られた結果をどのように解釈するか、主体的に ゼミス	演習	
担当者	清水 扶美		
[成績評価方法] 以下の項目を含む実験・調査への取り組み、結果のまとめと考察などを主な評価対象とする。 ・実験・調査の取り組み(50%) ・結果の報告等に作成した資料や提出物(25%) ・研究に関する質疑応答の内容(25%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミの中で、ディスカッションや解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書 (ISBN)] [参考書 (ISBN)] 書籍名:初めての栄養学研究論文 人には聞けない要点とコツ 著者名:日本栄養改善学会／監修 栄養学雑誌編集委員会／編集 赤松利恵／〔ほか〕著 出版社名:第一出版 ISBN:9784804112657			

S89246 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

臨床栄養に関する研究の内容を確定し、研究計画を作成し、実施する。

[授業概要]

管理栄養士の臨床における役割を知り、調査で得られたデータを分析し、栄養学的な観点から疾患についての臨床研究を行う。

- 1.臨床における食物アレルギー
- 2.栄養障害
- 3.その他臨床栄養に関すること

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

自身の研究のテーマに関するガイドラインや論文を読み、論文作成に役立てる。

[授業計画]

- 1.オリエンテーション
- 2.論文構成と研究方法
- 3.資料探索
- 4.データ収集(1)
- 5.データ収集(2)
- 6.データ収集(3)
- 7.データ収集(4)
- 8.データ集計(1)
- 9.データ集計(2)
- 10.論文構成(1)
- 11.論文構成(2)
- 12.論文作成(1)
- 13.論文作成(2)

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
〔 成績評価方法 〕 レポート(50%)、論文作成に向けた調査等の取り組み(50%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 適時、ミーティング、または個別に指導をおこなう。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1 ／社会。環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題のレポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基礎にした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題のレポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基礎とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題のレポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、および食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:卒業論文作成への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、および食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と強調して行動でき、自らの考えを伝えることが出来る。 成績評価方法:調査のデータ収集やまとめる過程における取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:卒業論文作成の過程 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意思・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:調査等への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:調査等への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する。 成績評価方法:調査や論文作成への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文作成への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業論文 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業論文 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89250 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	田村 奈緒子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 実験によって得られたDataから何が明らかになり、どのような可能性が考えられ、逆に言えないことは何かということを自ら解析できるようになる。論理的思考を身につける。 新しい事象に対し、その危険度、有益度を正確に推し量れるようになること。 [授業概要] 「食品に含まれるⅠ型アレルギー抑制機構の解明」 毎日摂取する食品によってⅠ型アレルギーを起こすマスト細胞の脱顆粒を抑制することができれば、花粉症、アトピー性皮膚炎の不快感を緩和することができるはずである。当研究室ではいくつか効果をもつ食品を見出した。そこで実験により以下のことを行なう。 ・脱顆粒抑制効果をもつことが明らかになった食品に含有する有効成分を単離同定する。 ・各食品の脱顆粒抑制効果が数段階に及ぶ細胞内シグナル伝達のどの部位を抑制している結果なのかを明らかにする。 ・食物由来新規脱顆粒抑制物質を探索する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] アレルギー反応の分類、発生メカニズムを理解しておく。 活性酸素について人体に及ぼす影響や、起こりうる反応、生成する物質について今まで学んだ内容から総合的に考えてみる。 [授業計画] 1.基本的実験操作の学習1 2.卒論テーマに関連した論文を紹介 3.卒論テーマおよび実験経過発表1 4.卒論テーマおよび実験経過発表2 5.食品由来成分による抗アレルギー作用 6. 各自卒論テーマに沿って実験および報告1 7. 各自卒論テーマに沿って実験および報告2 8. 各自卒論テーマに沿って実験および報告3 9. 各自卒論テーマに沿って実験および報告4 10. 各自卒論テーマに沿って実験および報告5 11. 各自卒論テーマに沿って実験および報告6 12. 各自卒論テーマに沿って実験および報告7 13. 各自卒論テーマに沿って実験および報告8				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		
〔 成績評価方法 〕 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 授業中にフィードバックの時間を設けるとともに個別の質問に応ずる。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89266 〔 HDB4-002 〕

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		

〔到達目標〕

決定した研究テーマに関して、研究計画の基本的な考え方、実験技術を習得するとともに、研究を通して問題解決能力を身につける。

〔授業概要〕

設定した研究課題について実験計画の立案、実験によるデータ収集を行い、結果の解析を進めてまとめる。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

研究テーマに関する論文の検索を行い、情報を収集し、ノートに記録しておいてください。

実験に得られたデータをまとめ、研究ノート(グループ毎)に実験内容や結果を記載し、結果に対してしっかり考察をしてください。

〔授業計画〕

1. テーマの決定
2. 実験計画の立案①
2. 実験計画の立案②
4. 実験または調査の実施①
5. 実験または調査の実施②
6. 実験または調査の実施③
7. 実験または調査の実施④
8. 実験または調査の実施⑤
9. 実験または調査の実施⑥
10. 実験または調査の実施⑦
11. 実験または調査の実施⑧
12. 実験結果の整理および解析
13. まとめ、中間発表

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
〔 成績評価方法 〕 卒論研究に対する実施状況、データのまとめ方により総合的に判断する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 発表内容等については、毎回口頭で解説する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題・授業態度 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業態度 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89270 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	甲斐 達男			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究を遂行し、結果を評価し、研究方針の調整にフィードバックできる。 [授業概要] 卒業論文Ⅱでは、卒業論文Ⅰで準備した研究方針を踏まえて研究を進める。併行して、得られたデータの解析手法を学びながら卒業論文に掲載する図表の作成を進める。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関わる情報に気を配り、得られた情報の内容を十分に把握しましょう。必要があれば研究方針を調整しましょう。 [授業計画] 1. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(1) 2. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(2) 3. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(3) 4. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(4) 5. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(5) 6. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(6) 7. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(7) 8. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(8) 9. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(9) 10. 中間研究発表会の準備(1) 11. 中間研究発表会の準備(2) 12. 中間研究発表会の準備(3) 13. 中間研究発表会				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
〔 成績評価方法 〕 日常の質疑応答、研究に取り組む姿勢、中間発表、の内容を総合的に評価します。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 面談により、質疑応答で対応します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89278 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 決定した研究テーマについて、自ら実験計画を立て、研究を進めることができるようになる。 [授業概要] 決定した研究テーマに沿って、研究計画を立案する。それをもとに、データ収集、解析を行い、論文作成へと展開する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各自の研究テーマに関する科学論文の検索を行い、日頃から収集、把握しておく。 実験計画をしっかりと組み立て、スケジュールを管理し、実験を行う。 実験後のデータは、速やかに整理し、発表で用いることができる形に整えておくこと。 [授業計画] 1. 研究テーマ決定 2. 実験準備① 3. 実験準備② 4. 実験、データ収集① 5. 実験、データ収集② 6. 実験、データ収集③ 7. 実験、データ収集④ 8. 実験、データ収集⑤ 9. 実験、データ収集⑥ 10. 実験、データ収集⑦ 11. 実験、データ収集⑧ 12. 実験、データ収集⑨ 13. 実験、データ収集⑩ 14. 前期 まとめ 中間発表				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
〔 成績評価方法 〕 計画立案、実施内容、データのまとめ方を総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ゼミ活動内でディスカッションを行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験経過報告などを含むレポートの作成状況、積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89282 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 研究目標、研究デザイン等、学生が自ら考え、研究成果をまとめられること。 [授業概要] 研究課題の設定、研究計画立案、調査等の実施、結果の分析、考察、論文の作成方法について方法を学ぶ。ディスカッションを積極的に行い、結果を吟味し、様々な角度から検討をし考察する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 特定給食施設における管理栄養士の役割及び給食経営管理論について、復習しておく。 文献講読により、論文の構成について理解する。アンケート調査方法、統計手法、パラグラフ・ライティングなどの図書を講読する。 [授業計画] 1. 研究デザイン 2. 調査のポイント①(対象の設定、データ収集方法) 3. 調査のポイント②(データの取扱い) 4. 調査のポイント③(調査票の作成) 5. 中間報告会① 6. 調査の実施① 7. 調査の実施② 8. データ解析①(データ整理、入力方法) 9. データ解析②(グラフ、表の作成方法) 10. 調査結果の考察① 11. 調査結果の考察② 12. 中間報告会② 13. 論文の構成の仕方(パラグラフ・ライティング)				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西井 穂		
〔 成績評価方法 〕 研究計画の立て方、研究の実施内容(50%)、研究結果のまとめ方、考察の内容(50%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題やレポートについては、適宜授業の中で解説、講評する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:よくわかる卒論の書き方[第2版] 著者名:白井 利明 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623065721 書籍名:論理が伝わる世界標準の「書く技術」 「パラグラフ・ライティング」入門 著者名:倉島保美 出版社名:講談社 ISBN:9784062577939			

S89288 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル	卒論のための調査・実験を行う。		演習	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ・自らが興味のある卒業論文のテーマについて、何を明らかにしたいのかという目的を設定し、仮説をたてる。 ・仮説を検証するための調査方法や分析方法について研究計画書を作成する。 ・計画に沿って調査・実験を行う。 [授業概要] 卒業研究は、先行研究の論文から学び、その上で自分で考え他のゼミ生に協力や助言を仰ぐ中で、諦めずに一つの論文を作り上げてください。 特に、公衆栄養分野では準備や調査についてチームで協力することで、上手く進むことが多いため、常にコミュニケーションを心掛け、楽しく計画を実行していけるよう準備をしましょう。 結果がどうかよりも、熟考して調査や実験を進めていく過程が大切です。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] できるだけ多くの先行研究を検索してください。 また、経過を記録を残していくようにしてください。 [授業計画] 1. 研究計画書を仕上げる 2. 調査・実験① 3. 調査・実験② 4. 調査・実験③ 5. 中間報告会① 6. 調査・実験④ 7. 調査・実験⑤ 8. 結果集計① 9. 結果集計② 10. 分析と考察① 11. 分析と考察② 12. 中間報告会③ 13. 課題修正とまとめ				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	卒論のための調査・実験を行う。	演習	
担当者	竹市 仁美		
[成績評価方法] ・研究計画の実施状況・分析への取り組み方 (50%) ・中間発表会の内容助言や質疑応答 (30%) ・ゼミ生との協力態度 (20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 定期的な報告会以外に、個別での相談指導を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業研究への取り組み内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業研究への取り組み内容やプレゼン内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:食育計画時の提案内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:他者の意見を聞き入れ、その根拠を確認する姿勢 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:プレゼンテーション内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究計画やその評価法に対する考え方 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:授業で学んだことを、対象者に説明できている 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:自分の研究と、他者の研究への協力姿勢 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:ボランティア計画や研究を通して、将来への意識が醸成されているか 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:グループワークでの発言や食育の実行 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書 (ISBN)] [参考書 (ISBN)]			

S89289 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 卒業研究では、栄養等によって、体の中で起こる生理反応の変化を、細胞・分子レベルで理解することを主たる目標とする。遺伝子発現制御には、転写因子による調節だけでなく、エピジェネティックな制御がある。これら制御を理解するには、反応の背景にあるタンパク質の機能制御が、重要な手がかりとなる。それに関する試験管内での研究も行う。なお、栄養の社会的意義についても考えようと試みる。 [授業概要] 卒業論文は、大学にて学習したものを基盤とし、実験・研究などにおいて自ら行動する態度と思考力をもち、問題解決にあたり総合的判断力育成をする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の実験内容を必ずまとめながら理解する。不明な点は積極的に教員に質問し、日頃から「自然現象」に関心を持つこと。準備、片付け、並びに理解に合わせて4時間程度です。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 研究テーマ・計画の立案① 3. 研究テーマ・計画の立案② 4. 研究テーマ・計画の立案③ 5. 実験・調査の実施① 6. 実験・調査の実施② 7. 実験・調査の実施③ 8. 実験・調査の実施④ 9. 実験・調査の実施⑤ 10. データ解析・研究結果のまとめ・考察① 11. データ解析・研究結果のまとめ・考察② 12. データ解析・研究結果のまとめ・考察③ 13. データ解析・研究結果のまとめ・考察④				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	末武 勲		
〔 成績評価方法 〕 研究室内討論(20%)、並びに卒業論文研究成果を評価(80%)によって判定する。 具体的には、①研究課題の理解、課題を整理する能力、②情報管理能力、③課題解決能力、④論理的思考力、⑤コミュニケーション力の観点から指導・評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 研究内容・成果についての報告の際に、直接適宜指導する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。田記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書 (ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN: 〔 参考書 (ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:			

S89290 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 興味ある研究文献を検索し、研究テーマを設定できる。 設定した研究テーマについて、研究計画を立てることができる。 研究計画に従って、研究が展開できる。 研究結果分析が適切に行える。 [授業概要] 基本的に調査研究であるため、フィールドワークが主になります。管理栄養士として多職種と連携を伴う研究であることから、コミュニケーション能力を高めることができ、さらに対象者および対象集団へフィードバックを通して、栄養教育の楽しさ、行動変容の難しさなどを学びます。 研究課題の設定、研究計画、研究の実施、分析、考察、論文化する等の作業を通し、課題に対する分析力、考察力、まとめる力等の総合力を身につけることを目的としており、本科目は、管理栄養士養成課程のディプロマ・ポリシーに示されている内容について卒業研究を通して身に付けることを目的としています。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 幼児から高齢者、またスポーツ選手などの特殊環境に関する社会環境や生理学的調査内容などを復習し、そこから疑問に思ったことや知りたいことを書き留めておくこと。 [授業計画] 1. 研究テーマの設定1(興味ある研究等について文献検索し、新しい研究の展開を探る。 自分の研究課題について文献を引用して発表し、研究室グループ討議を行う。) 2. 研究テーマの設定2(同上) 3. 研究テーマの設定3(設定1、2で指摘された内容を修正し、研究テーマの設定を行う。) 4. 研究テーマの設定4(同上) 5. 研究計画1(研究課題に沿った研究計画を考える) 6. 研究計画2(同上) 7. 予備研究1(研究計画で重要な研究方法の予備研究を行う。) 8. 予備研究2(同上) 9. 予備研究3(同上) 10. 研究実施1(研究計画に従って研究を実施する。) 11. 研究実施2(同上) 12. 結果分析1(研究結果の分析を行う。) 13. 結果分析2(同上)				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福田 典子		
〔 成績評価方法 〕 計画立案、実施内容、データのまとめ方を総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 質問の都度対応。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による <			

S89291 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 研究についての基本的な考えを学び、研究課題に主体的に取り組むことによって、研究テーマに関する事項の知識を深め、論文作成を通じて論理的な考え方を身につける。 [授業概要] 1.患者さんが食事療法に取り組めるようにサポートするために必要な事項をあらゆる角度から研究する。 2.食事療法の取組みが困難な患者さんについて、その原因を探り、どのようなサポートが必要かを研究していく。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関する事項について、資料を収集しておく。 各回の授業の事前準備とまとめに各2時間程度 [授業計画] 1. 研究計画の立案① 2. 研究計画の立案② 3. 研究課題の情報収集① 4. 研究課題の情報収集② 5. 収集した情報に対するアセスメント① 6. 収集した情報に対するアセスメント② 7. 調査・研究の実施① 8. 調査・研究の実施② 9. 調査・研究の実施③ 10. 調査・研究の実施④ 11. データ解析① 12. データ解析② 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久永 文		
〔 成績評価方法 〕 研究への取り組み態度(40%)、論文内容(60%)により評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 その都度指導を行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:論文内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:論文内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:論文内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:取り組み態度、発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:取り組み態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:取り組み態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:取り組み態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:取り組み態度、論文内容 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89292 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	置村 康彦			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究がどのように行なわれていくか実際に体験し、1つの結果を得るまでにどのようなことがなされているか理解し、自己の研究テーマに関して、何らかの知見を付け加えることができる。 [授業概要] 研究に参加することを通して、研究の方法、結果の評価・解釈、発表のしかたなどを指導する。特に、Ⅲでは発表に重点を置く。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学習した知識を整理しておいてください。どのような物事に対しても「なぜか？」と問うように意識しましょう。再履修科目をなくし、卒業論文に集中できるようにしましょう。 [授業計画] 卒業論文Ⅲにおいては、下記事項について指導する。 1. 発表図譜の作成 1 2. 発表図譜の作成 2 3. 発表図譜の作成 3 4. 論文の書き方 1 5. 論文の書き方 2 6. 論文の書き方 3 7. 論文の書き方 4 8. 学会発表／プレゼンテーションのしかた 1 9. 学会発表／プレゼンテーションのしかた 2 10. 学会発表／プレゼンテーションのしかた 3 11. 卒論発表会予行演習 1 12. 卒論発表会予行演習 2 13. 卒論発表／質疑応答				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 毎週行う報告会での発表、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度を主な評価対象とする。研究の進展、発表内容に関して指導し、フィードバックを行う。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 口頭でフィードバック指導 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表内容、考察内容で評価 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究計画の基本的考え方を学び、実施によって実験技術を習得する。 [授業概要] A)コレステロール・胆汁酸の代謝および体内動態 コレステロールの体内動態はメタボリックシンドロームの指標として重要なものである。環境的要因の変化に対するコレステロールおよびその異化産物である胆汁酸代謝についてラットを用いて研究する。 B)腸内細菌による胆汁酸変換 二次胆汁酸であるデオキシコール酸は大腸癌の促進因子、またリコール酸は肝毒性に働く。このような有害な胆汁酸組成比を少なくすると同時に肝細胞保護作用や体内での発癌予防など多様な有効作用をもつウルソデオキシコール酸の合成を増加させる方法を、プロバイオティクスとして腸内細菌を利用して探索する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各演習について予習・復習6時間程度 日頃からコレステロールおよび胆汁酸代謝に関連する、論文や総説に関心を持つこと。基本的な有機化学についても復習しておくこと。 [授業計画] 1. 実験8 2. 実験9 3. データの検討 4. データの検討 5. 卒業論文テーマ関連文献の追加収集 6. 卒業論文作成 7. 卒業論文作成 8. 卒業論文作成 9. 卒業論文の発表準備 10. 卒業論文の発表準備 11. 卒業論文の質疑応答 12. 卒業論文の発表 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
〔 成績評価方法 〕 卒業研究に対する実施結果、論文内容、論文発表などを総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 卒業論文の添削を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89318 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ		演習	
担当者	狩野 百合子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] ラットを用いる栄養実験を通して、食品中の非栄養素(エキストラバージンオリーブ油に含まれるポリフェノール)の機能について考え、考察する。 [授業概要] 「エキストラバージンオリーブ油によるラットの脂質代謝への影響」 オリーブ油の健康への有効な効果について調べるために、特にエキストラバージンオリーブ油と他の油脂(動物性油脂のラードあるいは植物性油脂の大豆油)を同時に摂取したときの脂質代謝(体熱産生)への影響について、カテコラミン分泌量、血液中脂質成分(トリグリセリド濃度、コレステロール濃度)及び、体脂肪量、褐色脂肪細胞(BAT)の脱共役蛋白質(UCP1)を測定し調べることにより検討する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し理解を深めて、次回の授業の準備をすること。 [授業計画] 1. 実験計画(1) 2. 実験計画(2) 3. 実験計画(3) 4. 実験準備(1):動物、試薬、使用器具類等について 5. 実験準備(2):動物、試薬、使用器具類等について 6. 実験準備(3):動物、試薬、使用器具類等について 7. 実験実施(1) 8. 実験(2) 9. 実験(3) 10. 実験(4) 11. 実験(5) 12. 実験結果のまとめ(1)データをまとめ、論文にまとめる。 13. 実験結果のまとめ(2)データをまとめ、論文にまとめたものを発表会でプレゼンテーションを行う。				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		
〔 成績評価方法 〕 研究計画の立て方(40%)、研究の実施内容(40%)、研究結果のまとめ方(20%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 提出したレポートについては、評価や指示を付して返却する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記成績評価法により行う。 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89322 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 卒業研究において必要な専門知識と技術を習得し、論理的な論文を書くことができるようになる。 2. 卒業論文の内容を要約して説明することができるようになる。				
[授業概要] 各自の研究テーマを設定し、研究計画立案、研究実施、論文執筆、発表に至るまでの専門知識と技術を習得する。 卒業論文Ⅲでは、卒業研究Ⅱで行った研究の追加実験・実習を行い、すべての研究結果をデータ処理してまとめる。また、卒論発表会で発表・質疑応答を行うとともに、卒業論文を作成して提出する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から研究テーマに関係するニュース等に関心を持つ。関連する新聞記事、雑誌等の切り抜きやコピーを積極的に収集すること。各回、予習復習合わせて2時間です。				
[授業計画] 1. 追加実験・実習① 2. 追加実験・実習② 3. 追加実験・実習③ 4. 研究のまとめ・データ処理、論文作成① 5. 研究のまとめ・データ処理、論文作成② 6. 研究のまとめ・データ処理、論文作成③ 7. 研究のまとめ・データ処理、論文作成④ 8. 研究のまとめ・データ処理、論文作成⑤ 9. 研究のまとめ・データ処理、論文作成⑥ 10. 卒論発表会のための資料作成、準備① 11. 卒論発表会のための資料作成、準備② 12. 卒論発表会、卒業論文提出 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 万里子		
〔 成績評価方法 〕 受講態度 (20%)、レポート課題 (80%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 レポートや論文の評価をkisslに提示する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89326 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 学生の自由な発想に基づく学生独自の研究を、教員とともに有意義で実現可能なものに磨き上げたうえで、それに個々の学生が主体的に取り組むことによって、研究の考え方の基礎を学ぶ。				
[授業概要] 食と健康に関する小規模の調査を通じて、疫学調査と分析の方法を学びます。やる気がある人は、学会発表可能なものに仕上げましょう。調査テーマは自由ですが、研究として相応しいものにアレンジする場合があります。調査方法も自由で、現場に出向いての聞き取り調査から、郵送法、インターネットによる調査まで、それぞれの長所・短所を理解したうえで選んでください。 調査には、簡単な実験を加えることもできます。たとえば、食品の塩分量やカロリーなどを測定し、アンケート結果をはじめとする他のデータと組み合わせることが可能です。 さらに、これらとは別に、大学院生等とともに私が研究室で行っている実験的研究(高血圧・循環器疾患の食事による予防)に参加することも可能です。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 食と健康に関して、普段から自分が興味があること、知りたいこと、確かめたいことなどを、ノートに出来るだけ多く書き出しておいてください。				
[授業計画] 1. 内容検討会1 2. 内容検討会2 3. 追加調査・実験1 4. 追加調査・実験2 5. 追加調査・実験3 6. 追加調査・実験4 7. 研究のまとめ1 8. 研究のまとめ2 9. 卒論推敲演習1 10. 卒論推敲演習2(卒論提出) 11. 卒論発表会1(ゼミ内) 12. 卒論発表会2(ゼミ内) 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	栗原 伸公		
〔 成績評価方法 〕 試験(10%)、レポート(5%)、発表会(15%)、卒業論文(70%) 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 面談により、直接指導を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究結果のまとめ方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究計画の立て方 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究計画の立て方、考察の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89330 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1. 自主的に課題について探求する考えかたを見つけ出す。 2. 研究の手法やまとめ方を理解する。 3. 論文作成を通じて論理的な文書作成能力を身につける。 [授業概要] 以下の研究テーマを基本に実験をおこなう。 1. ジャガイモの品種と調理特性ーおいしいジャガイモの条件とは何かー 2. 過熱水蒸気オーブンの調理特性について 3. 真空調理法やクックチルシステムの利用とそれに伴って生じる諸問題の原因解明ならびに防止法の検討 4. 野菜・果物のもつおいしさの要因解析とおいしさの具体的な表現方法の検討 5. 食品の物性と調理性 卒業論文Ⅲでは、卒業論文ⅠおよびⅡで修得した実験手法や考え方を生かしつつ、さらに実験・研究を進め、卒業論文の作成およびプレゼンテーションを行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関係する学術論文や図書をよく読むこと。 [授業計画] 1. テーマに応じた実験または調査1 2. テーマに応じた実験または調査2 3. テーマに応じた実験または調査3 4. テーマに応じた実験または調査4 5. テーマに応じた実験または調査5 6. テーマに応じた実験または調査6 7. テーマに応じた実験または調査7 8. テーマに応じた実験または調査8 9. テーマに応じた実験または調査9 10. テーマに応じた実験または調査10 11. データ処理と考察1 12. 論文作成 13. 論文発表				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	演習		
担当者	後藤 昌弘		
〔 成績評価方法 〕 研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 manabaを利用。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:基礎化学実験安全オリエンテーション(DVD付き) 著者名:山口 和也 出版社名:東京化学同人 ISBN:9784807906666			

S89334 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 卒業研究に主体的に取り組むことにより、課題解決に対して科学的根拠に基づいた結論を導き出す能力を修得する。 [授業概要] 次の項目に関連した自身の研究テーマを見つけるために論文検索を行い、研究背景を探る。研究計画を立てて主体的に取り組む。得られた研究結果を多角的に解釈が出来るように、考察の妥当性について討議を行い、報告会で発表する。 1. 給食経営管理実習室の加熱調理機器、及び保温機器を用いた食品成分の変化に関する研究 2. 食と健康に関する調査研究 3. 給食経営管理実習の酸性電解水を用いた衛生管理に関する研究 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養・食品に関する事象の重要点について日常的に記録、考察する。 [授業計画] 1. 研究結果について発表、討議 2. 研究のまとめ 3. 論文作成について1 4. 論文作成について2 5. 卒業論文作成1 6. 卒業論文作成2 7. 卒業論文作成3 8. 卒業論文発表・プレゼンテーションについて1 9. 卒業論文発表・プレゼンテーションについて2 10. 研究のまとめを報告会にて発表、討議 11. 論文発表会の準備1 12. 論文発表会の準備2 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
〔 成績評価方法 〕 研究に取り組む姿勢 (30%)、各報告会での発表・討議内容 (30%)、提出レポート (40%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 レポート提出時にコメントを返します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89335 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル	主に卒論の執筆と発表です		演習	
担当者	清水 扶美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 卒業論文を完成させるまでの研究過程を通して、主体的に考える力、知識や考察を整理して表現する力を身につける [授業概要] 研究課題は自由に設定する。研究課題の設定、研究計画立案、実験・調査の実施、結果の考察、論文作成、研究発表などの方法を指導する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んだ知識や実験手技を整理し、卒業研究に活かせるように理解を深めておくこと。 日頃から、食品や栄養学、医療、健康などに関連する時事問題に興味を持つこと。 身近な環境の中で、ふと思った疑問について書き留め、それらについて科学的観点から考察する習慣をつけること。 [授業計画] 1. 考察の検討・ディスカッション① 2. 考察の検討・ディスカッション② 3. 論文作成① 4. 論文作成② 5. 論文作成③ 6. 論文作成④ 7. 論文作成⑤ 8. 研究発表・プレゼンテーション準備① 9. 研究発表・プレゼンテーション準備② 10. 研究発表・プレゼンテーション準備③ 11. 研究発表と質疑応答① 12. 研究発表と質疑応答② 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	主に卒論の執筆と発表です	演習	
担当者	清水 扶美		
〔 成績評価方法 〕 以下の項目を含む研究のまとめ、卒業論文の内容、発表態度などを主な評価対象とする。 ・論文執筆や発表のために作成した資料や提出物(75%) ・研究に関する質疑応答の内容(25%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ゼミの中で、ディスカッションや解説を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記の評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記の評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記の評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記の評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記の評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記の評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記の評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記の評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記の評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記の評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:初めての栄養学研究論文 人には聞けない要点とコツ 著者名:日本栄養改善学会／監修 栄養学雑誌編集委員会／編集 赤松利恵／[ほか]著 出版社名:第一出版 ISBN:9784804112657			

S89346 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

臨床栄養に関する調査の情報を生かし、論文を作成する。

[授業概要]

管理栄養士の臨床における役割を知り、調査で得られたデータを分析し、栄養学的な観点から疾患についての臨床研究を行う。

- 1.臨床における食物アレルギー児の栄養に関すること
- 2.栄養障害について
- 3.その他臨床栄養に関すること

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

主体的に研究を進めていけるように、食や栄養に関する情報を収集しておく。

[授業計画]

- 1.オリエンテーション
- 2.資料探索
- 3.資料検討
- 4.データ集約1
- 5.データ集約2
- 6.論文構成1
- 7.論文構成2
- 8.論文作成まとめ1
- 9.論文作成まとめ2
- 10.論文作成まとめ3
- 11.研究発表要旨作成
- 12.論文発表資料作成1
- 13.論文発表資料作成2

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[成績評価方法] 卒業論文(80%),取り組み姿勢(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 適時に個別にて指導を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文作成 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文作成 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:卒業論文作成 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:卒業論文 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:卒業論文発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:卒業論文 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:卒業論文作成課程での取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:卒業論文作成課程での取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:卒業論文 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:調査収集や論文作成への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文作成 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業論文作成 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業論文作成 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文作成の過程 [教科書 (ISBN)] [参考書 (ISBN)]			

S89350 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	田村 奈緒子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 実験によって得られたDataから何が明らかになり、どのような可能性が考えられ、逆に言えないことは何かということを自ら解析できるようになる。論理的思考を身につける。 新しい事象に対し、その危険度、有益度を正確に推し量れるようになること。 [授業概要] 「食品に含まれるⅠ型アレルギー抑制機構の解明」 毎日摂取する食品によってⅠ型アレルギーを起こすマスト細胞の脱顆粒を抑制することができれば、花粉症、アトピー性皮膚炎の不快感症状を緩和することができると考えられる。当研究室ではいくつか効果をもつ食品を見出した。そこで実験により以下のことを行なう。 ・脱顆粒抑制効果をもつことが明らかになった食品に含有する有効成分を単離同定する。 ・各食品の脱顆粒抑制効果が数段階に及ぶ細胞内シグナル伝達のどの部位を抑制している結果なのかを明らかにする。 ・食物由来新規脱顆粒抑制物質を探索する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] アレルギー反応の分類、発生メカニズムを理解しておく。 活性酸素について人体に及ぼす影響や、起こりうる反応、生成する物質について今まで学んだ内容から総合的に考えてみる。 [授業計画] 1. 実験経過発表1 2. 実験経過発表2 3. 実験経過発表3 4. 実験経過発表4 5. 各自卒論テーマに沿って実験および報告1 6. 各自卒論テーマに沿って実験および報告2 7. 各自卒論テーマに沿って実験および報告3 8. 各自卒論テーマに沿って実験および報告4 9. 内部締切10月1日に向けて卒論作成、提出討論 10. 追加実験報告および討論 11. 卒論作成提出 12. 発表会準備討論 13. 発表会リハーサル				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		
〔 成績評価方法 〕 研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 授業中にフィードバックの時間を設けるとともに個別の質問に応ずる。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89366 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究課題に関する研究方法、実施手法、結果をまとめ考察を通して、研究論文作成方法を身につける。 [授業概要] 研究課題の実験を進め、得られた結果を整理・解析し、結果を考察し、卒業論文発表会の資料準備および卒業論文を作成する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関する論文の検索を行い、情報を収集し、ノートに記録しておいてください。 実験結果をまとめ、研究ノートに方法や結果を記載し、考察をしてください。 [授業計画] 1. 実験または考察① 2. 実験または考察② 3. 研究のまとめ① 4. 研究のまとめ② 5. 卒業論文の作成① 6. 卒業論文の作成② 7. 卒業論文の作成③ 8. 卒業論文の作成④ 9. 卒業論文の作成⑤ 10. 卒業論文発表会の準備① 11. 卒業論文発表会の準備② 12. 卒業論文発表会の準備③ 13. 卒論発表会				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
[成績評価方法] 先行研究論文の報告内容および質疑応答の内容、取り組み態度などにより総合的に評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表内容等については、毎回口頭で解説する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題・授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題・授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業態度 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S89370 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	甲斐 達男			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 研究結果をとりまとめ、考察を通して研究論文の作成方法を身につける。 [授業概要] 卒業論文Ⅲでは、研究を推進し、得られた結果を卒業論文としてまとめ、卒業論文研究発表会で報告する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 卒業論文Ⅰ・Ⅱを通じて調査し収集してきた学術論文を体系的に整理し、その内容の理解に努めて卒業論文の作成に活かしましょう。 [授業計画] 1. 研究(実験または調査)結果の考察(1) 2. 研究(実験または調査)結果の考察(2) 3. 研究(実験または調査)結果の考察(3) 4. 卒業論文の作成(1) 5. 卒業論文の作成(2) 6. 卒業論文の作成(3) 7. 卒業論文の作成(4) 8. 卒業論文の作成(5) 9. 卒業論文の作成(6) 10. 研究発表会の準備(1) 11. 研究発表会の準備(2) 12. 研究発表会の準備(3) 13. 卒業論文研究発表会				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
〔 成績評価方法 〕 日常の質疑応答、研究に取り組む姿勢、研究発表の質、卒業論文の内容を総合的に評価します。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 面談により、質疑応答で対応します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89378 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 実験によって得られたデータを整理し、発表資料および卒業論文を作成する。				
[授業概要] 決定した研究テーマに沿って、研究計画を立案する。それをもとに、データ収集、解析、結果の評価、考察を行い、論文作成へと展開する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・実験データの整理 ・関連情報の事前収集 ・卒論発表会プレゼンテーション資料作成・卒業論文作成				
[授業計画] 1. 追加実験① 2. 追加実験② 3. データ、参考文献の整理、収集 4. 考察・まとめ① 5. 考察・まとめ② 6. 考察・まとめ③ 7. 考察・まとめ④ 8. 考察・まとめ⑤ 9. 考察・まとめ⑥ 10. 考察・まとめ⑦ 11. 総論原稿校閲 12. 卒論発表会プレゼンテーション ① 13. 卒論発表会プレゼンテーション② 14. 卒論発表会				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	演習		
担当者	宮本 有香		
〔 成績評価方法 〕 積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、 論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ゼミ活動内でディスカッションを行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89382 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 研究目標、研究デザイン等、学生が自ら考え、研究成果をまとめられること。				
[授業概要] 研究課題の設定、研究計画立案、調査等の実施、結果の分析、考察、論文の作成方法について方法を学ぶ。ディスカッションを積極的に行い、結果を吟味し、様々な角度から検討をし考察する。論文作成をする上で、論理的に伝える力を身につける。また、研究発表の方法、マナーについて指導をする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 特定給食施設における管理栄養士の役割及び給食経営管理論について、復習しておく。 文献講読により、論文の構成について理解する。アンケート調査方法、統計手法、パラグラフ・ライティング、プレゼンテーションに関する図書を講読する。				
[授業計画] 各自の研究テーマに沿って論文作成し、発表をする。				
1. 論文作成について 2. 卒業論文作成① 3. 卒業論文作成② 4. 卒業論文作成③ 5. 卒業論文作成④ 6. 中間発表 7. 卒業論文作成⑤ 8. 卒業論文作成⑥ 9. 卒業論文発表・プレゼンテーションについて 10. 論文発表会準備① 11. 論文発表会準備② 12. 論文発表会準備③ 13. 論文発表会・質疑応答、まとめ				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西井 穂		
〔 成績評価方法 〕 卒業論文の内容(60%)、卒業論文発表の内容と発表態度(40%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 授業中にフィードバックする。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:よくわかる卒論の書き方[第2版] 著者名:白井 利明 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623065721 書籍名:論理が伝わる世界標準の「書く技術」パラグラフ・ライティング入門 著者名:倉島保美 出版社名:講談社 ISBN:9784062577939			

S89388 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル	卒業論文の作成と発表		演習	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] ・研究結果がどのようなものであっても、その結果からわかったこと、わからなかったことを論文作成の手順に沿って文章に表現する。 ・取り組んだ各自の研究の成果を発表する。 ・他者から意見をもらい、課題を整理する。 ・発表によって得られた成果や学びをまとめる。				
[授業概要] 卒業研究は、先行研究の論文から学び、その上で自分で考え、他のゼミ生に協力や助言を仰ぐ中で、諦めずに一つの論文を作り上げてください。 特に、公衆栄養分野では準備や調査についてチームで協力することで、上手く進むことが多いため、常にコミュニケーションを心掛け、楽しく計画を実行していけるよう準備をしましょう。 結果がどうかよりも、熟考して調査や実験を進めていく過程が大切です。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・論文の書き方について、勉強する。 ・課題を解決のために、文献を検索する。 ・発表のためのパワーポイントについて学びを深める。				
[授業計画] 1. 卒業論文作成① 2. 卒業論文作成② 3. 卒業論文作成③ 4. 卒業論文作成④ 5. 卒業論文作成⑤ 8. 発表用パワーポイント作成 9. 卒業中間発表会 10. 追加資料情報収集・論文修正 11. 論文の修正 12. 卒論発表会 13. まとめ				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	卒業論文の作成と発表	演習	
担当者	竹市 仁美		
〔 成績評価方法 〕 ・論文の進め方と内容 (40%) ・発表の内容 (40%) ・試問 (20%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 定期的な報告会以外に、個別での相談指導を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:論文内容及びディスカッション 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ディスカッション 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ディスカッション 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ディスカッション 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ディスカッション 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ディスカッション 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ディスカッション 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ディスカッション 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ディスカッション 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89389 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	末武 勲		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 卒業研究では、栄養等によって、体の中で起こる生理反応の変化を、細胞・分子レベルで理解することを主たる目標とする。遺伝子発現制御には、転写因子による調節だけでなく、エピジェネティックな制御がある。これら制御を理解するには、反応の背景にあるタンパク質の機能制御が、重要な手がかりとなる。それに関する試験管内での研究も行う。なお、栄養の社会的意義についても考えようと試みる。 [授業概要] 卒業論文は、大学にて学習したものを基盤とし、実験・研究などにおいて自ら行動する態度と思考力をもち、問題解決にあたり総合的判断力育成をする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の実験内容を必ずまとめながら理解する。不明な点は積極的に教員に質問し、日頃から「自然現象」に関心を持つこと。準備、片付け、並びに理解に合わせて4時間程度です。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 研究のまとめ・論文作成① 3. 研究のまとめ・論文作成② 4. 研究のまとめ・論文作成③ 5. 研究のまとめ・論文作成④ 6. 研究のまとめ・論文作成⑤ 7. 研究のまとめ・論文作成⑥ 8. 研究のまとめ・論文作成⑦ 9. 研究のまとめ・論文作成⑧ 10. 論文発表会の準備① 11. 論文発表会の準備② 12. 論文発表会 13. まとめ			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	末武 勲		
〔 成績評価方法 〕 研究室内討論(20%)、並びに卒業論文研究成果を評価(80%)によって判定する。 具体的には、①研究課題の理解、課題を整理する能力、②情報管理能力、③課題解決能力、④論理的思考力、⑤コミュニケーション力の観点から指導・評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 研究内容・成果についての報告の際に、直接適宜指導する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN: 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:			

S89390 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	福田 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調査分析結果から適切な考察ができる。 研究成果を論文としてまとめることができる。 研究成果を基に、分かりやすいプレゼンができる。 研究成果を対象者および対象集団へフィードバックできる。 [授業概要] 基本的に調査研究であるため、フィールドワークが主になります。管理栄養士として多職種と連携を伴う研究であることから、コミュニケーション能力を高めることができ、さらに対象者および対象集団へフィードバックを通して、栄養教育の楽しさ、行動変容の難しさなどを学びます。 研究課題の設定、研究計画、研究の実施、分析、考察、論文化する等の作業を通し、課題に対する分析力、考察力、まとめる力等の総合力を身につけることを目的としており、本科目は、管理栄養士養成課程のディプロマ・ポリシーに示されている内容について卒業研究を通して身に付けることを目的としています。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 幼児から高齢者、またスポーツ選手などの特殊環境に関する社会環境や生理学的調査内容などを復習し、そこから疑問に思ったことや知りたいことを書き留めておくこと。 [授業計画] 1. 結果分析(研究結果の分析を行う。) 2. 結果分析と考察1(研究結果の分析と考察について検討する。) 3. 結果分析と考察2(同上) 4. 結果分析と考察3(同上) 5. 論文の作成1(個々人の研究論文の概枠を基に添削を行う。) 6. 論文の作成2(同上) 7. 論文の作成3(同上) 8. 論文の作成4(同上) 9. 論文の作成5(同上) 10. 研究成果発表原案の作成1(論文にまとめた研究内容を発表形式にまとめ直す。) 11. 研究成果発表原案の作成2(同上) 12. 研究発表(作成したプレゼンテーション原稿を基に研究発表を行う。) 13. 研究論文提出(発表時の質疑応答も踏まえた論文の修正と完成。)				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福田 典子		
〔 成績評価方法 〕 計画立案、実施内容、データのまとめ方を総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 質問の都度対応。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書 (ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN: 〔 参考書 (ISBN) 〕 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:			

S89391 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 研究についての基本的な考えを学び、研究課題に主体的に取り組むことによって、研究テーマに関する事項の知識を深め、論文作成を通じて論理的な考え方を身につける。 [授業概要] 1.患者さんが食事療法に取組めるようにサポートするために必要な事項をあらゆる角度から研究する。 2.食事療法の取組みが困難な患者さんについて、その原因を探り、どのようなサポートが必要かを研究していく。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関する事項について、資料を収集しておく。 各回の授業の事前準備とまとめに各2時間程度 [授業計画] 1. データ解析① 2. データ解析② 3. データ解析③ 4. 論文作成① 5. 論文作成② 6. 論文作成③ 7. 論文作成④ 8. 論文作成⑤ 9. 論文作成⑥ 10. 考察・まとめ① 11. 考察・まとめ② 12. プレゼンテーション準備 13. プレゼンテーション準備				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久永 文		
〔 成績評価方法 〕 研究への取組み態度(40%)、論文内容(50%)、発表内容(10%)により総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 その都度指導を行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:取組み態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、卒論内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、卒論内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、卒論内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:取組み態度、卒論内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:取組み態度、卒論内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S89392 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 実験によって得られたデータを整理し、発表資料および卒業論文を作成する。 [授業概要] 決定した研究テーマに沿って、研究計画を立案する。それをもとに、データ収集、解析、結果の評価、考察を行い、論文作成へと展開する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・実験データの整理 ・関連情報の事前収集 ・卒論発表会プレゼンテーション資料作成・卒業論文作成 [授業計画] 1. 追加実験① 2. 追加実験② 3. データ、参考文献の整理、収集 4. 考察・まとめ① 5. 考察・まとめ② 6. 考察・まとめ③ 7. 考察・まとめ④ 8. 考察・まとめ⑤ 9. 考察・まとめ⑥ 10. 考察・まとめ⑦ 11. 総論原稿校閲 12. 卒論発表会プレゼンテーション ① 13. 卒論発表会プレゼンテーション② 14. 卒論発表会				

科目名	卒業論文Ⅲ	前期	3 単位
サブタイトル	演習		
担当者	宮本 有香		
〔 成績評価方法 〕 積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、 論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ゼミ活動内でディスカッションを行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、論文内容、発表時の態度、質疑応答状況などについて総合的に評価する。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S89393 [HDB4-003]

科目名	調理科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。 [授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせて用いるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、データの扱いと参考文献の引用方法 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査と統計処理 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 * 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。			

科目名	調理科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [教科書(ISBN)] 書籍名:調理科学実験 著者名:長尾 慶子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906232 [参考書(ISBN)]			

S80700 [HDS3-001]

科目名	調理科学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。 [授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせて用いるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、データの扱いと参考文献の引用方法 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査と統計処理 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 * 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。			

科目名	調理科学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [教科書(ISBN)] 書籍名:調理科学実験 著者名:長尾 慶子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906232 [参考書(ISBN)]			

科目名	調理科学実験		後期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。 [授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせて用いるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、データの扱いと参考文献の引用方法 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査と統計処理 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 * 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。				

科目名	調理科学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [教科書(ISBN)] 書籍名:調理科学実験 著者名:長尾 慶子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906232 [参考書(ISBN)]			

科目名	調理科学実験		前期	1 単位
サブタイトル			実験	
担当者	後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。 [授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせて用いるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション、データの扱いと参考文献の引用方法 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査と統計処理 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 * 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。				

科目名	調理科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%) [教科書(ISBN)] 書籍名:調理科学実験 著者名:長尾 慶子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906232 [参考書(ISBN)]			

科目名	調理学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理の基礎となる考え方や基礎知識を学習するとともに食文化や食環境についても理解を深めることを目標とする。				
[授業概要] 調理を学ぶには、健康・栄養・嗜好・食文化などを考えて時代にあった食事計画ができる一方、食品の調理性を理解し、調理操作における食品の変化を科学的にとらえ、それを生かした調理ができるようになることが重要である。ここでは、その基礎となる考え方や基礎知識を学習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業までに細胞構造、化学式、高等学校家庭科で学習した調理の内容や方法などを再確認しておく。授業後はmanabaに掲載した資料を参考にして、キーワードや具体的な事象が説明できるように復習を行うこと。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修を行うこと。				
[授業計画] 1. 調理の意義, 調理学とは、調理の様式と食文化 2. 嗜好性とおしさ1 3. 嗜好性とおしさ2 4. 基本調理操作1ー基本調理操作, 食品の保存ー 5. 基本調理操作2ー非加熱調理 6. 基本調理操作3ー加熱調理 7. 植物性食品の調理特性と調理1 8. 植物性食品の調理特性と調理2 9. 植物性食品の調理特性と調理3 10. 動物性食品の調理特性と調理1 11. 動物性食品の調理特性と調理2 12. その他の食品の調理特性と調理 13. 新しい調理法と考え方				

科目名	調理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	後藤 昌弘		
[成績評価方法] 小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) [教科書(ISBN)] 書籍名:調理学 新版 著者名:鈴野弘子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906454 [参考書(ISBN)]			

S80670 [HDI1-002]

科目名	調理学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理の基礎となる考え方や基礎知識を学習するとともに食文化や食環境についても理解を深めることを目標とする。				
[授業概要] 調理を学ぶには、健康・栄養・嗜好・食文化などを考えて時代にあった食事計画ができる一方、食品の調理性を理解し、調理操作における食品の変化を科学的にとらえ、それを生かした調理ができるようになることが重要である。ここでは、その基礎となる考え方や基礎知識を学習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業までに細胞構造、化学式、高等学校家庭科で学習した調理の内容や方法などを再確認しておく。授業後はmanabaに掲載した資料を参考にして、キーワードや具体的な事象が説明できるように復習を行うこと。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修を行うこと。				
[授業計画] 1. 調理の意義, 調理学とは、調理の様式と食文化 2. 嗜好性とおしさ1 3. 嗜好性とおしさ2 4. 基本調理操作1ー基本調理操作, 食品の保存ー 5. 基本調理操作2ー非加熱調理 6. 基本調理操作3ー加熱調理 7. 植物性食品の調理特性と調理1 8. 植物性食品の調理特性と調理2 9. 植物性食品の調理特性と調理3 10. 動物性食品の調理特性と調理1 11. 動物性食品の調理特性と調理2 12. その他の食品の調理特性と調理 13. 新しい調理法と考え方				

科目名	調理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	後藤 昌弘		
[成績評価方法] 小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%) [教科書(ISBN)] 書籍名:調理学 新版 著者名:鈴野弘子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906454 [参考書(ISBN)]			

S80674 [HDI1-002]

科目名	調理学実習 I		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	眞木 優子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理学的な理論をふまえ、衛生面に細心の注意を払い、基礎知識や調理技術を修得する。 [授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、食素材の取り扱いや器具の使い方、調理の理論と技術を習得することを目的とする。 日本料理、西洋料理、中国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化について学び、テーブルマナーも身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をし、ノートを作成してください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、可能であれば実習後に復習を兼ねてお家で調理を行ってください。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 調理の基本① 3. 調理の基本② 4. 調理の基本③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ 授業の順番は、食材の購入状況により変更になる場合があります。				

科目名	調理学実習 I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	眞木 優子		
[成績評価方法] 試験 (40%)、毎週のレポート・課題 (50%)、授業態度 (10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 試験、毎週のレポート・課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 学科DP番号／DP内容: 管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 [教科書 (ISBN)] 書籍名: これからの調理 (第2版) 著者名: 新調理研究会 編 出版社名: オーム社 ISBN: 978-4-274-06942-0 書籍名: 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名: 女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学 部調理学研究室／監修 出版社名: 女子栄養大学出版部 ISBN: 978-4-7895-0325-9 書籍名: 必要に応じてプリントを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書 (ISBN)] 書籍名: New調理と理論 第二版 著者名: 山崎清子 他共著 出版社名: 同文書院 ISBN: 978-4-8103-1507-3 書籍名: 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名: 松崎政三 他編著 出版社名: 学際企画 ISBN: 9784906514861 書籍名: Nブック新版 調理学 著者名: 鈴野弘子、真部真里子 編著 出版社名: 建帛社 ISBN: 78-4-7679-0645-4			

S80680 [HDI1-003]

科目名	調理学実習 I		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理学的な理論をふまえ、衛生面に細心の注意を払い、基礎知識や調理技術を修得する。 [授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、食素材の取り扱いや器具の使い方、調理の理論と技術を習得することを目的とする。 日本料理、西洋料理、中国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化について学び、テーブルマナーも身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をし、ノートを作成してください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、可能であれば実習後に復習を兼ねてお家で調理を行ってください。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 調理の基本① 3. 調理の基本② 4. 調理の基本③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ 授業の順番は、食材の購入状況により変更になる場合があります。				

科目名	調理学実習 I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[成績評価方法] 試験 (40%)、毎週のレポート・課題 (50%)、授業態度 (10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 試験、毎週のレポート・課題、授業態度 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 学科DP番号／DP内容: 管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 [教科書 (ISBN)] 書籍名: これからの調理 (第2版) 著者名: 新調理研究会 編 出版社名: オーム社 ISBN: 978-4-274-06942-0 書籍名: 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名: 女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学 部調理学研究室／監修 出版社名: 女子栄養大学出版部 ISBN: 978-4-7895-0325-9 書籍名: 必要に応じてプリントを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書 (ISBN)] 書籍名: New調理と理論 第二版 著者名: 山崎清子 他共著 出版社名: 同文書院 ISBN: 978-4-8103-1507-3 書籍名: 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名: 松崎政三 他編著 出版社名: 学際企画 ISBN: 9784906514861 書籍名: Nブック新版 調理学 著者名: 鈴野弘子、真部真里子 編著 出版社名: 建帛社 ISBN: 78-4-7679-0645-4			

S80681 [HDI1-003]

科目名	調理学実習 I		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理学的な理論をふまえ、衛生面に細心の注意を払い、基礎知識や調理技術を修得する。 [授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、食素材の取り扱いや器具の使い方、調理の理論と技術を習得することを目的とする。 日本料理、西洋料理、中国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化について学び、テーブルマナーも身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をし、ノートを作成してください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、可能であれば実習後に復習を兼ねてお家で調理を行ってください。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 調理の基本① 3. 調理の基本② 4. 調理の基本③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ 授業の順番は、食材の購入状況により変更になる場合があります。				

科目名	調理学実習 I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[成績評価方法] 試験(40%)、毎週のレポート・課題(50%)、授業態度(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、毎週のレポート・課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:毎週のレポート・課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:毎週のレポート・課題、授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:毎週のレポート・課題、授業態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:これからの調理(第2版) 著者名:新調理研究会 編 出版社名:オーム社 ISBN:978-4-274-06942-0 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学 部調理学研究室／監修 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:978-4-7895-0325-9 書籍名:必要に応じてプリントを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:New調理と理論 第二版 著者名:山崎清子 他共著 出版社名:同文書院 ISBN:978-4-8103-1507-3 書籍名:映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎政三 他編著 出版社名:学際企画 ISBN:9784906514861 書籍名:Nブック新版 調理学 著者名:鈴野弘子、真部真里子 編著 出版社名:建帛社 ISBN:78-4-7679-0645-4			

S80682 [HDI1-003]

科目名	調理学実習 I		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	眞木 優子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理学的な理論をふまえ、衛生面に細心の注意を払い、基礎知識や調理技術を修得する。 [授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、食素材の取り扱いや器具の使い方、調理の理論と技術を習得することを目的とする。 日本料理、西洋料理、中国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化について学び、テーブルマナーも身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をし、ノートを作成してください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、可能であれば実習後に復習を兼ねてお家で調理を行ってください。 [授業計画] 1. オリエンテーション 2. 調理の基本① 3. 調理の基本② 4. 調理の基本③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ 授業の順番は、食材の購入状況により変更になる場合があります。				

科目名	調理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	眞木 優子		
[成績評価方法] 試験 (40%)、毎週のレポート・課題 (50%)、授業態度 (10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 試験、毎週のレポート・課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 学科DP番号／DP内容: 管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 毎週のレポート・課題、授業態度 [教科書 (ISBN)] 書籍名: これからの調理 (第2版) 著者名: 新調理研究会 編 出版社名: オーム社 ISBN: 978-4-274-06942-0 書籍名: 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名: 女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学 部調理学研究室／監修 出版社名: 女子栄養大学出版部 ISBN: 978-4-7895-0325-9 書籍名: 必要に応じてプリントを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書 (ISBN)] 書籍名: New調理と理論 第二版 著者名: 山崎清子 他共著 出版社名: 同文書院 ISBN: 978-4-8103-1507-3 書籍名: 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名: 松崎政三 他編著 出版社名: 学際企画 ISBN: 9784906514861 書籍名: Nブック新版 調理学 著者名: 鈴野弘子、真部真里子 編著 出版社名: 建帛社 ISBN: 78-4-7679-0645-4			

S80683 [HDI1-003]

科目名	調理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	岩田 美智子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理における基本的技術を応用することができる。 食品の調理による変化を科学的に理解し、実践できる。 望ましい調理方法や盛り付け方法について判断できる。 [授業概要] 調理学実習Ⅰで修得した調理技術を応用し、さらに複雑な調理操作を含む料理を作り、調理操作で生じる様々な食品の変化や調理特性を科学的に理解する。また、実際に作った料理について、味、調理方法、盛り付け方などを含めて相互に理解し、より良い食事を作るためにどのような対処が望ましいか、具体的に判断できるようにする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておいてください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、可能であれば実習後に復習を兼ねてお家で調理をしてください。 [授業計画] 1. オリエンテーション、栄養価計算 2. 日本料理① 3. 西洋料理① 4. 日本料理② 5. 西洋料理② 6. 中国料理① 7. 日本料理③ 8. 日本料理④ 9. 西洋料理③ 10. 西洋料理④ 11. 中国料理② 12. 中国料理③ 13. まとめ 実習の順番は、食材の入手状況により変更する場合があります。				

科目名	調理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	岩田 美智子		
[成績評価方法] 試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 試験回収後に解説をします。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容: 管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 試験、毎回のレポート・課題 学科DP番号／DP内容: 管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 毎回のレポート・課題 学科DP番号／DP内容: 管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 毎回のレポート・課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 毎回のレポート・課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:これからの調理 第2版 著者名:新調理研究会 編 出版社名:オーム社 ISBN:978-4-274-06942-0 書籍名:日本食品成分表2024 八訂 著者名:医歯薬出版 編 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70123-2 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学 部調理学研究室／監修 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:978-4-7895-0325-9 書籍名:必要に応じてプリントを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:NEW調理と理論 第二版 著者名:山崎清子 他共著 出版社名:同文書院 ISBN:978-4-8103-1507-3 書籍名:映像で学 調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎政三 他編著 出版社名:学際企画 ISBN:978-4-906514-86-1 書籍名:Nブック 新版 調理学 著者名:鈴野弘子、真部真里子 編著 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-0645-4			

S80685 [HDI2-001]

科目名	調理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	水野 和代			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理における基本的技術を応用することができる。 食品の調理による変化を科学的に理解し、実践できる。 望ましい調理方法や盛り付け方法について判断できる。 [授業概要] 調理学実習Ⅰで修得した調理技術を応用し、さらに複雑な調理操作を含む料理を作ることを目的とする。調理操作で生じる様々な食品の変化や調理特性を科学的に理解する、また、実際に作った料理について、味、調理方法、盛り付け方などを含めて相互に理解し、より良い食事を作るためにどのような対処が望ましいか、具体的に判断できるようにする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。 [授業計画] 1. オリエンテーション、栄養価計算 2. 日本料理① 3. 西洋料理① 4. 日本料理② 5. 西洋料理② 6. 中国料理① 7. 日本料理③ 8. 日本料理④ 9. 西洋料理③ 10. 西洋料理④ 11. 中国料理② 12. 中国料理③ 13. まとめ 実習内容の順番は食材の入手状況により、変更する場合があります。				

科目名	調理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	水野 和代		
[成績評価方法] 試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 ・試験の答案を回収後、解答の解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%) 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:毎回のレポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:毎回のレポート・課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:毎回のレポート・課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:【第2版】これからの調理 著者名:新調理研究会／編 オーム社開発局／企画編集 出版社名:オーム社 ISBN:9784274069420 書籍名:日本食品成分表2023 八訂 栄養計算ソフト・電子版付 著者名:医歯薬出版 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708408 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789503259 書籍名:必要に応じてプリントを配布する 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし [参考書(ISBN)]			

S80686 [HDI2-001]

科目名	調理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理における基本的技術を応用することができる。 食品の調理による変化を科学的に理解し、実践できる。 望ましい調理方法や盛り付け方法について判断できる。 [授業概要] 調理学実習Ⅰで修得した調理技術を応用し、さらに複雑な調理操作を含む料理を作り、調理操作で生じる様々な食品の変化や調理特性を科学的に理解する。また、実際に作った料理について、味、調理方法、盛り付け方などを含めて相互に理解し、より良い食事を作るためにどのような対処が望ましいか、具体的に判断できるようにする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておいてください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、可能であれば実習後に復習を兼ねてお家で調理をしてください。 [授業計画] 1. オリエンテーション、栄養価計算 2. 日本料理① 3. 西洋料理① 4. 日本料理② 5. 西洋料理② 6. 中国料理① 7. 日本料理③ 8. 日本料理④ 9. 西洋料理③ 10. 西洋料理④ 11. 中国料理② 12. 中国料理③ 13. まとめ 授業の順番は、食材の入手状況により変更する場合があります。				

科目名	調理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[成績評価方法] 試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、毎回のレポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:毎回のレポート・課題 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:毎回のレポート・課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポート・課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:毎回のレポート・課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:これからの調理 第2版 著者名:新調理研究会 編 出版社名:オーム社 ISBN:978-4-274-06942-0 書籍名:日本食品成分表2024 八訂 著者名:医歯薬出版 編 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70123-2 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学 部調理学研究室／監修 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:978-4-7895-0325-9 書籍名:必要に応じてプリントを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:NEW調理と理論 第二版 著者名:山崎清子 他共著 出版社名:同文書院 ISBN:978-4-8103-1507-3 書籍名:映像で学 調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎政三 他編著 出版社名:学際企画 ISBN:978-4-906514-86-1 書籍名:Nブック 新版 調理学 著者名:鈴野弘子、真部真里子 編著 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-0645-4			

S80687 [HDI2-001]

科目名	調理学実習Ⅲ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理に関する基礎知識や技術を応用できる。 おもてなし料理、行事食を作ることとで食文化を理解できる。 献立作成の基本を理解するとともに、献立作成の計画立案ができ、それらが実践できる。				
[授業概要] 「調理学実習Ⅰ」と「調理学実習Ⅱ」で修得した調理技術や理論をふまえ、季節に応じたおもてなしの料理や行事食を作ることとで食文化についての理解を深める。また、献立作成の基礎を学び、献立計画を立案し、計画に従って調理を行い、評価することとで基礎的な献立作成手法を理解する。実習を通し、献立作成の基礎力の修得を目指す。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておいてください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、指定された日時に提出してもらいます。また、献立作成実に関わる課題や資料(一式)は、ファイルにまとめる。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、献立作成の基本、献立作成① 2. 食材の計量と調理 3. 献立作成② 4. 自主献立実習① 5. 自主献立実習①の評価、お菓子とお茶① 6. 自主献立実習② 7. 自主献立実習②の評価、献立作成③ 8. 日本料理「お弁当仕立て」 9. 西洋料理「クリスマス料理」 10. 日本料理「お正月料理」 11. 自主献立実習③ 12. 自主献立実習③の評価、お菓子とお茶② 13. まとめ				
授業の順番は、食材の入手状況により変更になる場合があります。				

科目名	調理学実習Ⅲ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[成績評価方法] 試験(40%)、レポートおよび課題(50%)、授業態度(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:これからの調理(第2版) 著者名:新調理研究会 編 出版社名:オーム社 ISBN:978-4-274-06942-0 書籍名:日本食品成分表2024 八訂 著者名:医歯薬出版 編 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70123-2 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第 著者名:女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学部調理学研究室／監修 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:978-4-7895-0325-9 書籍名:必要に応じてプリンを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:NEW 調理と理論 第二版 著者名:山崎清子 他共著 出版社名:同文書院 ISBN:9784810315073			

科目名	調理学実習Ⅲ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理に関する基礎知識や技術を応用できる。 おもてなし料理、行事食を作ること食文化を理解できる。 献立作成の基本を理解するとともに、献立作成の計画立案ができ、それらが実践できる。				
[授業概要] 「調理学実習Ⅰ」と「調理学実習Ⅱ」で修得した調理技術や理論をふまえ、季節に応じたおもてなしの料理や行事食を作ること食文化についての理解を深める。また、献立作成の基礎を学び、献立計画を立案し、計画に従って調理を行い、評価することで基礎的な献立作成手法を理解する。実習を通し、献立作成の基礎力の修得を目指す。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておいてください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、指定された日時に提出してもらいます。また、献立作成実に関わる課題や資料(一式)は、ファイルにまとめる。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、献立作成の基本、献立作成① 2. 食材の計量と調理 3. 献立作成② 4. 自主献立実習① 5. 自主献立実習①の評価、お菓子とお茶① 6. 自主献立実習② 7. 自主献立実習②の評価、献立作成③ 8. 日本料理「お弁当仕立て」 9. 西洋料理「クリスマス料理」 10. 日本料理「お正月料理」 11. 自主献立実習③ 12. 自主献立実習③の評価、お菓子とお茶② 13. まとめ				
授業の順番は、食材の入手状況により変更になる場合があります。				

科目名	調理学実習Ⅲ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[成績評価方法] 試験(40%)、レポートおよび課題(50%)、授業態度(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:これからの調理(第2版) 著者名:新調理研究会 編 出版社名:オーム社 ISBN:978-4-274-06942-0 書籍名:日本食品成分表2024 八訂 著者名:医歯薬出版 編 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70123-2 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第 著者名:女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学部調理学研究室／監修 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:978-4-7895-0325-9 書籍名:必要に応じてプリンを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:NEW 調理と理論 第二版 著者名:山崎清子 他共著 出版社名:同文書院 ISBN:9784810315073			

科目名	調理学実習Ⅲ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 調理に関する基礎知識や技術を応用できる。 おもてなし料理、行事食を作ること食文化を理解できる。 献立作成の基本を理解するとともに、献立作成の計画立案ができ、それらが実践できる。				
[授業概要] 「調理学実習Ⅰ」と「調理学実習Ⅱ」で修得した調理技術や理論をふまえ、季節に応じたおもてなしの料理や行事食を作ること食文化についての理解を深める。また、献立作成の基礎を学び、献立計画を立案し、計画に従って調理を行い、評価することで基礎的な献立作成手法を理解する。実習を通し、献立作成の基礎力の修得を目指す。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておいてください。 実習後は課題に沿ってレポートを作成し、指定された日時に提出してもらいます。また、献立作成実に関わる課題や資料(一式)は、ファイルにまとめる。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、献立作成の基本、献立作成① 2. 食材の計量と調理 3. 献立作成② 4. 自主献立実習① 5. 自主献立実習①の評価、お菓子とお茶① 6. 自主献立実習② 7. 自主献立実習②の評価、献立作成③ 8. 日本料理「お弁当仕立て」 9. 西洋料理「クリスマス料理」 10. 日本料理「お正月料理」 11. 自主献立実習③ 12. 自主献立実習③の評価、お菓子とお茶② 13. まとめ				
授業の順番は、食材の入手状況により変更になる場合があります。				

科目名	調理学実習Ⅲ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[成績評価方法] 試験(40%)、レポートおよび課題(50%)、授業態度(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポートおよび課題、授業態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:これからの調理(第2版) 著者名:新調理研究会 編 出版社名:オーム社 ISBN:978-4-274-06942-0 書籍名:日本食品成分表2024 八訂 著者名:医歯薬出版 編 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70123-2 書籍名:調理のためのベーシックデータ 第 著者名:女子栄養大学調理学研究室 女子栄養大学短期大学部調理学研究室／監修 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:978-4-7895-0325-9 書籍名:必要に応じてプリンを配布 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:NEW 調理と理論 第二版 著者名:山崎清子 他共著 出版社名:同文書院 ISBN:9784810315073			

S80692 [HDI2-002]

科目名	特殊栄養学		前期	2 単位
サブタイトル	外部環境とスポーツの栄養学		講義	
担当者	小倉 嘉夫、清水 扶美、平田 庸子、竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 運動時の身体特性と栄養管理を説明できる。 2. 競技スポーツ、健康スポーツの現場でスポーツ栄養の課題に取り組み対応できるような応用力を身につける。 2. ストレス条件下における身体特性と栄養管理を説明できる。 3. 外部環境(高温、低温、高圧、低圧、無重力)下における身体特性と栄養管理を説明できる。 4. 災害時の栄養支援について説明できる。				
[授業概要]				
人のエネルギー・栄養素要求に影響する要因としてライフステージでの内部的環境以外に、運動や外部環境(ストレス、高温、低温、高圧、低圧、無重力)がある。人の健康は適切な運動・食事・休養が必要とされ、その中で運動はエネルギー・栄養素の要求が著しく変化する。さらに、ストレスや外部環境によっても変化する。そのような環境変化に対する栄養補給等について解説する。また、近年多くなった災害時の栄養支援についても解説する。特にスポーツ栄養学では、運動を行う一般人だけでなく運動選手にも適切な栄養指導				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
履修にあたり、基礎栄養学および運動生理学・解剖生理学を理解していることが必要であるため、復習を十分に行うこと。また、スポーツ栄養に関わる疑問等を積極的に調べ、質問をすることが大切である。各回の講義についての予習復習を行うこと(各回、予習復習合わせて4時間程度)。				
[授業計画]				
1. 序論(運動と生理の特徴)(小倉) 2. 運動と食事(アスリートのための最適な食事)(平田) 3. 試合前後の食事(平田) 4. 運動と食物摂取・献立計画(平田) 5. コンディショニング・減量と増量(平田) 6. 運動とサプリメント(平田) 7. スポーツ選手への栄養指導(平田) 8. アスリートへの献立発表 グループ(平田) 9. 災害時の栄養(竹市) 10. ストレスと栄養(清水) 11. 高温・低温環境と栄養(清水) 12. 高圧・低圧環境と栄養(清水) 13. 無重力環境と栄養及びテスト(清水)				

科目名	特殊栄養学	前期	2 単位
サブタイトル	外部環境とスポーツの栄養学	講義	
担当者	小倉 嘉夫、清水 扶美、平田 庸子、竹市 仁美		
[成績評価方法] 試験(50%)、課題・発表・レポート(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・試験後、解答の解説をします。 ・課題・レポートは授業内での解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／理論的に物事を理解し、結論を導き出せる能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート [教科書(ISBN)] 書籍名:応用栄養学 第6版 著者名:木戸 康博 出版社名:講談社サイエンティフィク ISBN:9784065180440 書籍名:スポーツ栄養学 著者名:田中 紀子 出版社名:化学同人 ISBN:9784759819052 [参考書(ISBN)]			

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	楠田 瑞穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解し、化学における基礎知識を習得する。 管理栄養士になるための必須科目(管理栄養士のための化学、生化学等)の内容が理解できる力を身につける。 化学の知識を活用し、人体の仕組みが理解できるようになる。			
[授業概要] 化学の基礎を学ぶことで、これから修得する生化学や栄養学、食品加工学などの分野の基礎をつくる。「物質の構成と構成粒子」では、物質を構成している粒子やそれらの結合の仕組みと種類、溶液の濃度(モル濃度を含む)を、「物質の変化」では、酸・塩基の性質、pHと塩、酸化・還元反応などを学習する。さらに、この基礎的な内容を踏まえ、栄養士にとっては大切な「有機化合物」についても学習する。ここでは、具体的に有機化合物の特徴などの基礎的な部分を学び、化学への理解を深めることとする。 本講義は、化学の基礎基本を中心とした内容のため、高校段階で「化学基礎」の理解に自信のない学生および高校の「化学」を履修しなかった学生を対象としています。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業の単元の終わりにまとめを行います。授業のノートと合わせて見直すことで内容の定着を心がけてください。わかりにくい用語や内容などがあれば、質問をしてください。			
有機化学の内容は、食品学の内容(化学的な部分)にリンクした授業となります。本授業で学んだことを基礎食品学などの関連授業でも活かせるように、関連するところは重点的に復習(予習・復習を合わせて1時間程度)してください。			
[授業計画] 1. 「オリエンテーション」 「物質の構成と構成粒子」 原子とその構造・種類、原子の電子配置、価電子とその役割 2. イオンとその電子配置、陽イオンと陰イオン 3. 元素の周期律と周期表 典型元素・遷移元素、金属元素・非金属元素 4. 化学結合の種類とその特徴(Ⅰ) イオン結合、イオン結晶と組成式 5. 化学結合の種類とその特徴(Ⅱ) 共有結合、共有結合でできた物質の表し方、金属結合 6. 原子量・分子量 7. 物質質量(モル)、固体の溶解度、溶液の濃度(質量%濃度・モル濃度) 8. 化学式、化学反応式、イオン反応式、化学変化の量的関係 9. 「物質の変化」 酸および塩基の性質・定義・強弱 電離と水素イオン・水酸化物イオンの濃度、水溶液のpHと指示薬 10. 「有機化合物 糖」 有機化合物の特徴と分類 11. 「有機化合物 脂質」 有機化合物の特徴と分類 12. 「有機化合物 蛋白質」 有機化合物の特徴と分類 13. 「有機化合物 核酸」 有機化合物の特徴と分類 理解度確認テストの実施 ただし、授業の進行状況や理解度により内容・順序は変更になることがあります。			

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	楠田 瑞穂		
〔 成績評価方法 〕 理解度確認試験 80%、授業態度 20%で評価します 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 特にありません。その代わりに、毎授業の最後にその日のまとめを行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:基礎からのやさしい化学―ヒトの健康と栄養を学ために― 著者名:田島真 編者 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-4635-1 〔 参考書(ISBN) 〕			

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	楠田 瑞穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解し、化学における基礎知識を習得する。 管理栄養士になるための必須科目(管理栄養士のための化学、生化学等)の内容が理解できる力を身につける。 化学の知識を活用し、人体の仕組みが理解できるようになる。			
[授業概要] 化学の基礎を学ぶことで、これから修得する生化学や栄養学、食品加工学などの分野の基礎をつくる。「物質の構成と構成粒子」では、物質を構成している粒子やそれらの結合の仕組みと種類、溶液の濃度(モル濃度を含む)を、「物質の変化」では、酸・塩基の性質、pHと塩、酸化・還元反応などを学習する。さらに、この基礎的な内容を踏まえ、栄養士にとっては大切な「有機化合物」についても学習する。ここでは、具体的に有機化合物の特徴などの基礎的な部分を学び、化学への理解を深めることとする。 本講義は、化学の基礎基本を中心とした内容のため、高校段階で「化学基礎」の理解に自信のない学生および高校の「化学」を履修しなかった学生を対象としています。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業の単元の終わりにまとめを行います。授業のノートと合わせて見直すことで内容の定着を心がけてください。わかりにくい用語や内容などがあれば、質問をしてください。			
有機化学の内容は、食品学の内容(化学的な部分)にリンクした授業となります。本授業で学んだことを基礎食品学などの関連授業でも活かせるように、関連するところは重点的に復習(予習・復習を合わせて1時間程度)してください。			
[授業計画] 1. 「オリエンテーション」 「物質の構成と構成粒子」 原子とその構造・種類、原子の電子配置、価電子とその役割 2. イオンとその電子配置、陽イオンと陰イオン 3. 元素の周期律と周期表 典型元素・遷移元素、金属元素・非金属元素 4. 化学結合の種類とその特徴(Ⅰ) イオン結合、イオン結晶と組成式 5. 化学結合の種類とその特徴(Ⅱ) 共有結合、共有結合でできた物質の表し方、金属結合 6. 原子量・分子量 7. 物質質量(モル)、固体の溶解度、溶液の濃度(質量%濃度・モル濃度) 8. 化学式、化学反応式、イオン反応式、化学変化の量的関係 9. 「物質の変化」 酸および塩基の性質・定義・強弱 電離と水素イオン・水酸化物イオンの濃度、水溶液のpHと指示薬 10. 「有機化合物 糖」 有機化合物の特徴と分類 11. 「有機化合物 脂質」 有機化合物の特徴と分類 12. 「有機化合物 蛋白質」 有機化合物の特徴と分類 13. 「有機化合物 核酸」 有機化合物の特徴と分類 理解度確認テストの実施 ただし、授業の進行状況や理解度により内容・順序は変更になることがあります。			

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	楠田 瑞穂		
〔 成績評価方法 〕 理解度確認試験 80%、授業態度 20%で評価します 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 特にありません。その代わりに、毎授業の最後にその日のまとめを行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:基礎からのやさしい化学―ヒトの健康と栄養を学ために― 著者名:田島真 編者 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-4635-1 〔 参考書(ISBN) 〕			

S82101 [HDI1-007]

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 中学校高等学校での生物分野既習内容について自信を持って説明できるようになる。「管理栄養士のための生物」ほか関連の必修科目で扱う内容について主体的に学ぶことができる。「食べること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を通して説明できるようになる。 [授業概要] 栄養学を学ぶ学生にとって必要な生物学の基礎的事項を概観する。ワークショップやディスカッションなど考え表現する活動を毎回取り入れ、仲間と共に学ぶことにより、食と栄養に関係する生物学の内容について興味関心を深める。断片的な暗記事項ではなく論理的に「しくみ」としてストーリーを持って理解することを重視する。高校で「生物」を履修していない学生、「生物基礎・生物」の履修はしたが「生物」の受験勉強をしていない学生は、本授業の選択を強く勧める。また、生物分野の理解をワークショップを通して深めたい学生であれば、高校での「生物」履修や受験勉強の有無は問わない。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] KISSから教材を入手し、コメントシートの精読、教科書と資料の精読、重要用語抽出など準備に40分程度を要する。授業後は、振り返りカードを提出する。 [授業計画] 1. 特別生物に取り組むにあたって／細胞を構成する物質 2. 細胞～生命の基本単位 3. 細胞の分化と個体～ヒトの組織、器官 4. DNAの構造と遺伝子 5. 遺伝子の発現～セントラルドグマ 6. タンパク質の働き、代謝と酵素 7. 食べたものはどこへ行くのか～同化と異化、消化管と肝臓 8. エネルギーとATPの生産 9. 体液の循環と心臓、体液の濃度と腎臓 10. 恒常性の維持～内分泌系とホルモン／自律神経による調節 11. 刺激の受容と感覚 12. からだを守る～免疫 13. まとめ～生物としてのヒトと食 ※KISSのチェックを怠らないように。教材の配布と重要な連絡はKISSから行います。 ※スマホでクリッカーなどKISSの機能を使います。PCとスマホを併用できるように準備しておくこと。 ※必修の「管理栄養士のための生物」の教科書を必ず持参すること。 ※本科目は理解を形成するための活動を軸に展開します。必修の講義にしっかり取り組むこととセットで効果が上がります。			

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[成績評価方法] 各回授業中と授業後のweb提出課題(クリッカー、ワークショップレポート、振り返りカードなど)50% 中間レポート20% 最終レポート課題30% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業で提出する振り返りカードなどの課題についてはコメントシートを作成してKISSシステムで共有し、必要に応じて授業中にもコメントする。活動中の質問については授業中に適宜対応する。中間レポートについてはKISS経由でコメントする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記の成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田 久子 出版社名:化学同人 ISBN:9784759820539 [参考書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113625 書籍名:生理学・生化学につながるていねいな化学 著者名:白戸亮吉 出版社名:羊土社 ISBN:9784758121002 書籍名:生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:石堂 一巳 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524241828			

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 中学校高等学校での生物分野既習内容について自信を持って説明できるようになる。「管理栄養士のための生物」ほか関連の必修科目で扱う内容について主体的に学ぶことができる。「食べること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を通して説明できるようになる。 [授業概要] 栄養学を学ぶ学生にとって必要な生物学の基礎的事項を概観する。ワークショップやディスカッションなど考え表現する活動を毎回取り入れ、仲間と共に学ぶことにより、食と栄養に関係する生物学の内容について興味関心を深める。断片的な暗記事項ではなく論理的に「しくみ」としてストーリーを持って理解することを重視する。高校で「生物」を履修していない学生、「生物基礎・生物」の履修はしたが「生物」の受験勉強をしていない学生は、本授業の選択を強く勧める。また、生物分野の理解をワークショップを通して深めたい学生であれば、高校での「生物」履修や受験勉強の有無は問わない。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] KISSから教材を入手し、コメントシートの精読、教科書と資料の精読、重要用語抽出など準備に40分程度を要する。授業後は、振り返りカードを提出する。 [授業計画] 1. 特別生物に取り組むにあたって／細胞を構成する物質 2. 細胞～生命の基本単位 3. 細胞の分化と個体～ヒトの組織、器官 4. DNAの構造と遺伝子 5. 遺伝子の発現～セントラルドグマ 6. タンパク質の働き、代謝と酵素 7. 食べたものはどこへ行くのか～同化と異化、消化管と肝臓 8. エネルギーとATPの生産 9. 体液の循環と心臓、体液の濃度と腎臓 10. 恒常性の維持～内分泌系とホルモン／自律神経による調節 11. 刺激の受容と感覚 12. からだを守る～免疫 13. まとめ～生物としてのヒトと食 ※KISSのチェックを怠らないように。教材の配布と重要な連絡はKISSから行います。 ※スマホでクリッカーなどKISSの機能を使います。PCとスマホを併用できるように準備しておくこと。 ※必修の「管理栄養士のための生物」の教科書を必ず持参すること。 ※本科目は理解を形成するための活動を軸に展開します。必修の講義にしっかり取り組むこととセットで効果が上がります。			

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[成績評価方法] 各回授業中と授業後のweb提出課題(クリッカー、ワークショップレポート、振り返りカードなど)50% 中間レポート20% 最終レポート課題30% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業で提出する振り返りカードなどの課題についてはコメントシートを作成してKISSシステムで共有し、必要に応じて授業中にもコメントする。活動中の質問については授業中に適宜対応する。中間レポートについてはKISS経由でコメントする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記の成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田 久子 出版社名:化学同人 ISBN:9784759820539 [参考書(ISBN)] 書籍名:解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 著者名:志村二三夫 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113625 書籍名:生理学・生化学につながるていねいな化学 著者名:白戸亮吉 出版社名:羊土社 ISBN:9784758121002 書籍名:生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:石堂 一巳 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524241828			

科目名	ハワイクアキニ病院実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	田村 奈緒子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 日本での病院実習の成果をもとに、このクアキニ病院実習により、 ①病院食を提供するシステムにおける日本の病院との違いを学ぶ。 ②職場における価値観の日本との相違を学ぶ。例えば、病院で働くさまざまな職種の人たちが、互いに敬意を持って責任を分担し、透明性のある明るい職場を築こうと努力している現場を体験する。 ③ハワイにおけるCase Studyを通じて、医療現場における管理栄養士の役割についての考えを深める。④学生は、語学の上達ばかりではなく、アメリカの社会を体験することにより、真の国際感覚を身につける。 を到達目標とする [授業概要] 実習に参加する前に、日常会話程度の英語力と簡単な医用英語の習得、およびアメリカ社会の国際感覚を習得する。実習の1週目は、Food Departmentにおいて、病院食の献立から配膳まで、クアキニ病院のスタッフの指導を受ける。2週目は、Case Studyに参加し、実際に患者と面談後、実習生の栄養指導の方針をプレゼンテーションして、医師と管理栄養士の評価を受ける。帰国後は、礼状送付を行うとともに、同級生、下級生向けの報告会で発表する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日常会話程度の語学の習得。アメリカ社会の国際感覚を学んでおくこと。 [授業計画] 1 実習の概要 2 臨床医学現場での基礎的な専門英語 3 実習と現地滞在に対する諸注意／自己紹介及び実習課題英文の作成 4. クアキニ病院で実習 (Food Department) 5. クアキニ病院で実習 (Food Department) 6. クアキニ病院で実習 (Food Department) 7. クアキニ病院で実習 (Food Department) 8. クアキニ病院で実習 (Food Department) 9. クアキニ病院で実習 (Case Study) 10. クアキニ病院で実習 (Case Study) 11. クアキニ病院で実習 (Case Study) 12. 実習の詳細についての報告及び議論／英語による御礼状作成 13. 実習成果報告会とその準備				

科目名	ハワイクアキニ病院実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	田村 奈緒子		
〔 成績評価方法 〕 クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 クアキニ病院による評価を基にディスカッションを行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につなげる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:クアキニ病院による評価、報告会の結果 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。 〔 教科書 (ISBN) 〕 〔 参考書 (ISBN) 〕			

S83000 [HDI3-026]

科目名	被服衛生学		前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康		講義	
担当者	深沢 太香子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	生理的データの分析・評価	実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 環境に応じた被服の選択、着衣方法について、ヒトの衛生・生理的な観点から基礎的な概念を理解・修得する。そして、快適かつ健康・安全な衣服の着方を日常生活に反映・応用する力を修得する。 [授業概要] 乳幼児から高齢者など、様々な特徴を示すヒトが、健康・安全で快適な衣生活を送るために、望ましい着衣を正しく理解することは重要である。そこで、本授業では、人体の生理機能を確認し、それらが着衣によって受ける影響について解説する。さらに、被服の持つ多様な機能や様々な生活環境や生活シーンとの相互関係についても解説する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容を復習しながら理解するために、ミニペーパー課題を提出することがある。 ・次回講義での教科書範囲を指示するので予習を4時間程度行う。 ・講義に関連するニュースや情報を積極的に収集するように日頃から心掛ける。各自で収集した情報をテーマとしたレポートを課題として提出することがある。 [授業計画] 1. オリエンテーション、衣服の快適性と健康 2. 衣服に関する人体生理I: 体温調節 3. 衣服に関する人体生理II: 体熱平衡 4. ヒトと温熱環境 5. 衣服による気候調節I: 熱移動 6. 衣服による気候調節II: 水分移動 7. 衣服による圧迫 8. 衣服と身体の動き 9. 衣服の汚れと皮膚障害 10. 乳幼児・子どもと衣服 11. 高齢者と衣服 12. 各種の被服と機能 13. まとめ				

科目名	被服衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康	講義	
担当者	深沢 太香子		
[成績評価方法] 試験(60%)、課題(レポートなど)(40%)により総合評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出課題にコメントを付して返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:家政2-1／社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:試験と課題(レポートなど)より評価。 学科DP番号／DP内容:家政2-2／社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:試験と課題(レポートなど)より評価。 学科DP番号／DP内容:家政3-3／責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:課題(レポートなど)より評価。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への積極性、試験と課題(レポートなど)から評価。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験と課題(レポートなど)より評価。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への積極性、試験と課題(レポートなど)から評価。 [教科書(ISBN)] 書籍名:衣環境の科学 著者名:田村照子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767910475 [参考書(ISBN)] 書籍名:アパレルと健康 基礎から進化する衣服まで 著者名:日本家政学会被服衛生学部会／編 出版社名:井上書院 ISBN:9784753023226			

科目名	被服管理学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	花田 美和子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	授業内小テスト・課題	実務経験のある教員による授業		
[到達目標] ・被服の洗浄理論を理解し、素材に応じた適切な管理方法を選択することができる。 ・染料と染色機構を理解し、変退色と染色堅ろう度について説明することができる。 ・着用と管理によって生じたトラブルの原因と対処方法を考えることができる。				
[授業概要] 日常の被服の手入れや季節ごとの保管から最終的な廃棄に至るまでを取り扱います。特に、被服管理の中心となる洗濯について科学的な視点から解説します。また、被服の染色と繊維の加工についても学びます。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テキストの当該箇所を読んで予習し、配布資料等で復習をしてください。課題を出すこともあります。合計4時間程度				
[授業計画] 1. 衣服の汚れと洗濯用水 2. 洗剤の種類と変遷、環境問題 3. 洗剤の成分と界面活性剤のはたらき 4. エルダー、家庭洗濯と洗濯機 5. 漂白と増白、しみぬき 6. 陽イオン界面活性剤と柔軟剤 7. 保管、商業クリーニング 8. 取り扱い表示とリサイクル 9. 染色と染料 10. 染色の方法、伝統染色 11. 変退色と染色堅ろう度 12. 色に関わるトラブル、繊維加工 13. まとめ				

科目名	被服管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	花田 美和子		
[成績評価方法] 試験(60%)小テスト・課題(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時またはmanabaにておこないます。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:家政1-3／人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価による 学科DP番号／DP内容:家政2-2／社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価による 学科DP番号／DP内容:家政3-1／社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価による [教科書(ISBN)] 書籍名:改訂被服整理学 著者名:牛田智ほか 出版社名:一般社団法人日本衣料管理協会 ISBN:なし [参考書(ISBN)] 書籍名:染色加工学 著者名:牛田智 出版社名:一般社団法人衣料管理協会 ISBN:なし			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 種々の疾病は、成り立ちからいくつかのカテゴリーに分類することができる。その成り立ちについて理解し、主な疾病の症状、所見、診断について説明することができる。 [授業概要] 病理学とは、病気がどうして起こるのか明らかにする学問です。そこには栄養学的事項もかなり関与しており、栄養障害が病気の原因にもなることもあります。その点に注意し、栄養学的な観点からも解説します。 正常の機能の破綻によって病気が起こるのですから、病気の成り立ちを知ることによって、本来、生体がもっている仕組みがよりいっそう明確になってきます。みなさんも病理学を勉強することによって、生理学をも、さらに深く理解できるものと考えています。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとおしておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。 [授業計画] 1. イントロダクション/臨床検査/病理組織学の方法/退行性病変 2. 循環障害 3. 進行性病変 4. 炎症 5. 免疫I/免疫のしくみ 6. 免疫Ⅱ/アレルギー・免疫不全・自己免疫疾患 7. 感染症I/細菌(リケッチア、クラミジアを含む)・ウィルスの性質とそれによる感染症 8. 感染症Ⅱ/真菌・原虫・寄生虫の特徴とそれによる感染症 9. 腫瘍 10. 代謝異常 11. 先天異常 12. 老化と死 13. まとめ			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:はじめの一歩の病理学 第2版 著者名:深山正久／編 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-2084-5 書籍名:新しい免疫入門第2版 著者名:審良静男ほか 出版社名:講談社 ISBN:978-4-06-535747-7			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 種々の疾病は、成り立ちからいくつかのカテゴリーに分類することができる。その成り立ちについて理解し、主な疾病の症状、所見、診断について説明することができる。 [授業概要] 病理学とは、病気がどうして起こるのか明らかにする学問です。そこには栄養学的事項もかなり関与しており、栄養障害が病気の原因にもなることもあります。その点に注意し、栄養学的な観点からも解説します。 正常の機能の破綻によって病気が起こるのですから、病気の成り立ちを知ることによって、本来、生体がもっている仕組みがよりいっそう明確になってきます。みなさんも病理学を勉強することによって、生理学をも、さらに深く理解できるものと考えています。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとおしておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。 [授業計画] 1. イントロダクション/臨床検査/病理組織学の方法/退行性病変 2. 循環障害 3. 進行性病変 4. 炎症 5. 免疫Ⅰ/免疫のしくみ 6. 免疫Ⅱ/アレルギー・免疫不全・自己免疫疾患 7. 感染症Ⅰ/細菌(リケッチア、クラミジアを含む)・ウィルスの性質とそれによる感染症 8. 感染症Ⅱ/真菌・原虫・寄生虫の特徴とそれによる感染症 9. 腫瘍 10. 代謝異常 11. 先天異常 12. 老化と死 13. まとめ			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:クイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:はじめの一歩の病理学 第2版 著者名:深山正久／編 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-2084-5 書籍名:新しい免疫入門第2版 著者名:審良静男ほか 出版社名:講談社 ISBN:978-4-06-535747-7			

科目名	フードコーディネート論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	宮本 有香、橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] T.P.O.に合わせたテーブルコーディネートについて理解を深める				
[授業概要] フードスペシャリストは、食の流通や消費の場面で、食べ物の官能評価や識別ができるとともに、料理を提供する場面で、快適な食事ができるように料理、メニュー、食卓、食空間を含めた食(フード)のコーディネートを行う。このような食の分野の専門職を養成することを目的として、オムニバス講義により学習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習は、授業範囲のテキストに目を通し、復習は、「フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集」を用いて合わせて4時間程度行うこと。 また、デパートに赴き、食事空間を整えるための食料品売り場、食器、特に特選食器売り場、カトラリー、テーブルウェア、漆器、卓上の生花アレンジメントなどを実際に丁寧にしておく。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、フードコーディネートの基本理念(宮本) 2. 食事の文化(宮本) 3. 食卓のコーディネート(橋本多美子) 4. 食卓のサービスとマナー①(橋本多美子) 5. 食卓のサービスとマナー②(橋本多美子) 6. テーブルコーディネート①(橋本多美子) 7. メニュープランニング(橋本多美子) 8. 食空間のコーディネート(橋本多美子) 9. フードサービスマネジメント(学外講師) 10. 食企画の実践コーディネート①(学外講師) 11. 食企画の実践コーディネート②(学外講師) 12. テーブルコーディネート②(橋本多美子) 13. テーブルマナー講習会(於ホテル)(宮本/橋本多美子) (* テーブルマナー講習会は状況に応じて変更する可能性があります) 14. 試験(宮本)				

科目名	フードコーディネート論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香、橋本 多美子		
[成績評価方法] 試験(60%) 課題など提出物(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験は終了後、復習できるよう解答を開示します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 定期試験および課題などの提出物 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 定期試験および課題などの提出物 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 定期試験および課題などの提出物 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題などの提出状況および講習会への参加状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 定期試験および課題などの提出物 [教科書(ISBN)] 書籍名:フードコーディネート論 三訂 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社名:建帛社 ISBN:9784767904405 書籍名:フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集2025年度版 著者名:日本フードスペシャリスト協会 出版社名:建白社 ISBN:9784767907888 [参考書(ISBN)]			

科目名	フードスペシャリスト論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	宮本 有香、後藤 昌弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	○	実務経験のある教員による授業		
[到達目標] フードスペシャリスト資格認定試験に合格する。				
[授業概要] フードスペシャリストとは、生産・流通・消費されている多種多様な食商品についての知識を身につけ、消費者ニーズと個別製品としての適合性を図り、消費者満足の増大と産業の発展に貢献することを職務とする新しい職業である。そこで、このフードスペシャリストの持つ専門性と食の専門家として現代の食生活に果たすべき役割を概要するとともに、フードスペシャリストとして必要とされる＜食＞の専門知識をオムニバス講義により学習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 調理学、食品学、食品加工学、栄養学、食品衛生学等関連する科目の関係事項を予習しておく。 各回、予習復習合わせて4時間程度。 予習は、授業範囲のテキストに必ず目を通しておくこと。 復習は、教科書である「フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集」の授業内容範囲の問題を用いて、復習すること。				
[授業計画] 1.オリエンテーション・模擬試験(宮本) 2.フードスペシャリストとは(宮本) 3. 人類と食物(宮本) 4. 世界の食(宮本) 5. 日本の食(宮本) 6. 現代日本の食生活①(宮本) 7. 現代日本の食生活②(宮本) 8. 食品産業の役割(後藤) 9. 食品の品質規格と表示①(新任教員) 10. 食品の品質規格と表示②(新任教員) 11. 食品の品質規格と表示③(後藤) 12. 食情報と消費者保護(新任教員) 13. 食品の消費と流通(後藤) 14. 試験(宮本)				

科目名	フードスペシャリスト論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香、後藤 昌弘		
[成績評価方法] 試験(100%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後、復習できるよう解答を開示します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 定期試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 定期試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 模擬試験の出席状況 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 定期試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:四訂 フードスペシャリスト論(第7版) 著者名:公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会 出版社名:建帛社 ISBN:978767907147 書籍名:四訂 食品の消費と流通 著者名:公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会公益社団法人 日本フードスペシャリス ト協会 出版社名:建帛社 ISBN:9784767906874 書籍名:フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集 2025年版 著者名:公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会 出版 社名:建帛社 ISBN:9784767907888 [参考書(ISBN)]			

S82220 [HDI3-017]

科目名	保育学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標]			
1. 乳幼児の心身の発達について理解する 2. 乳幼児とその養育者との関係性の発達について理解する 3. 乳幼児の健康が障害された(病気やケガ)時のケアの方法を理解できる 4. 子育てに課題を抱える養育者に対する支援のあり方を考えることができる			
[授業概要]			
助産師・看護師の実務経験のある教員から、保育の対象である胎児期から就学前までの子どもの発達過程を、生涯発達の観点から解説するとともに、「子どもの社会性」などの発達にとって極めて重要な乳幼児期の対人関係のあり方・遊びの意味なども検討する。また、乳幼児の健康(病気と家庭内での看護、予防接種)や安全(家庭内での事故防止など)管理の重要性を説明する。さらに、保育をめぐる現状と課題(マルトリートメント、ひとり親家庭や貧困家庭、育児不安や産後うつ、待機児童、発達障害など)を家庭での養育・保育サービス資源・地域子育て支援という視点から解説する。これらとは別に、乳幼児の観察を通して、現代の子どもを取り巻く社会や環境が、子どもの発達や遊びにどのような影響を与えているのかなどを議論する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
授業前学修: 次回授業のテーマについてキーワードを提示するので、それについて文献で調べたり新聞等の記事を読んだりして自己学習を行う。 授業後学修: 自分で調べたキーワードについて、授業を通して補足し、内容を深める。 (各回、予習復習合わせて、4時間程度)			
[授業計画]			
1. 家庭科教育における保育／子どもの成長・発達とは 2. 妊娠期の女性(母親)の心身の変化と胎児の成長・発達 3. 新生児・乳児期の心身の成長・発達 4. 幼児期(1～3歳)の心身の成長・発達 5. 幼児期(4～6歳)の心身の成長・発達 6. 乳幼児期の遊びと生活(実習またはそれにかわる演習) 7. 乳児期の人間関係の発達(愛着 安全基地 分離・個体化理論など) 8. 乳幼児の健康①(子どものかかりやすい病気) 9. 乳幼児の健康②(子どもの体調不良などに対する家庭看護) 10. 乳幼児の健康③(家庭内での子どもの事故の特徴と事故防止) 11. 乳用児の健康④(応急処置) 12. 家庭保育の現状と課題 ①(育児不安 産後うつ) 13. 家庭保育の現状と課題 ②(マルトリートメント) 14. 地域の子育て支援の現状と課題(保育施設・地域子育て支援拠点事業)			

科目名	保育学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
[成績評価方法] 成績評価方法 ① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回のミニレポート・小テストに関して、次回の授業中に解説・回答を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:家政1-3／人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点 学科DP番号／DP内容:家政2-2／社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点 学科DP番号／DP内容:家政3-1／社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	保健医療福祉論		後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。		講義	
担当者	阿江 善春			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	なし	
[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。				
[授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関りについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にする知識と方法についても習得する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持っておくこと。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について				

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[成績評価方法] 毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S80020 [HDB1-001]

科目名	保健医療福祉論		後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。		講義	
担当者	阿江 善春			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	なし	
[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。 [授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関りについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にする知識と方法についても習得する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持っておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について				

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[成績評価方法] 毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S80021 [HDB1-001]

科目名	保健医療福祉論		後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。		講義	
担当者	阿江 善春			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	なし	
[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。 [授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関りについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にする知識と方法についても習得する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持っておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について				

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[成績評価方法] 毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S80022 [HDB1-001]

科目名	保健医療福祉論		後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。		講義	
担当者	阿江 善春			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	なし	
[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。				
[授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関りについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にする知識と方法についても習得する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持っておくこと。				
[授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について				

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[成績評価方法] 毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:授業レポート30%、定期試験70% [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業レポート50%、定期試験50% [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

S80023 [HDB1-001]

科目名	ライフステージ栄養学		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 発育・発達・加齢における生理的特徴を理解する。各ライフステージにおける身体状況、健康障害、食事摂取基準、栄養補給、栄養管理等の概要を理解する。 [授業概要] 妊娠・授乳や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化および栄養状態の評価・判定の基本的な考え方を概説する。また、健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等を概説し、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法について講義する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。ライフステージ栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野や基礎栄養学と応用栄養学についても日頃から復習しておくこと。 [授業計画] 1.発育・発達・加齢変化の概念 2.母性栄養(妊娠期) 3.母性栄養(妊娠期) 4.母性栄養(授乳期) 5.母性栄養(授乳期) 6.乳児期の栄養 7.乳児期の栄養 8.幼児期の栄養 9.学童期、思春期の栄養 10.成人期の栄養 11.更年期の栄養 12.高齢期の栄養 13.高齢期の栄養				

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては答案を回収後、解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養科学シリーズ NEXT 応用栄養学第7版 著者名:木戸康博・桑波田雅士・青井渉・金子一郎・編 出版社名:講談社 ISBN:9784065380314 書籍名:日本人の食事摂取基準2025年版 著者名:佐々木敏・監修 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114927 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養管理プロセス改訂新版 著者名:木戸康博・中村丁次・寺本房子・編 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114453			

科目名	ライフステージ栄養学		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 発育・発達・加齢における生理的特徴を理解する。各ライフステージにおける身体状況、健康障害、食事摂取基準、栄養補給、栄養管理等の概要を理解する。 [授業概要] 妊娠・授乳や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化および栄養状態の評価・判定の基本的な考え方を概説する。また、健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等を概説し、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法について講義する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。ライフステージ栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野や基礎栄養学と応用栄養学についても日頃から復習しておくこと。 [授業計画] 1.発育・発達・加齢変化の概念 2.母性栄養(妊娠期) 3.母性栄養(妊娠期) 4.母性栄養(授乳期) 5.母性栄養(授乳期) 6.乳児期の栄養 7.乳児期の栄養 8.幼児期の栄養 9.学童期、思春期の栄養 10.成人期の栄養 11.更年期の栄養 12.高齢期の栄養 13.高齢期の栄養				

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては答案を回収後、解説を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養科学シリーズ応用栄養学第7版 著者名:木戸康博・桑波田雅士・青井渉・金子一郎・編 出版社名:講談社 ISBN:9784065380314 書籍名:日本人の食事摂取基準2025年版 著者名:佐々木敏・監修 出版社名:第一出版 ISBN:9784804114927 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養管理プロセス 著者名: 出版社名:第一出版 ISBN:9784804113852			

科目名	臨床医学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	市川 寛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] ①各種の症状を来す病態生理を理解すること。 ②臨床医学に必要な症状を把握すること。 ③臨床医学に必要な疾病の概念について理解すること。 ④臨床用語について理解すること。 [授業概要] 臨床現場で診察を行っている医師がその経験も踏まえ、疾患の理解のみならず患者さんとのコミュニケーションを含め指導します。各種疾患の病因、発症、経過より診断、治療の概念、方法を学んで行きます。解剖生理学、生理学、病理学などについても復習し、補習していきます。 授業の内容を再度自分自身中で再考し、将来実社会の臨床の現場で生かせるよう吟味するようにしてください。質問等あれば授業中・授業後問わず積極的にお願いします。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 疾患の診断・治療を理解するにはその疾患の病因を知ることが大切です。また病因を知り理解するには基礎である生化学・生理学・解剖学の知識が非常に重要となってきます。各授業でのテーマの臓器に関して、授業前に再度基礎の復習をしてください。それにより病因および診断・治療の理解が容易になり、より深い知識が身に付くものと考えます。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。 [授業計画] 1. 疾患診断の概要 (問診・診察・主な徴候) 2. 疾患診断の概要 (臨床検査:検体検査・生理学的検査・画像検査、治療:根治治療と保存治療) 3. 消化器疾患-消化管 (上部消化管の解剖と生理・下部消化管の解剖と生理) 4. 消化器疾患-消化管 (上部消化化・下部消化管の疾患の理解と治療) 5. 消化器疾患-胆・肝・膵疾患 (肝臓の果房と生理・疾患の理解と治療) 6. 消化器疾患-胆・肝・膵疾患 (胆嚢・膵臓の解剖と生理・疾患の理解と治療) 7. 循環器疾患 (心血管系の解剖と生理・血圧及び体内血行動態の整理) 8. 循環器疾患 (心疾患の理解と治療:心不全・虚血・不整脈・心筋症・弁膜症) 9. 腎・尿路系疾患 (腎及び尿路・膀胱の解剖・生理と疾患) 10. 内分泌・代謝疾患Ⅰ (血糖コントロールの機序) 11. 内分泌・代謝疾患Ⅱ (糖尿病の病態の理解と治療) 12. 臨床医学概論全般に渡る復習・確認 13. 終末期におけるスピリチュアルケア			

科目名	臨床医学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	市川 寛		
〔 成績評価方法 〕 小テスト(40%)、授業態度(60%)で評価します。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題についての回答・質問を受け付けます。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:食栄1-2／栄養と健康に関する専門知識を身に付けている。 成績評価方法:小テスト(40%)、授業態度(60%)で評価します。 学科DP番号／DP内容:食栄1-3／食育の実践に必要なとなる知識・技能を身に付けている。 成績評価方法:小テスト(40%)、授業態度(60%)で評価します。 学科DP番号／DP内容:食栄1-4／健康管理を行うために必要となる知識・技能を身に付けている。 成績評価方法:小テスト(40%)、授業態度(60%)で評価します。 学科DP番号／DP内容:食栄1-6／食と健康に関する研究を行うために必要となる知識・技能を身に付けている。 成績評価方法:小テスト(40%)、授業態度(60%)で評価します。 学科DP番号／DP内容:食栄3-2／食と健康に関する問題を主体的に学ぼうとする態度を身に付けている。 成績評価方法:小テスト(40%)、授業態度(60%)で評価します。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S80330 [HDB3-002]

科目名	臨床栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 臨床栄養学を十分理解するため、臨床栄養学が対象とする主だった疾患の成因、症候、診断、治療について理解し、説明できるようにする。 [授業概要] 主だった疾患の成因、症候、診断、治療について解説します。特に、その治療において食事療法、栄養療法が大きな役割を占める代謝関連疾患について重点をおく予定です。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとっておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。 [授業計画] 授業を理解するため、特に解剖生理学の資料を見直ししておいて下さい。次の疾患について解説する予定です。教科書は使用しません。授業で使用するパワーポイント資料については、事前にmanabaにアップロードします。参考書の購入は必須ではありません。 1. 代謝疾患(糖尿病) 2. 代謝疾患(糖尿病合併症、肥満、メタボリックシンドローム) 3. 代謝疾患(脂質異常症、高尿酸血症など)/内分泌疾患 4. 内分泌疾患(甲状腺疾患、内分泌性高血圧など) 5. 循環器疾患(高血圧、動脈硬化症、虚血性心疾患、心不全など) 6. 循環器疾患 7. 呼吸器疾患(肺感染症、喘息、COPD、呼吸不全など) 8. 消化管疾患 9. 肝胆膵疾患(ウイルス性肝炎、肝硬変、肝癌、代謝性肝疾患、膵炎、胆嚢炎など) 10. 血液疾患(貧血、造血器腫瘍など) 11. 神経筋疾患(神経変性疾患、筋ジストロフィ、脳血管障害など) 12. 精神疾患/加齢に関わる疾患(骨粗鬆症、変形性関節症、サルコペニア、フレイルなど) 13. まとめ			

科目名	臨床栄養学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 評価の内訳は次のとおりです。授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法: 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:臨床医学 著者名:羽生大記/河手久弥 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524206636			

科目名	臨床栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 臨床栄養学を十分理解するため、臨床栄養学が対象とする主だった疾患の成因、症候、診断、治療について理解し、説明できるようにする。 [授業概要] 主だった疾患の成因、症候、診断、治療について解説します。特に、その治療において食事療法、栄養療法が大きな役割を占める代謝関連疾患について重点をおく予定です。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとっておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。 [授業計画] 授業を理解するため、特に解剖生理学の資料を見直ししておいて下さい。次の疾患について解説する予定です。教科書は使用しません。授業で使用するパワーポイント資料については、事前にmanabaにアップロードします。参考書の購入は必須ではありません。 1. 代謝疾患(糖尿病) 2. 代謝疾患(糖尿病合併症、肥満、メタボリックシンドローム) 3. 代謝疾患(脂質異常症、高尿酸血症など)/内分泌疾患 4. 内分泌疾患(甲状腺疾患、内分泌性高血圧など) 5. 循環器疾患(高血圧、動脈硬化症、虚血性心疾患、心不全など) 6. 循環器疾患 7. 呼吸器疾患(肺感染症、喘息、COPD、呼吸不全など) 8. 消化管疾患 9. 肝胆膵疾患(ウイルス性肝炎、肝硬変、肝臓、代謝性肝疾患、膵炎、胆嚢炎など) 10. 血液疾患(貧血、造血器腫瘍など) 11. 神経筋疾患(神経変性疾患、筋ジストロフィ、脳血管障害など) 12. 精神疾患/加齢に関わる疾患(骨粗鬆症、変形性関節症、サルコペニア、フレイルなど) 13. まとめ			

科目名	臨床栄養学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[成績評価方法] 評価の内訳は次のとおりです。授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:臨床医学 著者名:羽生大記/河手久弥 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524206636			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	久永 文		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

疾患に関する理解を深める。各疾患の病態・栄養状態を評価し、適切な栄養療法を考える事ができる。

[授業概要]

臨床医学概論・臨床栄養学概論・臨床栄養学Iで学んだ疾患への理解を元に、臨床症状、病態生理、治療、予後等を学ぶ。内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の考え方の理解をサポートする。主要な疾患に関して、疾病者の病態・栄養状態を評価し、それぞれの病態に応じた治療法としての栄養療法を理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度。臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Iで学んだ内容を応用する。これらの科目で学んだ事柄を本講受講前に整理し確認しておく必要がある。

[授業計画]

1. メタボリックシンドローム、肥満
2. 糖尿病I
3. 糖尿病II
4. 内分泌代謝疾患:脂質異常症・痛風・高尿酸血症
5. 高血圧
6. 循環器疾患
7. 肝疾患I
8. 肝疾患II・膵臓疾患
9. 腎疾患 I :a. 慢性腎臓病(慢性腎不全)
10. 腎疾患 II :b. 糖尿病腎症 c.急性腎障害(急性腎不全)
- 11.腎代替療法:血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)、腎移植
12. 筋肉骨疾患・老年症候群
13. 消化器疾患:炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)
14. 試験

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	久永 文		
〔 成績評価方法 〕 試験 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 プレゼンテーションについてコメントや概説を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	久永 文		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 疾患に関しての理解を深める。各疾患の病態・栄養状態を評価し、適切な栄養療法を考える事ができる。			
[授業概要] 臨床医学概論・臨床栄養学概論・臨床栄養学Iで学んだ疾患への理解を元に、臨床症状、病態生理、治療、予後等を学ぶ。内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の考え方の理解をサポートする。主要な疾患に関して、疾病者の病態・栄養状態を評価し、それぞれの病態に応じた治療法としての栄養療法を理解する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Iで学んだ内容を応用する。これらの科目で学んだ事柄を本講受講前に整理し確認しておく必要がある。			
[授業計画] 1. メタボリックシンドローム、肥満 2. 糖尿病I 3. 糖尿病II 4. 内分泌代謝疾患:脂質異常症・痛風・高尿酸血症 5. 高血圧 6. 循環器疾患 7.肝疾患I 8. 肝疾患II・膵臓疾患 9. 腎疾患Ⅰ:a. 慢性腎臓病(慢性腎不全) 10. 腎疾患Ⅱ:b. 糖尿病腎症 c.急性腎障害(急性腎不全) 11.腎代替療法:血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)、腎移植 12. 筋肉骨疾患・老年症候群 13. 消化器疾患:炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病) 14. 試験			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	久永 文		
〔 成績評価方法 〕 試験 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 プレゼンテーションについてコメントや概説を行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

科目名	臨床栄養学概論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	

[到達目標]

栄養ケアマネジメントの概念を理解し、傷病者の栄養ケアマネジメントの過程を理解する。

[授業概要]

栄養ケアマネジメントの必要性と定義を学び、医療倫理や医療保険制度及び介護保険制度の現状を理解し、栄養ケアマネジメントの過程の実際について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業前に教科書を熟読し予習しておく、授業後は復習し習得する。
各回、予習復習合わせて3時間程度

[授業計画]

1. 臨床栄養学の基礎・医療倫理について
2. 医療・介護と臨床栄養について
3. 栄養ケアマネジメントの概要について
4. 栄養アセスメントについて
5. 栄養ケア計画のプロセスについて
6. 食事療法(経口栄養療養)について
7. 経腸栄養療養・経静脈栄養療養について
8. 糖尿病食品交換表について
9. 腎臓病食品交換表等について
10. 栄養教育について
11. 栄養ケアの実施と記録
12. 薬と栄養・食物の相互作用について
13. 栄養ケアのアセスメント
14. 試験

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	久永 文		
[成績評価方法] 試験(70%)、授業態度・小テスト・レポート課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。また、次回授業で説明します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	久永 文		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

栄養ケアマネジメントの概念を理解し、傷病者の栄養ケアマネジメントの過程を理解する。

[授業概要]

栄養ケアマネジメントの必要性と定義を学び、医療倫理や医療保険制度及び介護保険制度の現状を理解し、栄養ケアマネジメントの過程の実際について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業前に教科書を熟読し予習しておく、授業後は復習し習得する。
各回、予習復習合わせて3時間程度

[授業計画]

1. 臨床栄養学の基礎・医療倫理について
2. 医療・介護と臨床栄養について
3. 栄養ケアマネジメントの概要について
4. 栄養アセスメントについて
5. 栄養ケア計画のプロセスについて
6. 食事療法(経口栄養療養)について
7. 経腸栄養療養・経静脈栄養療養について
8. 糖尿病食品交換表について
9. 腎臓病食品交換表等について
10. 栄養教育について
11. 栄養ケアの実施と記録
12. 薬と栄養・食物の相互作用について
13. 栄養ケアのアセスメント
14. 試験

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	久永 文		
[成績評価方法] 試験(70%)、授業態度・小テスト・レポート課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。また、次回授業で説明します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	臨床栄養学実習Ⅰ（校外）		前期～後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。				
[授業概要] 臨床栄養学臨地実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談（栄養カウンセリング）の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。				
[準備学修（予習・復習）の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学、臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨地実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。				
[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ（食事オーダー・食事の種類） 2. 臨床栄養管理の流れ（栄養アセスメントの実際） 3. 臨床栄養管理の流れ（栄養ケアの実際） 4. チーム医療の実際（糖尿病） 5. チーム医療の実際（NST） 6. チーム医療の実際（緩和・嚥下・化学療法など） 7. 栄養指導の実際（個人指導） 8. 栄養指導の実際（集団指導） 3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ（校外）の単位として、総合演習Ⅱ（4回生開講科目）の後期に指示された日に受講する。				

科目名	臨床栄養学実習 I（校外）	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文		
[成績評価方法] 臨床栄養学臨地実習の評価(70%)、実習課題・報告内容など(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	臨床栄養学実習Ⅱ（校外）		前期～後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。				
[授業概要] 臨床栄養学臨地実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談（栄養カウンセリング）の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。				
[準備学修（予習・復習）の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学、臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨地実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。				
[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ（食事オーダー・食事の種類） 2. 臨床栄養管理の流れ（栄養アセスメントの実際） 3. 臨床栄養管理の流れ（栄養ケアの実際） 4. チーム医療の実際（糖尿病） 5. チーム医療の実際（NST） 6. チーム医療の実際（緩和・嚥下・化学療法など） 7. 栄養指導の実際（個人指導） 8. 栄養指導の実際（集団指導） 3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ（校外）の単位として、総合演習Ⅱ（4回生開講科目）の後期に指示された日に受講する。				

科目名	臨床栄養学実習Ⅱ（校外）	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文		
[成績評価方法] 臨床栄養学臨床実習の評価（70％）、実習課題・報告内容など（30％） [課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。 [オフィスアワー（質問等の受付方法）] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容 [教科書（ISBN）] [参考書（ISBN）]			

S81710 [HDI3-011]

科目名	臨床栄養学実習Ⅲ(校外)		前期～後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。 [授業概要] 臨床栄養学臨地実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談(栄養カウンセリング)の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学、臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨地実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。 [授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ(食事オーダー・食事の種類) 2. 臨床栄養管理の流れ(栄養アセスメントの実際) 3. 臨床栄養管理の流れ(栄養ケアの実際) 4. チーム医療の実際(糖尿病) 5. チーム医療の実際(NST) 6. チーム医療の実際(緩和・嚥下・化学療法など) 7. 栄養指導の実際(個人指導) 8. 栄養指導の実際(集団指導) 3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ(校外)の単位として、総合演習Ⅱ(4回生開講科目)の後期に指示された日に受講する。				

科目名	臨床栄養学実習Ⅲ(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[成績評価方法] 臨床栄養学臨床実習の評価(70%)、実習課題・報告内容など(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	臨床栄養活動論		前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際		講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。				
[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療やカルテ記録を学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ」等々を復習しておくこと。				
[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPについて(杉岡) 2. 診療記録・栄養診断について(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(1):心疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(2):腎疾患(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(3):肝疾患(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(4):消化器疾患(杉岡) 7. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(5):消化器外科(杉岡) 8. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(6):栄養障害(杉岡) 9. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(7):栄養障害(杉岡) 10. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(8):栄養障害(久永) 11. チーム医療の実際①(学外特別講師、久永、杉岡) 12. チーム医療の実際②(学外特別講師、久永、杉岡) 13. チーム医療の実際③(学外特別講師、久永、杉岡) 14. 試験				

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際	講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文		
[成績評価方法] 試験(70%)、レポート(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート、試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:ステップアップ臨床栄養管理演習 著者名:永井 徹他 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-0600-3 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ 著者名:奈良信雄 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70839-2			

S81340 [HDB3-008]

科目名	臨床栄養活動論		前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際		講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。				
[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療やカルテ記録を学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ」等々を復習しておくこと。				
[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPについて(杉岡) 2. 診療記録・栄養診断について(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(1):心疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(2):腎疾患(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(3):肝疾患(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(4):消化器疾患(杉岡) 7. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(5):消化器外科(杉岡) 8. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(6):栄養障害(杉岡) 9. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(7):栄養障害(杉岡) 10. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(8):栄養障害(久永) 11. チーム医療の実際①(学外特別講師、久永、杉岡) 12. チーム医療の実際②(学外特別講師、久永、杉岡) 13. チーム医療の実際③(学外特別講師、久永、杉岡) 14. 試験				

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際	講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文		
[成績評価方法] 試験(70%)、レポート(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート、試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:ステップアップ臨床栄養管理演習 著者名:永井 徹他 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-0600-3 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ 著者名:奈良信雄 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70839-2			

科目名	臨床栄養活動論		前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際		講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。				
[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療やカルテ記録を学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ」等々を復習しておくこと。				
[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPについて(杉岡) 2. 診療記録・栄養診断について(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(1):心疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(2):腎疾患(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(3):肝疾患(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(4):消化器疾患(杉岡) 7. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(5):消化器外科(杉岡) 8. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(6):栄養障害(杉岡) 9. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(7):栄養障害(杉岡) 10. 栄養アセスメントとSOAPによる記録(8):栄養障害(久永) 11. チーム医療の実際①(学外特別講師、久永、杉岡) 12. チーム医療の実際②(学外特別講師、久永、杉岡) 13. チーム医療の実際③(学外特別講師、久永、杉岡) 14. 試験				

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際	講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文		
[成績評価方法] 試験(70%)、レポート(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート、試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:ステップアップ臨床栄養管理演習 著者名:永井 徹他 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-0600-3 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ 著者名:奈良信雄 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70839-2			

S81342 [HDB3-008]

科目名	臨床栄養活動論		前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際		講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。				
[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療やカルテ記録を学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ」等々を復習しておくこと。				
[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPIについて(杉岡) 2. 診療記録・栄養診断について(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(1):心疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(2):腎疾患(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(3):肝疾患(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(4):消化器疾患(杉岡) 7. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(5):消化器外科(杉岡) 8. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(6):栄養障害(杉岡) 9. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(7):栄養障害(杉岡) 10. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(8):栄養障害(久永) 11. チーム医療の実際①(学外特別講師、久永、杉岡) 12. チーム医療の実際②(学外特別講師、久永、杉岡) 13. チーム医療の実際③(学外特別講師、久永、杉岡) 14. 試験				

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	臨床の場における活動の実際	講義	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文		
[成績評価方法] 試験(70%)、レポート(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート、試験 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート、試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:ステップアップ臨床栄養管理演習 著者名:永井 徹他 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-0600-3 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ 著者名:奈良信雄 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-70839-2			

S81343 [HDB3-008]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。 [授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実践(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント/静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編第3版 著者名:本田佳子他 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1370-0 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学第9版 著者名:本田佳子他 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1369-4			

S81350 [HDB3-009]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。 [授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実践(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント/静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編第3版 著者名:本田佳子他 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1370-0 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学基礎編第3版 著者名:本田佳子他 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1369-4			

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。 [授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実践(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント/静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編第3版 著者名:本田佳子 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1370-0 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学基礎編第3版 著者名:本田佳子 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1369-4			

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。 [授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。 [授業計画] 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実践(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント/静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編第3版 著者名:本田佳子他 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7581-1370-0 [参考書(ISBN)] 書籍名:栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学基礎編第3版 著者名:本田佳子他 出版社名:羊土社 ISBN:978-4-7681-1360-4			

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] チーム医療の一員として実施する、栄養ケア・マネジメントのスキルの修得を目指す。 [授業概要] 栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケア・マネジメント技術を修得するための授業である。 代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、 1.必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケア計画を立てる。 2.栄養ケア計画に沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。 3.「栄養管理システム」を用い、栄養ケア計画に沿った治療食献立を作成する。 4.作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各種疾患の病態を理解し、栄養ケア計画(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導)の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について 2. 糖尿病の食事療法 について(栄養教育の実施) 3. 脂質異常症の食事療法について(栄養教育の実施) 4. 慢性腎臓病(CKD)の食事療法について(栄養教育の実施) 5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施) 6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成 7. 脂質異常症の栄養管理・献立作成 8. エネルギーコントロール食の調理実習 9. 脂質異常症食の調理実習 10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成 11. 肝不全・慢性肝炎の栄養管理・献立作成 12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習 13. 肝不全食・慢性肝炎食の調理実習 14. 試験				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	西井 穂		
〔 成績評価方法 〕 試験(60%)、発表・レポート(40%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験、発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学実習書 第13版 著者名:今井 佐恵子 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708484 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学 基礎編 第3版 著者名:本田 佳子 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113694 書籍名:糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病学会 出版社名:文光堂 ISBN:9784830660467			

S81360 [HDB3-010]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] チーム医療の一員として実施する、栄養ケア・マネジメントのスキルの修得を目指す。 [授業概要] 栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケア・マネジメント技術を修得するための授業である。 代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、 1.必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケア計画を立てる。 2.栄養ケア計画に沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。 3.「栄養管理システム」を用い、栄養ケア計画に沿った治療食献立を作成する。 4.作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各種疾患の病態を理解し、栄養ケア計画(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導)の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について 2. 糖尿病の食事療法 について(栄養教育の実施) 3. 脂質異常症の食事療法について(栄養教育の実施) 4. 慢性腎臓病(CKD)の食事療法について(栄養教育の実施) 5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施) 6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成 7. 脂質異常症の栄養管理・献立作成 8. エネルギーコントロール食の調理実習 9. 脂質異常症食の調理実習 10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成 11. 肝不全・慢性肝炎の栄養管理・献立作成 12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習 13. 肝不全食・慢性肝炎食の調理実習 14. 試験				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	西井 穂		
〔 成績評価方法 〕 試験(60%)、発表・レポート(40%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験、発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学実習書 第13版 著者名:今井 佐恵子 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708484 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学 基礎編 第3版 著者名:本田 佳子 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113694 書籍名:糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病学会 出版社名:文光堂 ISBN:9784830660467			

S81361 [HDB3-010]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	

[到達目標]

チーム医療の一員として実施する、栄養ケア・マネジメントのスキルの修得を目指す。

[授業概要]

栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケア・マネジメント技術を修得するための授業である。
代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、

1. 必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケア計画を立てる。
2. 栄養ケア計画に沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。
3. 「栄養管理システム」を用い、栄養ケア計画に沿った治療食献立を作成する。
4. 作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各種疾患の病態を理解し、栄養ケア計画(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導)の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。

[授業計画]

1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について
2. 糖尿病の食事療法 について(栄養教育の実施)
3. 脂質異常症の食事療法について(栄養教育の実施)
4. 慢性腎臓病(CKD)の食事療法について(栄養教育の実施)
5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施)
6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成
7. 脂質異常症の栄養管理・献立作成
8. エネルギーコントロール食の調理実習
9. 脂質異常症食の調理実習
10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成
11. 肝不全・慢性肝炎の栄養管理・献立作成
12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習
13. 肝不全食・慢性肝炎食の調理実習
14. 試験

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	久永 文		
〔 成績評価方法 〕 試験(60%)、発表・レポート(40%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験、発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学実習書 第13版 著者名:今井 佐恵子 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708484 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学 基礎編 第3版 著者名:本田 佳子 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113694 書籍名:糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病学会 出版社名:文光堂 ISBN:9784830660467			

S81362 [HDB3-010]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] チーム医療の一員として実施する、栄養ケア・マネジメントのスキルの修得を目指す。 [授業概要] 栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケア・マネジメント技術を修得するための授業である。 代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、 1.必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケア計画を立てる。 2.栄養ケア計画に沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。 3.「栄養管理システム」を用い、栄養ケア計画に沿った治療食献立を作成する。 4.作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各種疾患の病態を理解し、栄養ケア計画(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導)の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。 [授業計画] 1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について 2. 糖尿病の食事療法 について(栄養教育の実施) 3. 脂質異常症の食事療法について(栄養教育の実施) 4. 慢性腎臓病(CKD)の食事療法について(栄養教育の実施) 5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施) 6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成 7. 脂質異常症の栄養管理・献立作成 8. エネルギーコントロール食の調理実習 9. 脂質異常症食の調理実習 10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成 11. 肝不全・慢性肝炎の栄養管理・献立作成 12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習 13. 肝不全食・慢性肝炎食の調理実習 14. 試験				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	久永 文		
〔 成績評価方法 〕 試験(60%)、発表・レポート(40%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験、発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学実習書 第13版 著者名:今井 佐恵子 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263708484 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:臨床栄養学 基礎編 第3版 著者名:本田 佳子 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113694 書籍名:糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病学会 出版社名:文光堂 ISBN:9784830660467			

S81363 [HDB3-010]

科目名	臨地実習特別演習Ⅰ		前期～後期	1 単位
サブタイトル	実習への準備と振り返り		演習	
担当者	竹市 仁美、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、宮本 有香、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子、福田 典子、末武 勲			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 事前指導では、実習先で行うべき課題の設定ができ、それに応じた学習ができるようにする。 事後指導では、実習で行った内容についての反省を行い、問題解決ができるようにする。				
[授業概要] 公衆栄養学・給食経営管理論の各臨地実習の教育内容の充実をはかるため、施設担当者により実施される科目である。各施設担当の教員が配属された学生に対して実習内容の事前・事後指導を行う。事前指導では、施設担当者が実習先担当者と密接に連絡をとりながら、課題作成の指導を行い、課題に基づく学習を徹底し実習に臨んでもらう。また、事後指導では実習終了後に実習内容についての反省と課題において発見された問題の解決をはかるよう指導する。実習施設担当教員が実習先と緊密な連携をとって実習内容の適正化、充実化を図るため、少人数の演習とする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨地実習の目標を明確にし、課題について事前学習すること。 特に実習先の特徴を把握すること。 各回、予習復習合わせて2時間程度				
[授業計画] 1. 公衆栄養学臨地実習を受けるにあたって《公衆栄養学》 2. 施設からの連絡事項と事前学習《公衆栄養学》 3. 実習目標の設定と取り組み、抱負《公衆栄養学》 4. 保健所・保健センターの業務《公衆栄養学》 5. 経営管理実習を受けるにあたって《給食経営管理論》 7. 実習施設先の衛生・施設設備管理についての事前学習《給食経営管理論》 8. 対象者ごとの栄養管理についての事前学習《給食経営管理論》 9. 各特定給食施設の位置付けと特徴についての事前学習《給食経営管理論》 10. 臨地実習の評価・反省 11. 臨地実習(各施設別)を終えての報告・体験内容のまとめ 12. 施設別臨地実習についての反省と課題 13. 実習記録の確認とまとめ (授業は、各臨地実習日程に準じた集中講義とする。)				

科目名	臨地実習特別演習Ⅰ	前期～後期	1 単位
サブタイトル	実習への準備と振り返り	演習	
担当者	竹市 仁美、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、宮本 有香、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子、福田 典子、末武 勲		
〔 成績評価方法 〕 事前課題(50%)、実習報告等(50%) 事前課題確認時及び実習報告内容について指導助言します。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題提出時にフィードバックします。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-1／管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:課題への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:課題への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題への取り組み 学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題への取り組み 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題への取り組み 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S82150 [HDI3-015]

科目名	臨地実習特別演習Ⅱ		前期～後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	杉岡 ふみ子、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、竹市 仁美、宮本 有香、西井 穂、橋本 多美子、福田 典子、末武 勲、甲斐 達男			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。				
[授業概要] 臨床栄養学臨地実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談(栄養カウンセリング)の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学、臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨地実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。				
[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ(食事オーダー・食事の種類) 2. 臨床栄養管理の流れ(栄養アセスメントの実際) 3. 臨床栄養管理の流れ(栄養ケアの実際) 4. チーム医療の実際(糖尿病) 5. チーム医療の実際(NST) 6. チーム医療の実際(緩和・嚥下・化学療法など) 7. 栄養指導の実際(個人指導) 8. 栄養指導の実際(集団指導) 3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ(校外)の単位として、総合演習Ⅱ(4回生開講科目)の後期に指示された日に受講する。				

科目名	臨地実習特別演習Ⅱ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、竹市 仁美、宮本 有香、西井 穂、橋本 多美子、福田 典子、末武 勲、甲斐 達男		
[成績評価方法] 臨床栄養学臨地実習の評価(70%)、実習課題・報告内容など(30%)			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容			
学科DP番号／DP内容:管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容			
学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容			
学科DP番号／DP内容:管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容			
学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			